クボタ 乗用 田植機

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	エンジン回転数 **［低回転］**		エンジン回転数 **［高回転］**
	チョーク		

専門用語の説明

用語	説明
● **主変速レバー** （ＨＳＴ）	**［前進］・［後進］・［停止］**の切換え及び走行速度をコントロールするレバー （油圧式の無段変速装置）
● **副変速レバー**	**［圃場作業］（低速位置）**と**［路上走行］（高速位置）**切換えるレバー
● **植付クラッチレバー**	植付部（苗のせ台）の**上昇←→下降**，植付部への動力伝達の**［入］**，**［切］**及びラインマーカの**出し入れ**を行なうレバー
● **アクセルレバー**	エンジン回転をコントロールするレバー
● **ブレーキペダル**	踏込むと動力を断ちブレーキが掛かるペダル
● **安全クラッチ**	植付爪に障害物が詰まったとき，植付部のギアの破損を防止するために植付部への動力を断つ装置
● **ラインマーカ**	植付け作業中に隣接条間を合わすための目標となる線を引くための部分
● **フロート**	ほ場表面に浮き、整地するための部分
● **しゅう動板ガード**	植付部のしゅう動板があぜなどに当り、変形するのを防止するためのパイプ

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について　本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。

重　要　注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補　足　その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，稲の苗の植付け用の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買い上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は［JC4A-I］を基本とし，［JC4A-I］と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

基本型式の表示

①名称・植付条数によって
・キュート
JC4A 4条植
②ステアリング
表示なし .... マニアルステアリング
D .... パワーステアリング
③植付爪の形状によって
I .... アイ爪
H .... はし爪

目　次

目　次

乗用田植機の不調と処置

付表

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

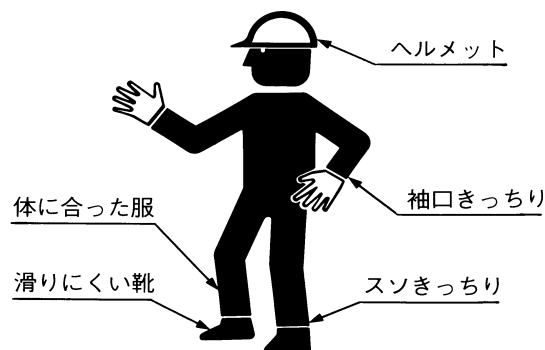
1. 安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください

■ 安全指示順守

- 本書及び本機の警告ラベル・注意ラベルをよく読み理解してください。
- 警告ラベル・注意ラベルはいつもきれいにしておいてください。また，破損・紛失したときは注文して再度貼付けてください。
- 正しい運転，作業方法を覚えてください。
- 製品を勝手に改造しないでください。安全性をそこなったり，機能や寿命低下の原因になります。
- 本書記載事項以外についても安全には細心の注意を払ってください。
- **ほかの人に機械を貸すときは，取扱方法や安全のポイントをよく説明し，この取扱説明書をよく読むように指導してください。**

1AKACAIAP1010

■ 作業に合った服装及び健康状態

- 作業に合ったキチンとした作業着を着用してください。
  だぶついた服装は，回転部に巻込まれやすく危険です。また靴は，すべらないものを使用してください。

1AKACAIAP1020

- お酒を飲んでいる方，睡眠不足の方，妊娠中のご婦人，過労，病気の人は使用しないでください。
- 初めて運転する人は，操作に慣れるまで低速で運転してください。

1AKACAIAP1030

■ **子供が近づくのは危険**

- 点検・整備中及び田植作業中機械に子供を近づけないでください。見えないところで機械に触ったりかくれたりしてたいへん危険です。

1AKAAAAAP2450

■ **使用前の準備・点検**

- 使用前の点検は必ず行なってください。
特にブレーキペダルの点検は忘れないでください。
- 燃料の給油・オイル交換・注油・機械の点検は，エンジンを止めて行なってください。
- 火気厳禁。

1AKAAAAAP0100

- 平たんな場所で駐車ブレーキをかけて行なってください。
- 植付部を持上げて植付爪などの点検をするときは，油圧ロックレバーを**［閉］**にするとともに，台などで支えをして落下を防止してください。

1AKAAAAAP0110

■ エンジンの始動

- エンジンを始動するときは，運転席に座り，主変速レバー・副変速レバー・植付クラッチレバーを **[N]（中立）** にし，ブレーキペダルを踏み込み，ペダルをロックしてから始動してください。
- 機械を始動及び動かすときは，周囲の人に合図して安全に気をつけてください。
  始動時はリコイルハンドルをしっかりにぎって始動してください。

1AKAAAAAP0120

- エンジンの排ガスは有毒です。屋内で始動するときは，窓・扉を開け，外気がじゅうぶん入るようにしてください。

1ARAEAAAP0560

■ **走行運転**

- この機械は一般道路は走れません。
- 一般道路はトラックなどで運搬してください。
- 発進前に必ず植付部が持上げられているかを確認してください。
- 機械の周囲の人・物に注意して，ゆっくり発進してください。
- 初めて運転される方は，操作になれるまで低速で運転してください。
- 道のりが遠くても，その他どのような場合でも，絶対に運転者以外の人を乗せないでください。

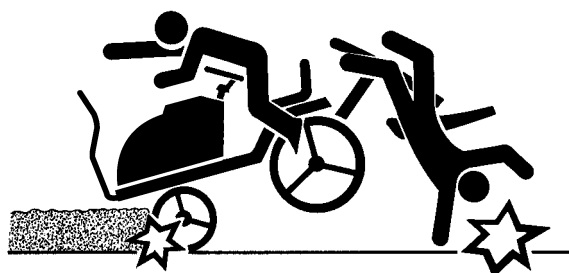
1AKAAAAAP2480

- 予備苗のせ台**［D 仕様］**の上などに物を乗せないで，荷物はめんどうでも，別にトラックなどで運搬するようにしてください。
- 発進する場合は，植付部が最上昇位置にあることを確認して，植付クラッチレバーの**［N］（中立）**を確認してください。
- 副変速レバーを**［圃場作業］**又は**［路上走行］**に入れて発進する場合は，植付クラッチレバーの**［N］（中立）**を確認してください。

1AKAAAAAP2490

- 急発進・急停止・急旋回はしないでください。
- 発進するときは，ブレーキペダルを離してから主変速レバーを**［N］（中立）**位置からゆっくりと操作してください。
- 停止するときは，必ず主変速レバーを**［N］（中立）**位置に戻してからブレーキペダルを踏込んでください。
- カーブ・曲り角では早めにスピードを落としてください。

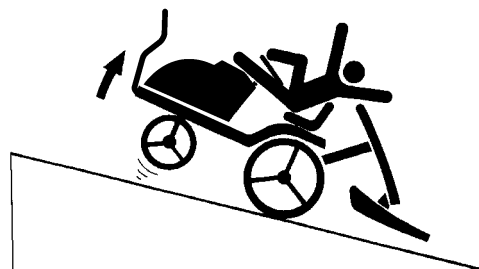
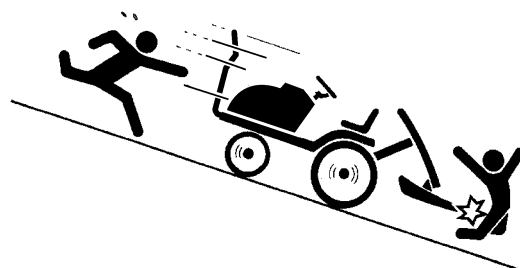
1AKAAAAAP0150

- わき見・手ばなし運転はしないでください。気のゆるみが大事故につながります。
- 油圧昇降ロックをし，植付部の落下を防止してください。
- 隣接マーカ・あぜごえアーム・（マスコット）・ラインマーカを収納状態にしたあと，ラインマーカをロックし，苗のせ台を機体中央で止めるようにしてください。
- 周囲の障害物に接触しないよう，ゆっくりと運転してください。特に，苗のせ台の接触には注意してください。
- 機体が右又は，左に大きく傾き，転倒するおそれがあるので，傾きの大きいところでは走行しないでください。

1AKAAAAAP0440

■ **坂道走行**

- 坂の手前で一旦停止して，副変速レバーを **［圃場作業］** に切換えてから，坂道の登り降りをしてください。
- 坂を下るときはブレーキペダルは踏込まないで，必ずエンジンブレーキでおりてください。
- 急発進はしないでください。
- 坂が急で，前進で登ると前が浮上がるおそれがある場合は，後進で登るようにしてください。
- 坂の途中で副変速レバーを **［N］（中立）** にしないでください。また，ブレーキペダルは踏込まないでください。

1AKAAAAAP0160

- 坂の途中で危険回避などのためにやむを得ず機械を停止させたいときは，ブレーキペダルをいっぱい踏込んでください。ブレーキペダルの踏込みが足らない場合は，暴走するおそれがあります。
- 坂道では，特別なときのほか駐車しないようにしてください。
- 駐車する場合は，駐車ブレーキをかけて，石や木片などで下側の両輪に車止めをしてください。
- 駐車中は，副変速レバーを **［圃場作業］** 又は **［路上走行］** に入れておいてください。

1AKAAAAAP0170

1AKAAAAAP0180

■ **農道，ほ場の移動**

- 副変速レバー **［路上走行］** で，植付部を上昇させて，ゆっくり走行してください。
- 油圧ロックレバーを **［閉］** にし，植付部の落下を防止してください。
- 隣接マーカ・あぜごえアーム・（マスコット）・ラインマーカを収納状態にしたあと，ラインマーカをロックしてください。
- 路肩くずれに注意してください。
- 草などでおおわれていて路肩がわからないときや危ないと思われる所では，機械から降りて確認するようにしてください。このとき必ずエンジンを止めて行なってください。
- 雨あがりのとき，狭い農道では，速度を落として慎重に走行するようにしてください。
- 対向車をさけるときは，無理に端いっぱいに寄らず，一旦停止して対向車をやりすごしてください。
- 周囲の障害物に接触しないよう，ゆっくりと運転してください。
- 機体が右又は，左に大きく傾き，転倒するおそれがあるので，傾きの大きいところでは走行しないでください。

1AKABAGAP0460

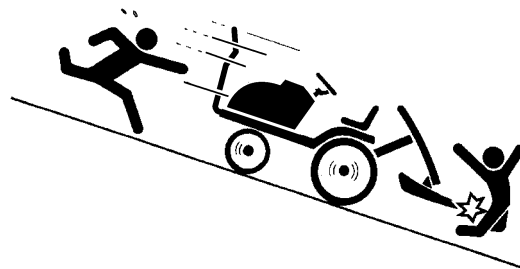
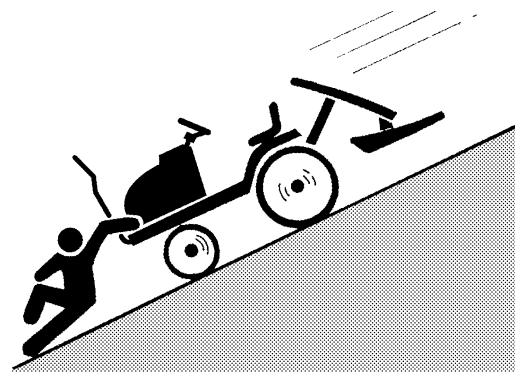
1AKAAAAAP0440

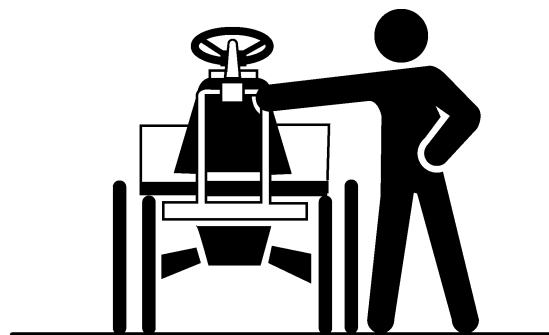
■ **降りての走行**

● 降りて走行するときは，アクセルレバーを［🐢］位置，副変速レバーを［**圃場作業**］位置にしてください。

● 降りて走行するときは，機械の周囲に人を近づけないでください。特に，傾斜（坂道，あゆみ板上，あぜごえなど）のあるところでは機械後方に人がいないことを確認してください。

1AKAAAAAP0180

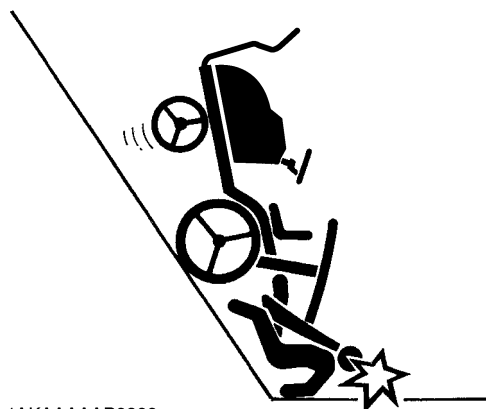
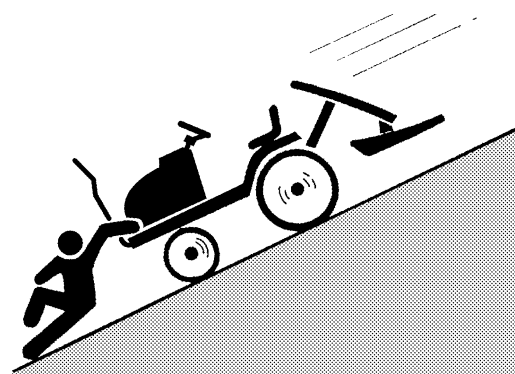
● 傾斜のあるところでは，機械前部を傾斜上方向にして上り降りしてください。

1AKABAGAP0440

● 降りての走行で傾斜のあるところでは，機械の正面で操作せずに，左側の位置で操作してください。

1AKABAGAP0450

■ ほ場の出入り

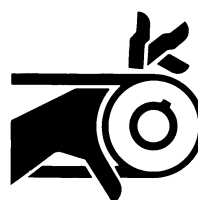
1AKAAAAAP0200

- 降りて走行するときは **［降りての走行］** の項を参照してください。
- 機械をあぜ・溝に直角に向けて止め，副変速レバーを **［圃場作業］** にし，植付クラッチレバーで植付部を下げ，主変速レバーを **低速** で，ゆっくり発進してください。後輪があぜに上がると同時に，植付部を上げてください。
- 農道が狭い場合は，ほ場に出入口の傾斜をつくり，溝は渡り橋をつくってください。
- ほ場の出入り，土手などの急斜面の登り降り，溝越えのときには，必ずあゆみ板を使うか，ほ場に出入口傾斜や渡り橋をつくって，後進で登ってください。
- あゆみ板は，機械の重量に耐える強度（金属製）で，段差に対して５倍以上の長さのもの，また，横サンスベリ止めのついたものを使用してください。
- あゆみ板を登り始める前に，前輪デフロックペダルを **踏む** ことを忘れないでください。
- あぜ・溝に対して機械を直角にとめ，左右の２枚のあゆみ板が機械の両輪に合い，平行になっているかを確認してください。
- ハンドルを真っすぐにし，真っすぐに登ってください。

- 急傾斜面の移動で斜面を下るときは，副変速レバーを **［圃場作業］** 位置で，前輪ペダルを踏んで前輪をロックしてください。
- 途中で副変速レバーを **［N］（中立）** にしないでください。
- 途中で危険回避などのために本機を停止させたいときは，ブレーキペダルをいっぱい踏込んでください。

1AKABAGAP0440

■ **ほ場での作業**

- 苗を補給するときは，主変速レバーと植付クラッチレバーを **[N]（中立）** にし，駐車ブレーキを掛けてください。
- 回転部分・作動部分・高温部に触れないように注意してください。
- 補助者がいる場合，互いに合図で確認するようにしてください。
- あぜぎわで旋回するときは，あぜの周囲の人や物にじゅうぶん注意を払ってください。
- 作業中は，ほ場に人を入れたり，機械に人を近づけたりしないでください。
- 作業条件により，前輪が浮く場合は，オプションの前部ウエイトを取付けてください。
- ウエイト代りに，人や物を乗せないでください。
- 夜間作業は絶対にしないでください。
- 植付爪などに異物がかみこんだときは，エンジンを停止し，完全に止まったのを確認してから取り除いてください。

1AKAAAAAP0210

1AEABAAAP0110

1AEABAAAP0080

■ **機械から離れるとき及び走行，作業途中の駐車・点検**

1AEABAAAP0080

- 機械から離れるときは，坂道などの傾斜地を避け，平たんな場所へ移動してください。
- 駐車及び点検などで運転席を降りるときは，副変速レバーを **[圃場作業]** 位置又は **[路上走行]** 位置に入れたあと，主変速レバーと植付クラッチレバーを **[N]（中立）** 位置にしてエンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてください。

- 高温部に触れないよう注意してください。

- 植付部を上昇させて点検するときは，油圧ロックレバーを必ず **[閉]** にするとともに，下に木の台などを置いて落下防止の歯止めをして，植付部の落下を防止してください。

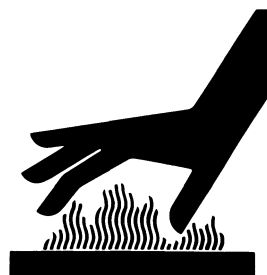
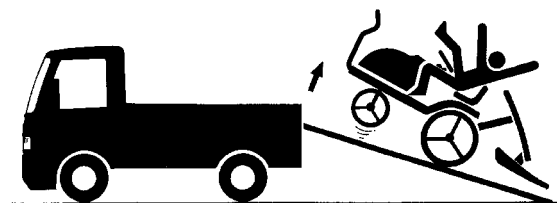
1AKAAAAAP0220

■ **ヤケド防止**

1AEABAAAP0080

- 運転中エンジンオイル・油圧オイルは高温になります。エンジン・ホース・配管及びその他の部品も高温になっています。また残圧による油のふき出しやプラグ・ネジのとび出しによるケガのおそれがあるためじゅうぶんに温度が下がって，残圧がないことを確かめて整備してください。
- エンジン本体・マフラ・排気管も高温になります。運転中及び停止直後は触れないでください。

■ トラックなどへの積み・降ろし

1AKAAAAAP2530

- 降りて走行するときは，あぜごえアームを使用してください。
- 乗って積み込むときは必ず後進で行ない，降りて積み込むときは前進前あがりで行なってください。
- 積み・降ろしを開始する前に，トラックの駐車ブレーキがかかっているかを確認してください。
- 脱輪に注意してください。
- 前輪デフロックペダルを使用してください。
- 副変速レバーを **［圃場作業］** にし，主変速レバーをゆっくり操作してください。
- 途中で副変速レバーを **［N］（中立）** にしないでください。
- あゆみ板は，段差の５倍以上の長さのものを使ってください。

あゆみ板の基準

長　さ	トラックの荷台の高さの５倍以上
幅	30cm 以上
数　量	２枚
強　度	１枚が 250kg 以上の重量に耐えうる

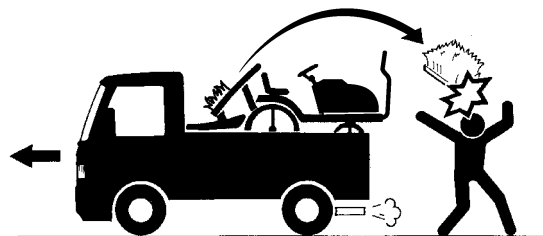
- 誘導者を付け，周囲の安全をじゅうぶん確認してください。また，機械の前には絶対に立たないでください。
- 途中でエンストしたときは，即ブレーキペダルをいっぱい踏込み，再びエンジンを始動して，アクセルレバーを **［始動］** 位置まで動かしてエンジン回転数を上げてください。

■ トラックなどでの運搬

1AKAAAAAP0240

- 駐車ブレーキをかけてください。
- ロープはけん引フック（機体前部）と後輪に掛け，確実に固定してください。
- 苗のせ台・予備苗のせ台 **［D 仕様］** などにのせてあるものは，必ず降ろしておいてください。
- 苗のせ台を中央に移動させたあと，苗のせ台を最上昇させ，油圧ロックレバーを **［閉］** にしてください。

■ **使用後の手入れ**

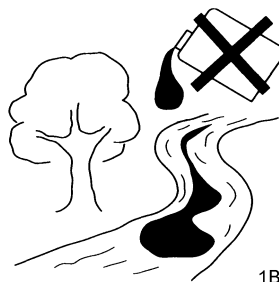
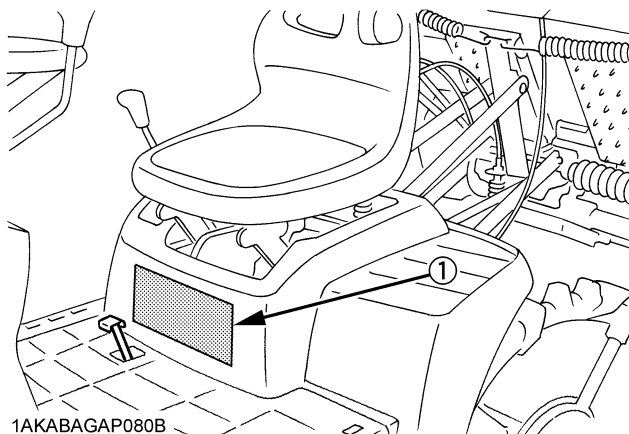
1AKACAIAP3930

- 点検・手入れ・掃除・調整は，エンジンを止めて行なってください。
- 取外した保護カバーなどは，必ず元のとおりに取付けてください。回転部などがむき出しになり危険です。
- 格納するときは，平たんな場所に植付部を下げて置いてください。
- 駐車ブレーキを掛けておいてください。
- 本機カバーなどをかける場合は，エンジンなど加熱部分がじゅうぶん冷えてからにしてください。火災の原因になります。
- 長期格納時には，燃料タンク及び燃料コックのフィルタポット内のガソリンを抜取ってください。

■ **廃棄物の処理について**

1BJABAAAP0180

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

2. 表示ラベルと貼付け位置

1AKABAGAP080B

①品番 PK401-8986-1

警告

転倒や暴走の危険があるため、下記事項を守ること。

エンジン始動時
ブレーキペダルを踏み込み、主変速レバー及び植付レバーを『N（中立）』にしてからエンジンを始動すること。

走行全般
主変速レバーを『N（中立）』にしてからブレーキペダルを離すこと。
高速時に急ブレーキ、急ハンドル操作を行わないこと。

作業時
苗補給時は、主変速レバーを『N（中立）』にして、駐車ブレーキをかけること。

トラックなどへの積み降ろし・畦越え・急な坂道での走行時
1．副変速レバーは『圃場作業』にすること。
2．段差の5倍以上の長さのあゆみを使用し、誘導者をつけること。
3．斜面に対して直角に走行すること。
4．坂道を下る時は急ブレーキをかけないこと。
5．田植機から降りてあぜ越えアームを使用し低速で走行すること。

機械から離れるとき
1．エンジンを止め、駐車ブレーキをかけること。
2．坂道では車止めをすること。

注意

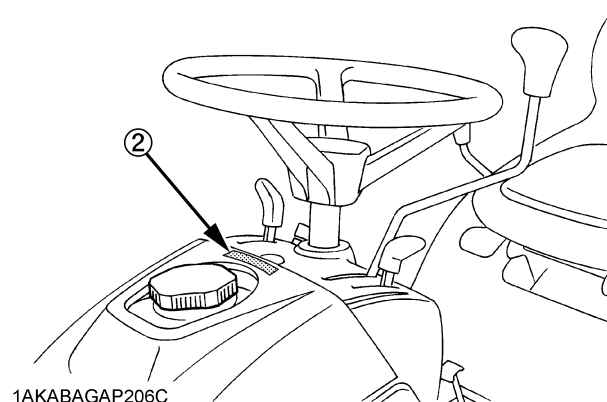
使用前
1．安全に作業するために、取扱説明書を読んで、機械の使い方を覚えること。
2．屋内では排気ガスが溜まり易くガス中毒の危険があるため、換気を十分すること。

移動走行時
1．この機械は公道走行はできないため、トラックにのせて運搬のこと。
2．軽四トラック搭載時は植付部のしゅう動板を折りたたみ、しゅう動板ガードを縮めて荷台横幅よりはみ出ないこと。
3．転倒などの危険があるため、傾斜地・路肩の軟弱な農道・がけ際は走行しないこと。
4．転落や破損の危険があるため、運転者以外の人や物を乗せないこと。
5．植付部が不意に下降してはさまれる危険があるので、植付部を上げて移動するときは、油圧昇降を必ずロックすること。

作業時
1．ケガをするおそれがあるので、清掃・点検・整備・調整・給油はエンジンを必ず止め、冷えてから行うこと。
また、油圧昇降を必ずロックすること。
2．ケガをする危険があるので、夜間作業は絶対にしないこと。
3．植付作業中、安全クラッチが作動（ガッガッという大きな異音）したら、すぐに走行を停止し、エンジンを止めて植付爪先端の障害物を取り除くこと。

1AKABAGAP4210

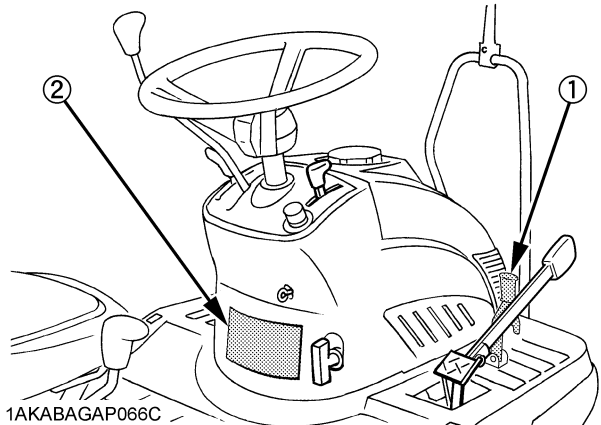
②品番 PK401-8926-1

1AKABAGAP4220

1AKABAGAP206C

①品番 PK401-8923-1

⚠警告

機械から離れるときは、このレバーで必ずペダルをロックしてブレーキを効かすこと。

1AKABAGAP4230

②品番 PK901-8924-1

⚠ 注　意

降りて機械を動かす時の注意

1．エンジン回転をアイドリングに下げ、副変速レバーを「圃場作業」にすること。
2．機体が傾斜状態にあるときは、変速操作をしないこと。
3．あぜごえアーム使用時は前輪を直進方向に向けること。

ボンネットをはずして点検・調整するときの注意

1．回転物・高温部がありケガをするのでエンジンを必ず止めること。
2．点検・調整後はボンネットを必ず取付けること。

乗車時の注意

ハンドル操作が重くなるので乗車時はあぜごえアームを立てること。

エンジン始動・停止要領

始動時　エンジンスイッチを”運転”位置に合わせブレーキペダルを深く踏込み、主変速レバーおよび植付レバーが「N（中立）」にあることを確認してリコイルハンドルを引いて下さい。
停止時　ブレーキペダルをロックし、主変速レバーおよび植付レバーが「N（中立）」にあることを確認してエンジンスイッチを”停止”の位置にして下さい。

⚠ 警　　告

不意に動かないように機械から離れるときは、必ず、ブレーキペダルをロックすること。

駐車ブレーキのかけ方

解除　駐車時
ロックレバー
駐車時はロックレバーをたおしてピンにかけて下さい。

潤　滑　油

給油箇所	油量	油の種類
エンジンオイル（油量上限 油量下限）	0.6 ℓ	クボタ純オイル G10W 30
ミッションオイル（給油口 ステップ）	3.4 ℓ	クボタ純オイル スーパーUDT

1AKABAGAP4240

③品番 PN201-8987-1

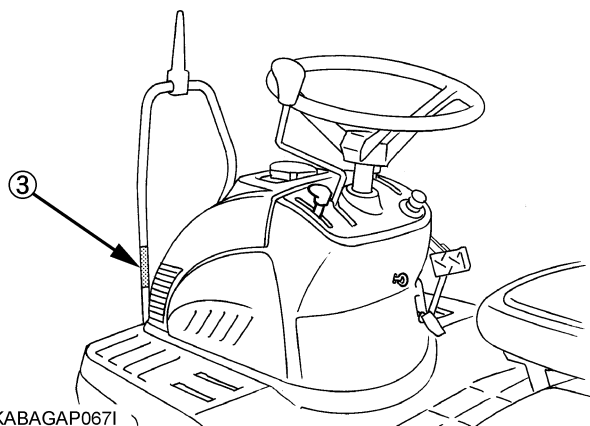
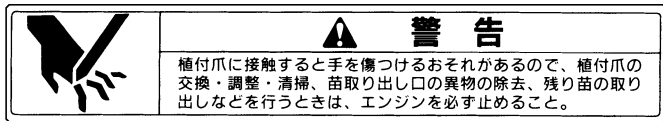
⚠ 注意

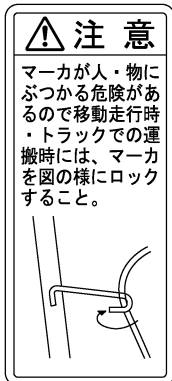
降りて走行するときは、
アクセルレバーを「🐢」位置に、
副変速レバーを「圃場作業」位置にすること。

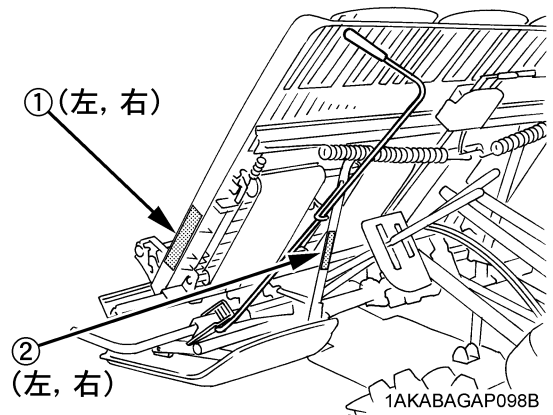
1AKACAXAP1490

①品番 PA401-8943-1

警　告

植付爪に接触すると手を傷つけるおそれがあるので、植付爪の交換・調整・清掃、苗取り出し口の異物の除去、残り苗の取り出しなどを行うときは、エンジンを必ず止めること。

1AKABAGAP4260

②品番 PJ401-8953-1

1AKABAGAP4270

1AKABAGAP098B

3. 表示ラベルの手入れ

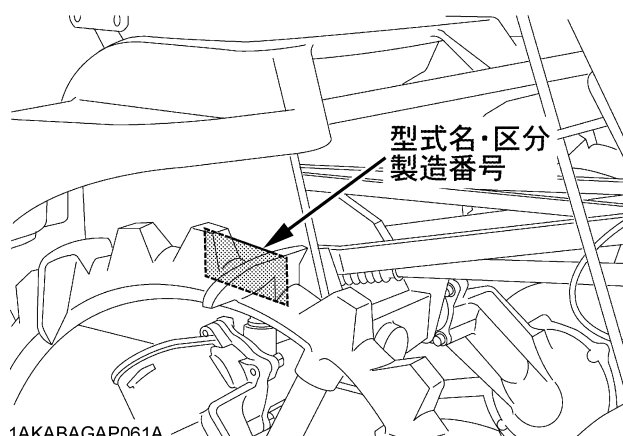
⚠表示ラベルをよく読み理解して，安全注意事項を守る

- ラベルはいつもきれいにして，傷つけないようにしてください。
- ⚠ 表示ラベルがよごれた場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
  シンナーやアセトンなどの溶剤を使うと，文字や絵が消えることがありますので絶対に使わないでください。
- もしラベルがよごれた場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでさい。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ **ご相談窓口**

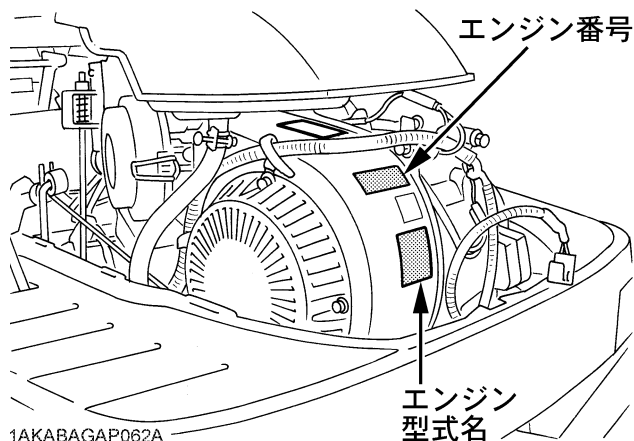
ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ **［ご相談窓口］** を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際銘板に記載している
　1. 型式名・区分と製造番号
　2. 搭載機関（エンジン）の型式名と番号
をあわせてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ **認定番号**

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

形式名	安全鑑定番号
クボタ JC4	27055

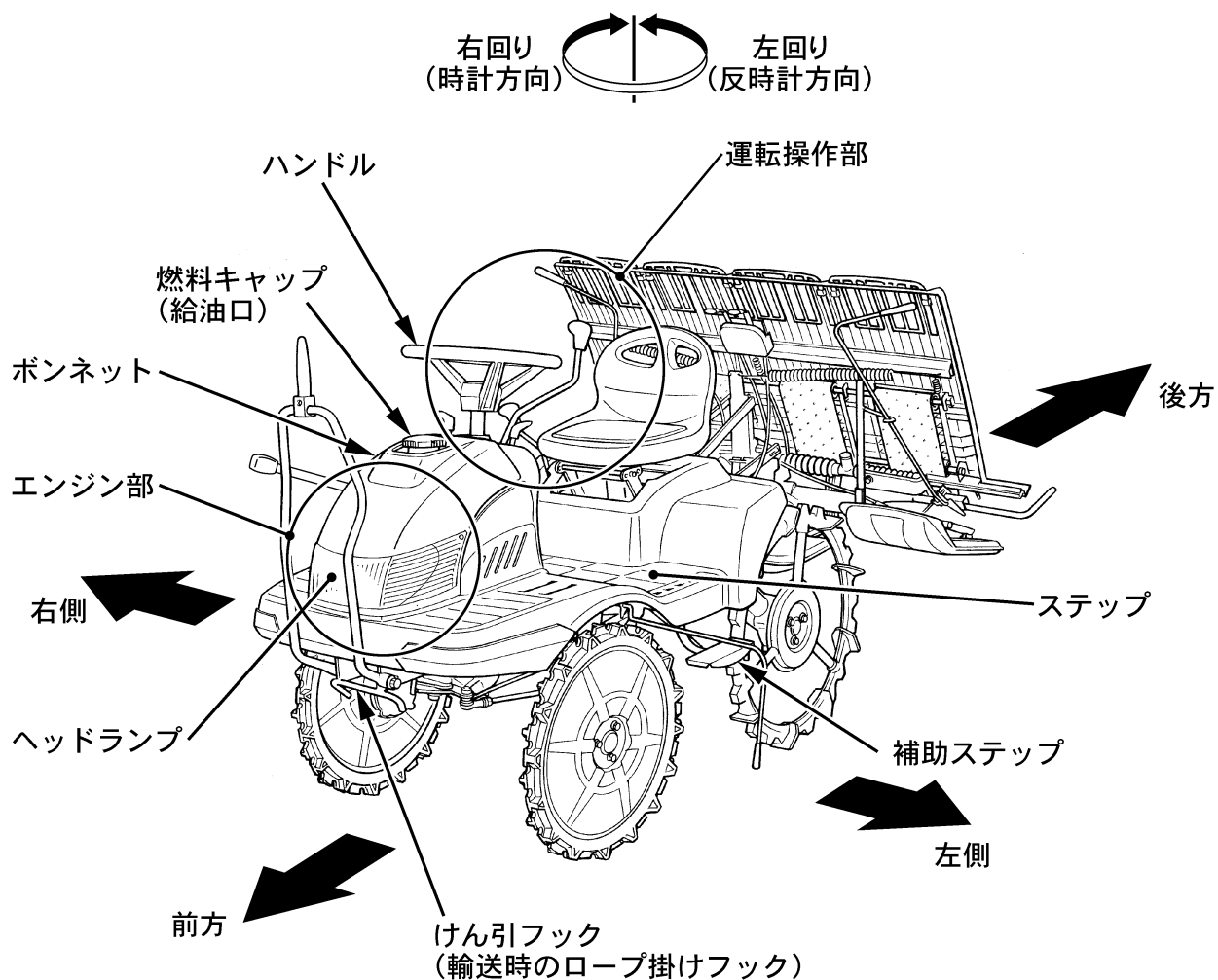
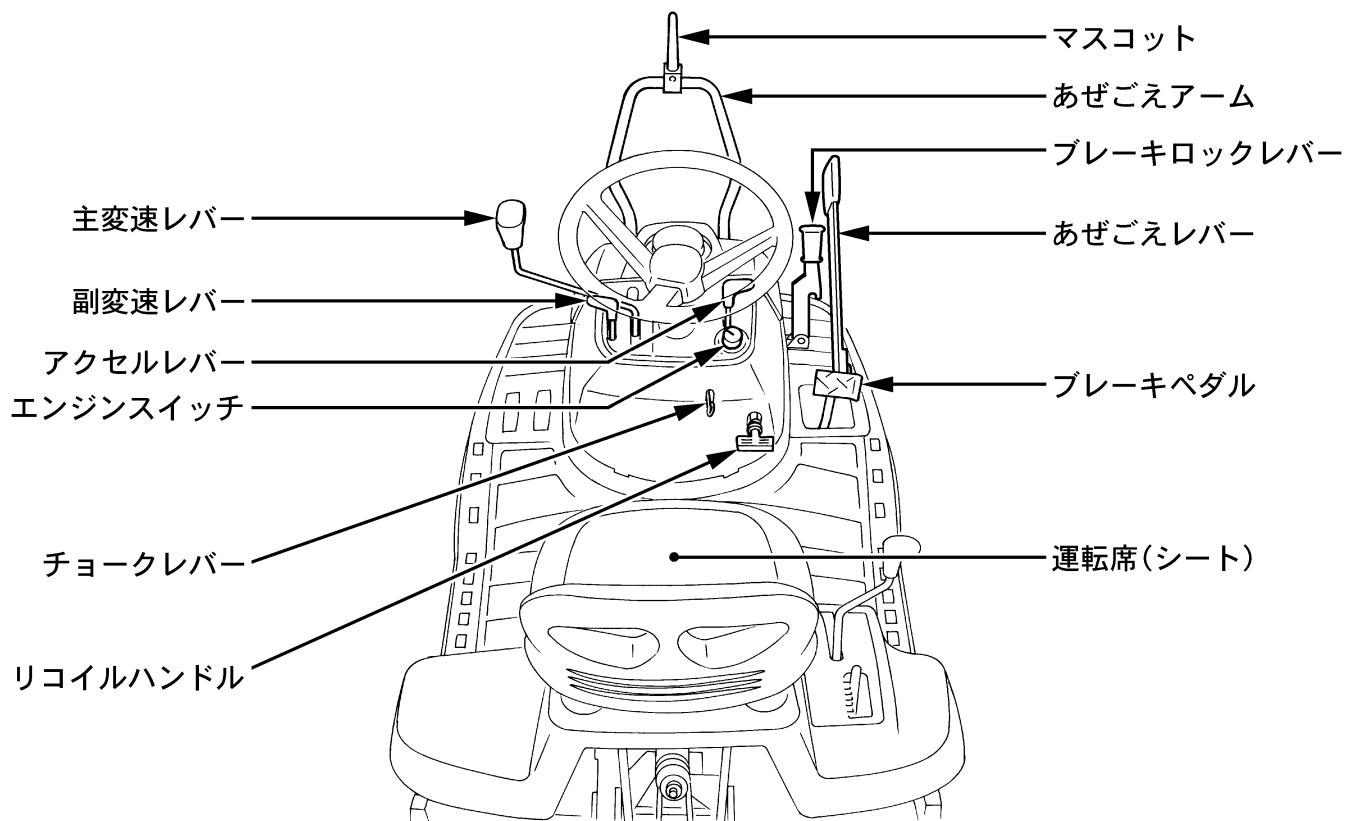
■ **補修用部品の供給年限について**

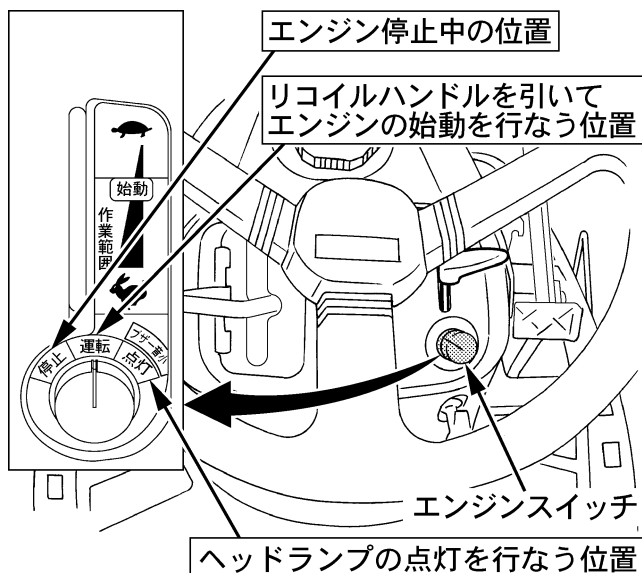
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

走行装置の名称と取扱い

機体方向説明と走行装置の名称

この取扱説明書で使用している**前後・左右・左回り・右回り**などの方向は，図示のとおりです。

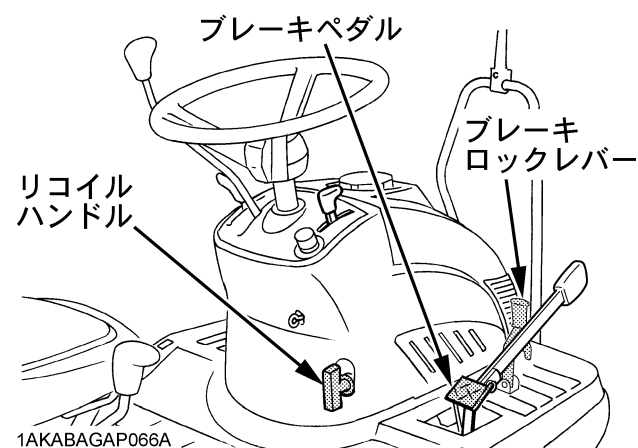
各部の名称とはたらき

マスコット
あぜごえアーム
ブレーキロックレバー
主変速レバー
あぜごえレバー
副変速レバー
アクセルレバー
ブレーキペダル
エンジンスイッチ
チョークレバー
運転席(シート)
リコイルハンドル
1AKABAGAP064A

◆ エンジン操作関係

■エンジンスイッチ
エンジンの始動・停止及びヘッドランプの点灯・消灯を行なうスイッチです。

1AKABAGAP065A

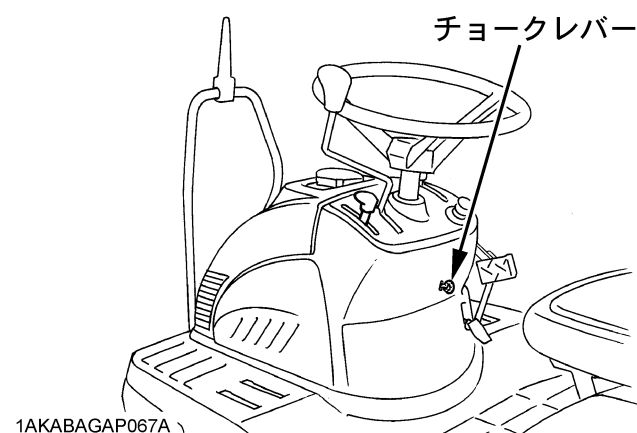
補 足

＊ エンジンが回転中に［点灯］位置にすると，ブザー音が小さくなります。

■リコイルハンドル
エンジンの始動を行なうハンドルです。

1AKABAGAP066A

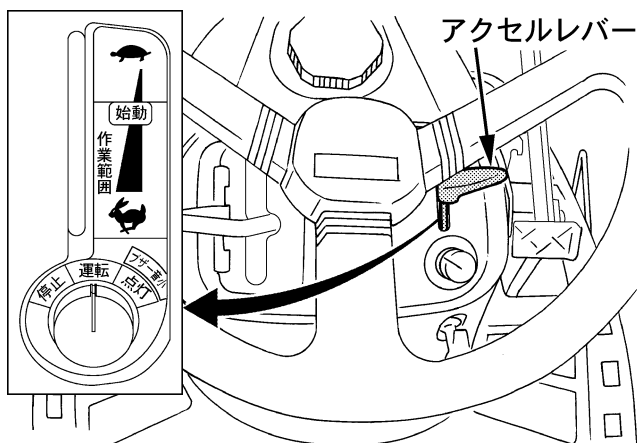
補 足

＊ ブレーキペダルをいっぱいまで踏込まないとエンジンは始動しません。
ブレーキロックレバーでブレーキペダルをロックして駐車ブレーキを掛けてからエンジンを始動してください。

■チョークレバー
エンジンの始動を容易にするレバーです。レバーを引くと燃料の混合気が濃くなります。

1AKABAGAP067A

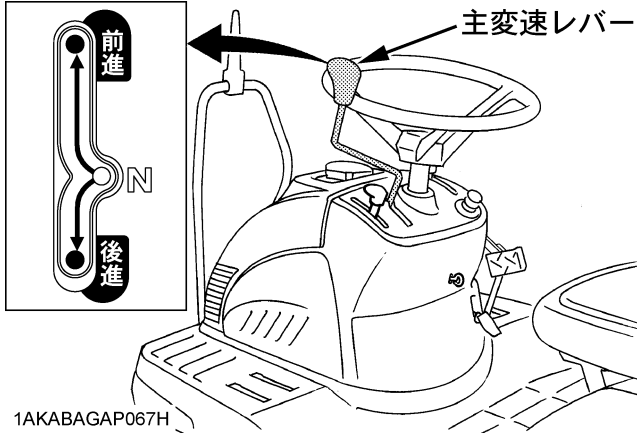
補 足

＊ エンジンの始動以外は使用しないでください。

■アクセルレバー
エンジンの回転数をコントロールするレバーです。レバーを後方に引く（［🐇］方向）と回転数が上がり，前方に押す（［🐢］方向）と回転数は下がります。

1AKABAGAP065F

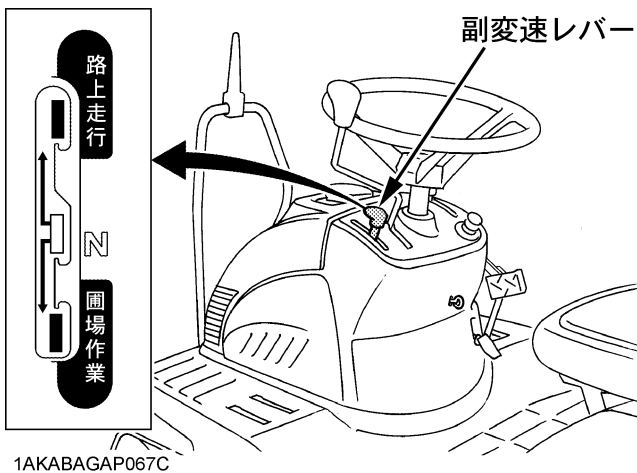
◆ **走行操作関係**

■主変速レバー

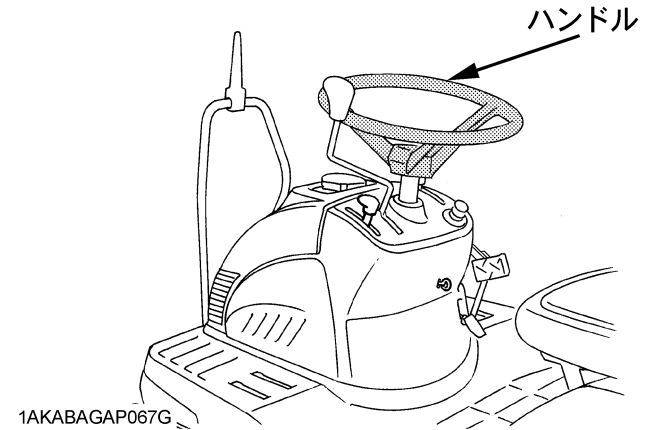
前進・後進・停止（中立）の操作及び走行速度の調整を行なうレバーです。

補　足

＊ 走行速度は，主変速レバーを動かす量に応じて変わり（増・減速）ます。
＊ 通常の走行を停止するときは，主変速レバーを**［N］（中立）**位置に合わせてください。

■副変速レバー

［路上走行］位置と**［圃場作業］**位置の切換えを行なうレバーです。

■パワーステアリングハンドル

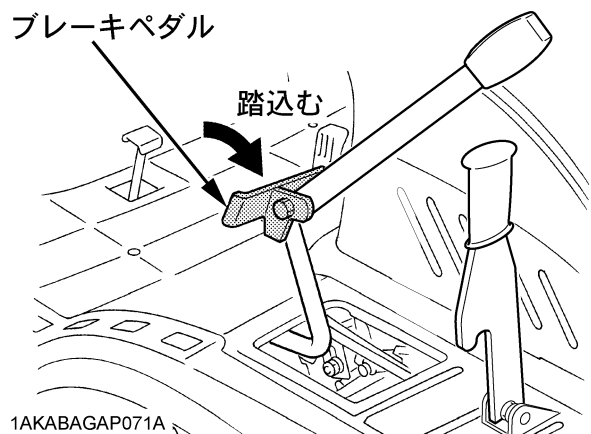
［D 仕様］

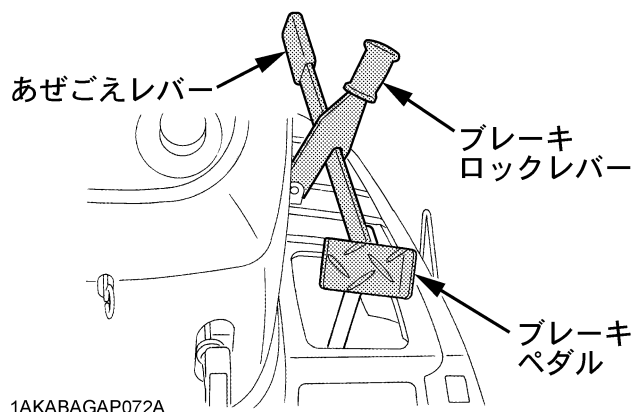
走行操作（旋回や進路変更）を行なう油圧式のハンドルです。

重　要

＊ ハンドル操作は，エンジン始動中は軽くなりますが，エンジンが停止しているときは重くなりますので無理に操作しないでください。

［D 仕様］

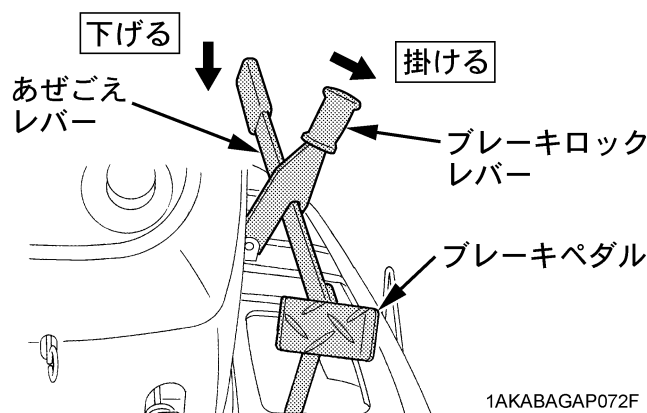
■ブレーキペダル

踏込むとクラッチが切れてブレーキが掛かります。エンジンの始動時や緊急停止時に使用します。

■ブレーキロックレバー

ブレーキペダルを踏込み，ブレーキロックレバーでペダルをロックすると駐車ブレーキが掛かります。また，ブレーキペダルを踏込んでブレーキロックレバーを外すと駐車ブレーキが解除されます。

補　足

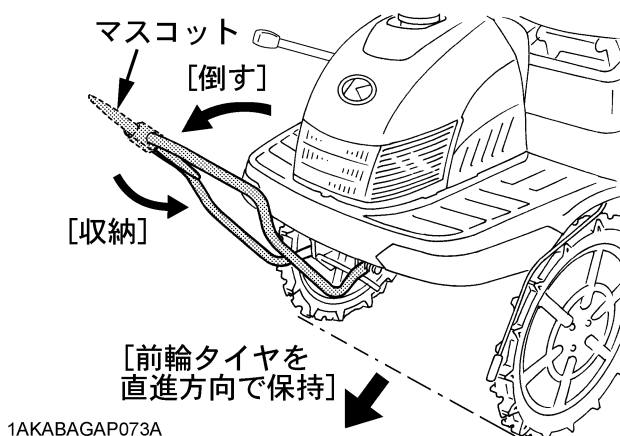
＊ エンジンを始動するときは，駐車ブレーキを必ず掛けてください。

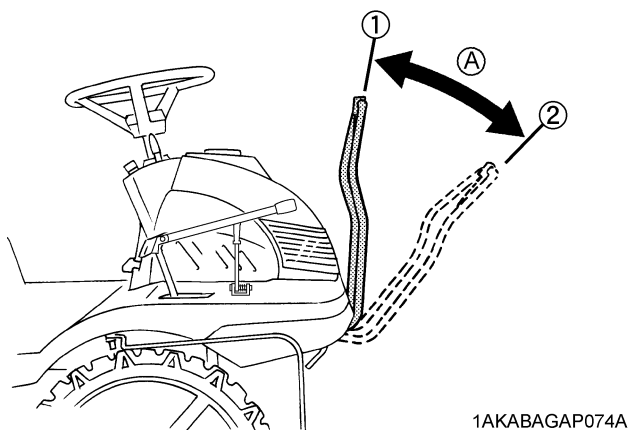
■あぜごえレバー

あぜごえアームを使用し，機体から降りて走行する場合に機体の走行を一時停止するレバーです。停止させるときは，あぜごえレバーを押下げてブレーキロックレバーの切欠部に掛けてください。解除するときはあぜごえレバーをいったん押下げてブレーキロックレバーのロックを解除してください。

補　足

＊ ブレーキペダルと連動させているためあぜごえレバーを操作するとブレーキが掛かります。また，同時に機体の走行が停止します。

■あぜごえアーム

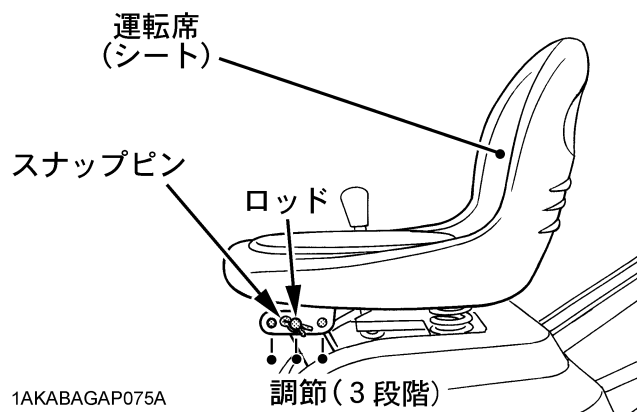
ほ場の出入りをするときのあぜごえや，トラックへの積み・降ろし，急な斜面を登り降りするとき，機械の浮き上がり防止・引上げ・方向修正などを行なうアームです。操作するときは，マスコットを収納したあと，前輪を直進方向にしてから，アームをいっぱいまで倒します。このとき，前輪タイヤは直進状態に保持されます。

◆ あぜごえアームの操作について

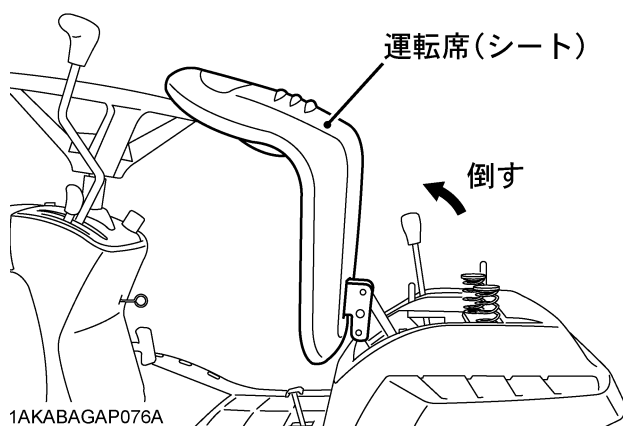
あぜごえアームは，作業内容及び作業状態により下記位置を基本として使用してください。

Ⓐ	可動範囲	…	あぜごえアームが動く範囲
①	収納位置	…	乗車しての移動，及び トラック輸送時，長期格納時
②	降りての 操作位置	…	あぜごえ時や急な坂道の登り 下りなど降りて走行する時

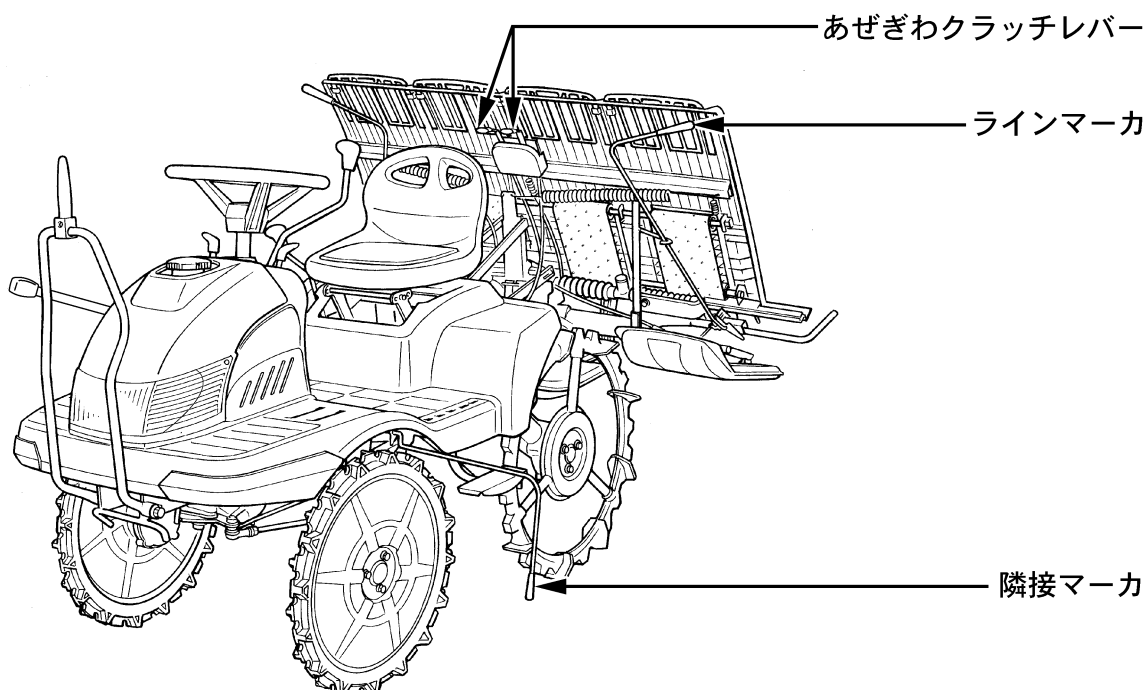
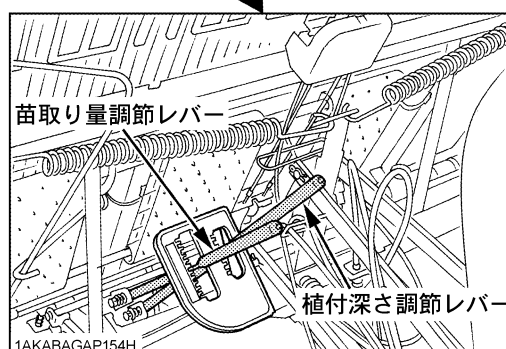
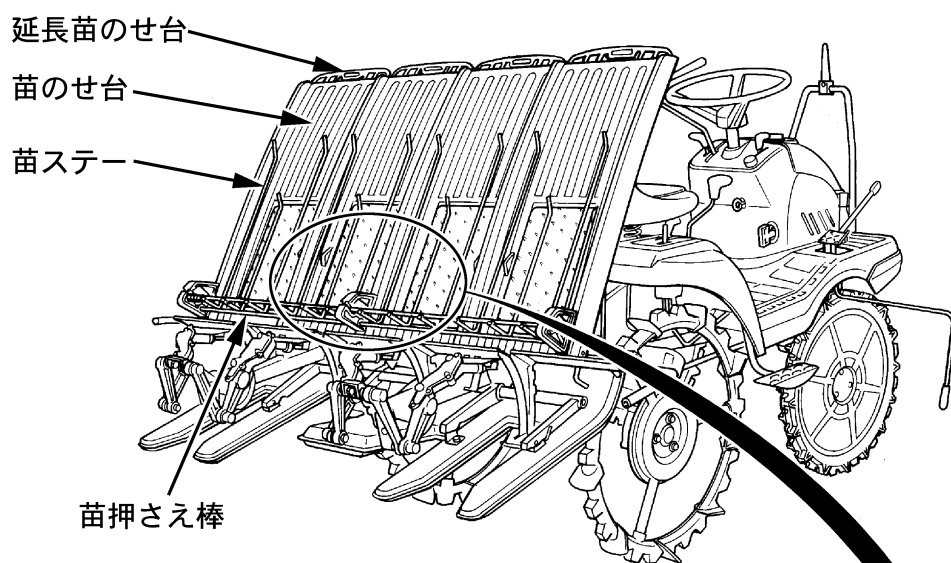
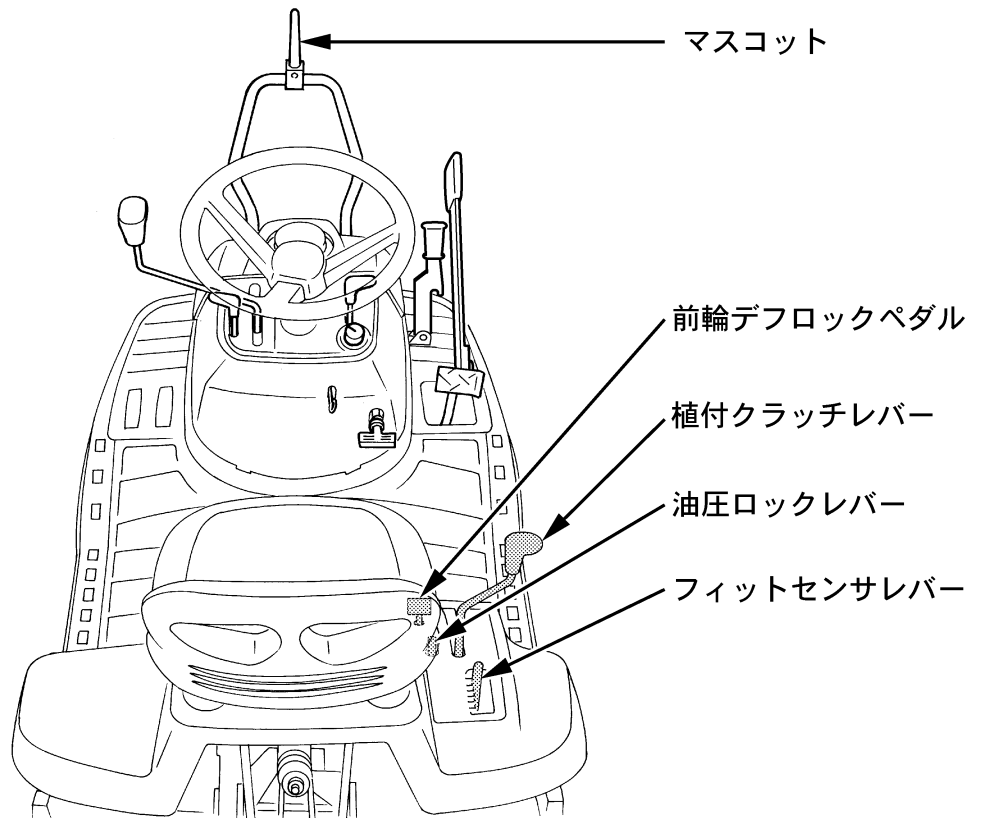
重　要

＊ あぜごえアームをいっぱいまで倒しての植付作業や路上走行は行なわないでください。破損の原因になります。

■運転席（シート）

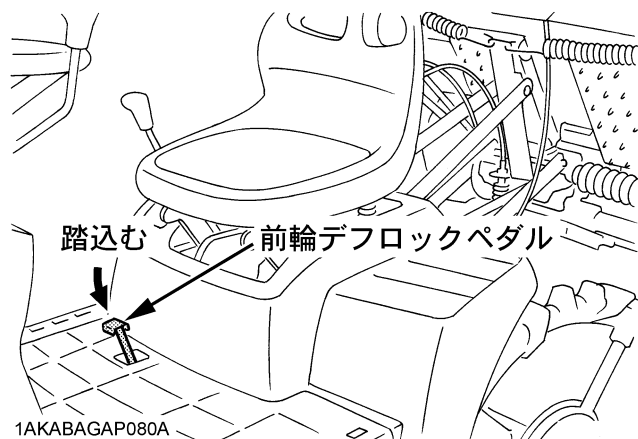
運転席は前後に調節することができます。運転席の前方下にあるスナップピンとロッドを外し，穴を差換えて前⟷後に調節してください。

補　足

＊ 運転席を前方に倒しておくと，ほこりよけとなります。

作業装置の名称と取扱い

作業装置の名称とはたらき

1AKABAGAP063B

1AKABAGAP078A

1AKABAGAP064B

◆ 走行操作関係

■前輪デフロックペダル

踏込むと, 左と右の前輪が一体となって駆動します。あぜごえ，傾斜地（あゆみ板や急な坂道）や前輪がスリップするときに使用します。

◆ 植付関係

■植付クラッチレバー

植付部の**上昇・下降**，動力伝達の入・切，ラインマーカのセットを操作するレバーです。

● **植付部操作**

[上] ·········· 植付部の駆動が停止し，上昇します。

[N]（中立）·· 中立位置です。

[下] ·········· 植付部が下降します。

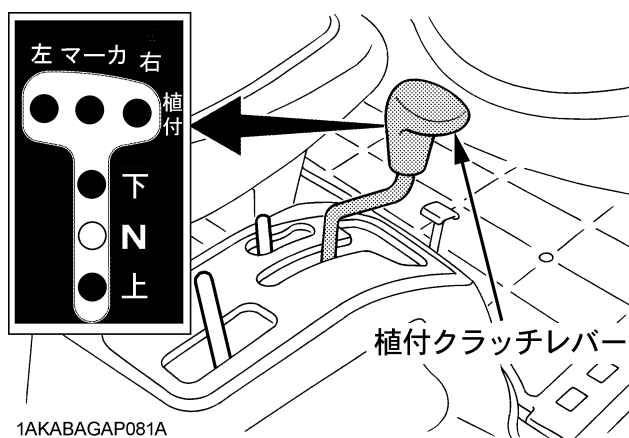
[植付] ········ 植付部が駆動します。（植付爪が回転し，苗のせ台が横送りします。）

補　足

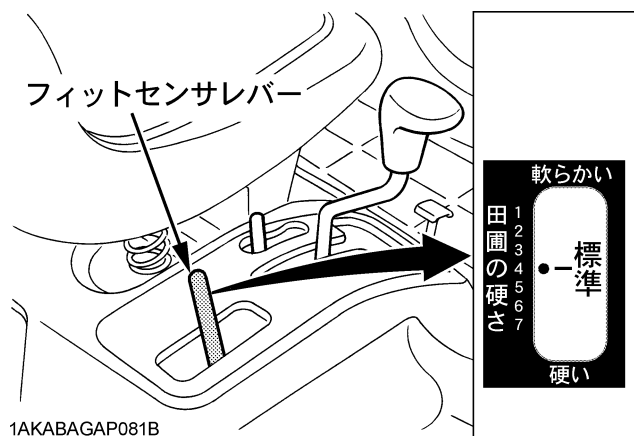
＊ 植付部が最上昇すると, レバーは自動的に**[N]（中立）**位置に戻ります。

● **ラインマーカ操作**

[左]··········ラインマーカが左側に倒れます。
[右]··········ラインマーカが右側に倒れます。

補　足

＊ 植付部を上昇させるとラインマーカは自動的に収納されます。

■フィットセンサレバー

- フィットセンサは，フロートによるほ場表面の整地を最良にするため，ほ場表面の状態に合わせて植付部の上下の動きの感度を調節する装置です。
- フィットセンサレバーは感度を変更するレバーです。ほ場の状態に合わせて７段階（１〜７）の調節が行なえます。

補　足

＊ 出荷時は，**［４］**（標準）の位置です。

■苗取り量調節レバー

苗の縦取り量を調節するレバーです。苗の状態や種類に合わせて 11 段階の調節が行なえます。

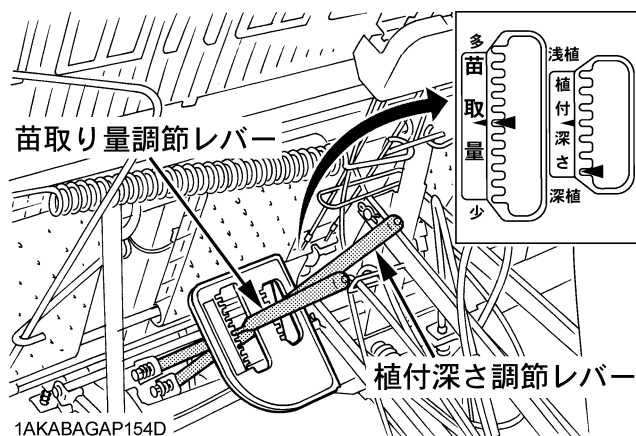
補　足

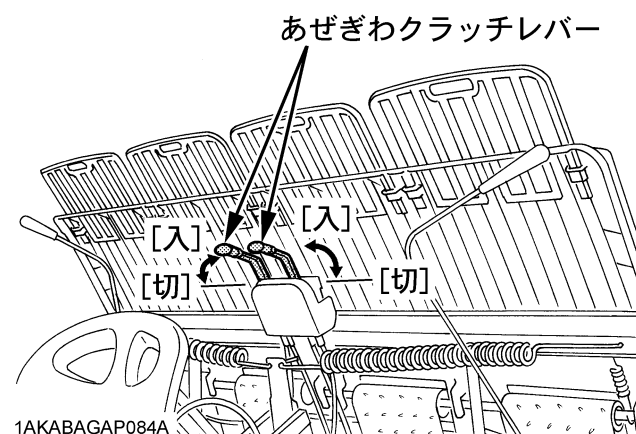
＊ 出荷時は，**上［多］から６段目**位置です。

■植付深さ調節レバー

ほ場に適した苗の植付深さを調節するレバーです。苗の植付深さに合わせて７段階の調節が行なえます。

補　足

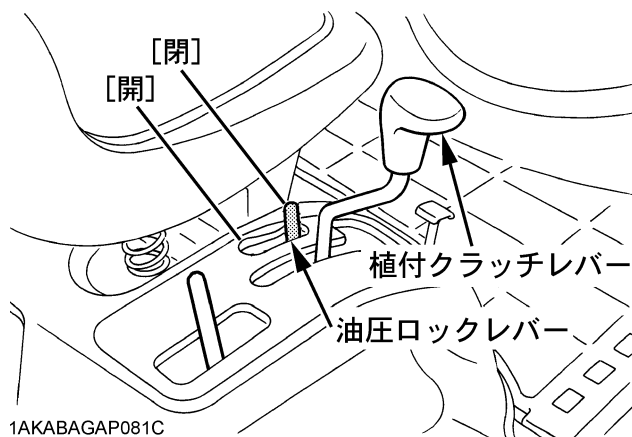
＊ 出荷時は，**［最深］**位置です。

■あぜぎわクラッチレバー

２条ごとに苗の縦送りと植付爪の駆動を停止するレバーです。ほ場の形状にあわせて，必要なときに使用してください。

補　足

＊ 全条植えを行なうときは必ずレバーを**［入］**位置にしてください。

■油圧ロックレバー

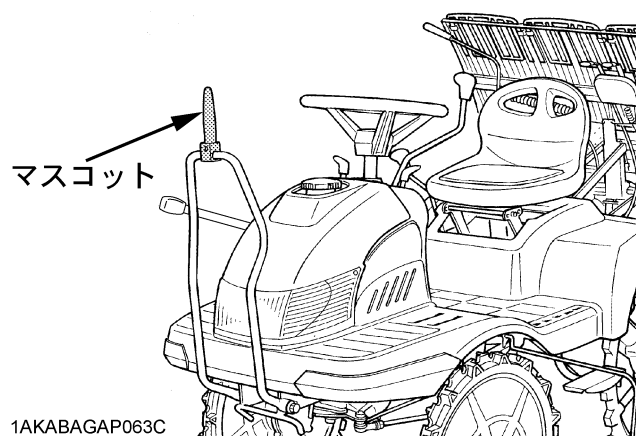
植付部の下降防止を行なう油圧のロックレバーです。ロックレバーを前方に動かす（**[閉]** 位置）と，エンジンが始動中に植付クラッチレバーを操作しても植付部は下降しません。解除するときは，ロックレバーを後方に動かして（**[開]** 位置）ください。

1AKABAGAP081C

補　足

＊ レバーを操作するときは，前方又は，後方いっぱいまで操作してください。

■マスコット

マスコットは，ラインマーカで引かれた線上を直進していくための目印となるものです。

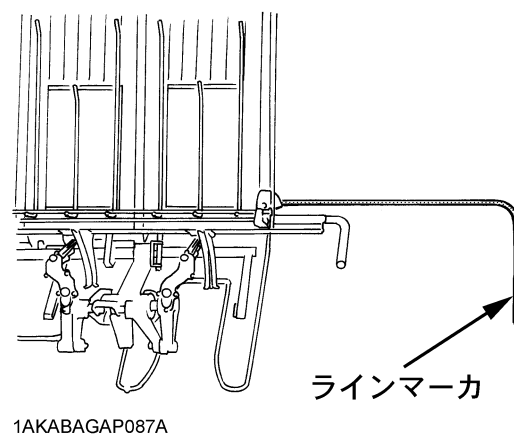
1AKABAGAP063C

補　足

＊ 移動走行時や納屋などに格納するときは，下側に倒して収納状態にしてください。

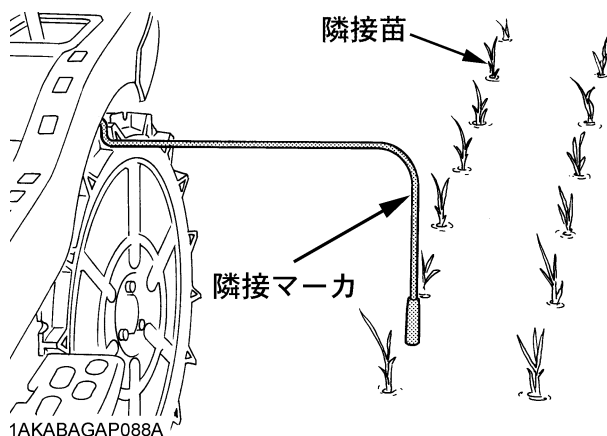
■ラインマーカ

次行程を植付けるとき，適正な隣接条間を保つための目標となる線をほ場面に引きます。

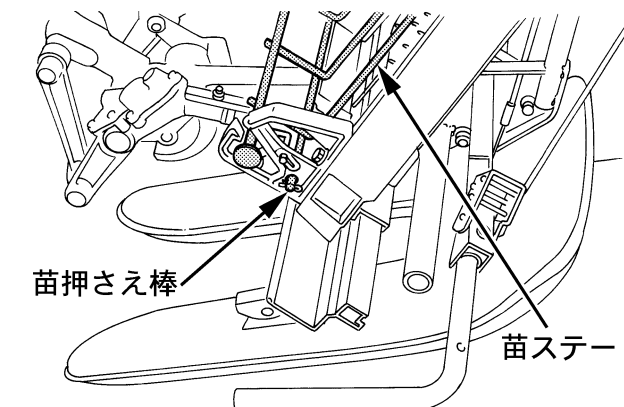
1AKABAGAP087A

補　足

＊ 植付部を上昇させるとラインマーカは自動的に収納されます。

■隣接マーカ

あぜぎわの植付けを行なう場合やラインマーカで引かれた線が見えにくいときは，次行程の植始めに隣接条の苗の真上にマーカを合わせて植付けると適正な隣接条間が保てます。

1AKABAGAP088A

■苗ステー・苗押さえ棒

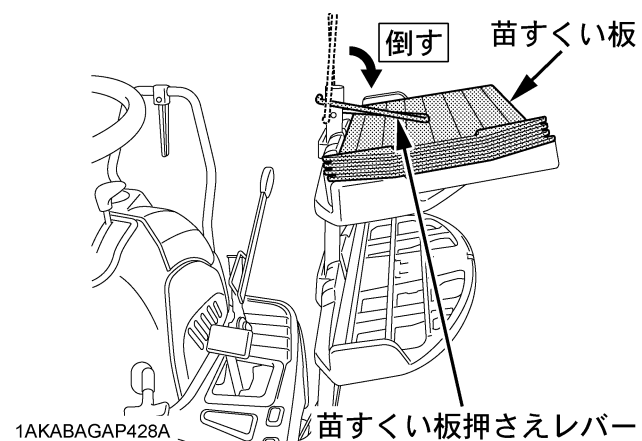
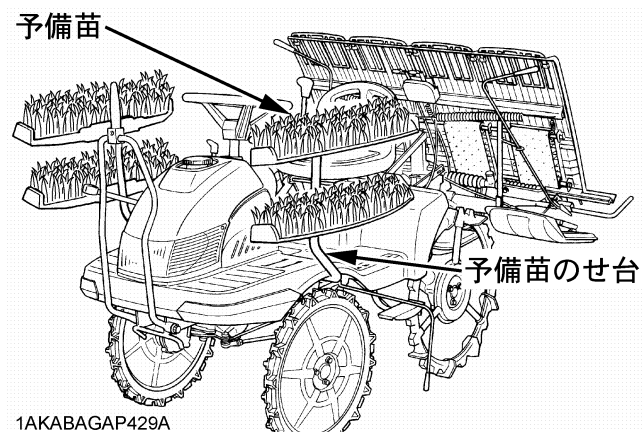
苗ステーは，薄くて軟弱な苗床や根張りの悪い苗床から，苗がくずれ落ちて発生する欠株を防ぎます。また，苗押さえ棒は，植付時の苗の倒れや欠株を防ぎます。

■予備苗のせ台

［D 仕様］

予備苗を４枚載せることができます。苗すくい板の収納場所は右上段です。苗すくい板の押さえレバーで収納してください。

［D 仕様］

運転前の点検

警　告

＊ 平たんな安全な場所で，エンジンを止めて駐車ブレーキを必ず掛けてから行なってください。
＊ 燃料の補給中は火気厳禁です。
＊ 取外した回転部のカバー類は，衣服などが巻込まれるおそれがあるので，点検後は必ず取付けてから作業をしてください。

注　意

＊ オイル補給中は火気厳禁です。
＊ 運転前にブレーキ・クラッチや安全装置などの日常点検を行ない，摩耗や損傷している部品があれば交換してください。また，定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。
＊ 使用前にはオイル，燃料が規定量入っているか必ず点検してください。
＊ 燃料，オイルを補給したときは，キャップや給油栓を確実に締め，こぼれた燃料やオイルは，きれいにふき取ってください。
＊ マフラやエンジン・燃料タンク・ベルトカバー内・配線部周辺にごみや燃料の付着，泥の堆積などがあると火災の原因になることがあります。日常点検をして取除いてください。

重　要

各部への給油と交換
＊ 点検するときは機械を水平な場所において行なってください。傾いていると正確な量を示しません。
＊ 使用するエンジンオイル，ミッションオイル，グリースは，指定の **［クボタ純オイル・スペアグリース］** を必ず使用してください。
＊ 燃料補給の際は，ゴミや水が混入しないようにしてください。
＊ 燃料のガソリンは1ヶ月以上放置すると，気化や酸化をしてガソリンが変質し，エンジンの不調や故障の原因になりますので必ずタンク内及びフィルタポット内のガソリンは抜取り，新しいガソリンを給油してください。

◆ 前日の異常箇所

前日の作業中に異常を感じたところがあれば，使用前に支障がないか点検してください。

◆ 田植機の回りを歩いて

1. ボルトやナットのゆるみや脱落がないか点検します。
2. 車体各部の変形や損傷がないか点検します。
3. 油もれや水もれなどないか点検します。
4. 機械各部にごみや泥がたまっていないか点検します。

日常点検項目

＜ここを＞	➡ ＜点検し異常があれば＞	➡ ＜こうする（処置）＞	参照ページ
機械の周りを歩いて			
機械各部	1. 損傷や変形はないか。 2. ボルトやナットのゆるみや脱落はないか。 3. 油もれや水もれはないか。 4. ゴミや泥などがたまってないか。 5. 安全ラベル（ ⚠ 表示ラベル）の損傷やはがれはないか。	1. 修理又は，交換する。 2. 補充や増締めをする。 3. ホースやパイプの取付部の締付け又は，部品交換する。 4. 掃除する。 5. 新しいラベルに貼替える。	— — 62 49 ⚠ -15
タイヤ	・摩耗や損傷はないか。	・交換する。	64
各ワイヤ， レバー支点部， しゅう動部	・たるみや損傷はないか。 ・作動状態に異常はないか。	・交換する。 ・注油する。	—
植付爪・ 押出し金具	・摩耗や破損又は，変形していないか。 ・石などの異物がはさまっていないか。	・調整又は，交換する。 ・取除く。	65
ボンネットを開け			
エアクリーナ	・エレメントが汚れたり，ほこりが詰まっていないか。	・掃除する。	61
エンジン オイル	・油量は規定量（オイルゲージの**上限線と下限線の間**）あるか。	・規定量まで補給する。 …クボタ純オイル G10W30 又は，API 分類 SE 級以上	57
ホース，パイプ	・油もれはないか。	・取付部の締付け又は，交換する。	62
配線コード	・コネクタの外れはないか。 ・被覆の損傷はないか。	・接続をする。 ・交換する。	67
燃料タンク	・作業に必要な燃料はあるか。	・自動車用無鉛ガソリンを補給する。	56
エンジンを始動して機械を動かしてみて			
ヘッドランプ	・ランプは点灯するか。	・ランプ切れ，配線コードの外れを点検して交換又は，接続をする。	68
エンジン	・始動するか。	・購入先に連絡してください。	—
マフラ	・異音はしないか。 ・排気ガスの色に異常はないか。		
各操作レバー	・各操作レバーの作動と各作動部に異常はないか。		—
ブレーキ ペダル	・踏込むと停止するか。	・ブレーキペダルの遊び量を調整します。	63

重　要

＊ 処置したあとに異常が直らないときは，購入先に連絡してください。

移動走行と輸送

新車時の扱いかた

新車時の上手な運転操作やメンテナンスが田植機の寿命に影響を及ぼします。新車の田植機は厳重な検査のもとに出荷されていますが田植機の各部の部品はならし運転されていません。ならし運転期間中は田植機各部の部品がなじむまでは走行速度は低速で，過負荷となる田植作業は避けてください。
田植機の性能を最大に発揮させたり，長期にわたる耐久力を維持させるためには，適正なならし運転が重要です。
新車時の取扱いは次項を遵守してください。

■ならし運転について

＊ 急発進や急ブレーキ操作はしないでください。
＊ 寒い日や冬期，エンジンはじゅうぶん暖機運転をしてください。
＊ エンジンは規定田植作業回転数以上に回さないでください。
＊ 整地されていない凹凸道路では低速走行をしてください。

以上はならし運転以降も必要な事項ですが，新車時は特に注意してください。

エンジンの始動と停止のしかた

注　意

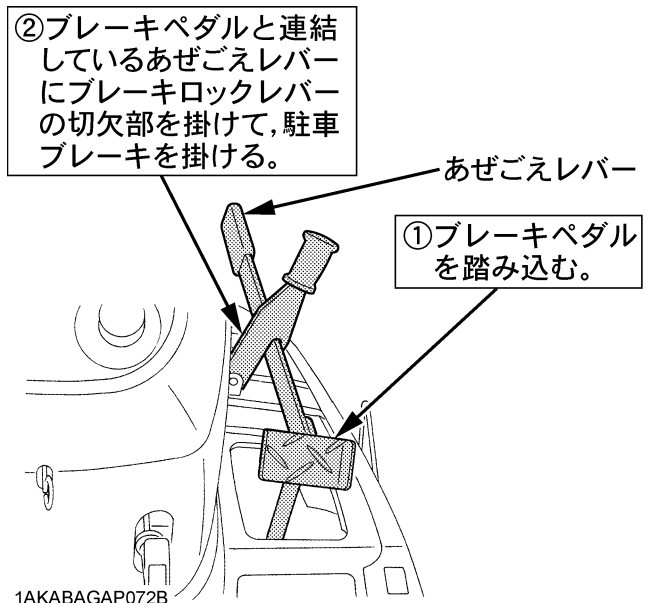
＊ この取扱説明書前編の黄色のページ［安全に作業をするために］の内容を必ずお読みください。
＊ 田植機に貼ってある警告・注意ラベルの内容を必ずお読みください。
＊ エンジン排気ガスによる排気ガス中毒をさけるため，換気の不じゅうぶんな納屋・倉庫でエンジンを回さないでください。
＊ エンジン始動後に急発進するおそれがあるので，エンジン始動前に主変速レバーを［N］（中立）位置に必ず戻してください。
＊ 周囲の人に始動の合図をして，始動操作は運転席に必ず座ってから行なってください。
＊ 運転席への乗り降りするときは，必ずステップ両側より行なってください。転倒してケガをするおそれがあります。

■始動のしかた

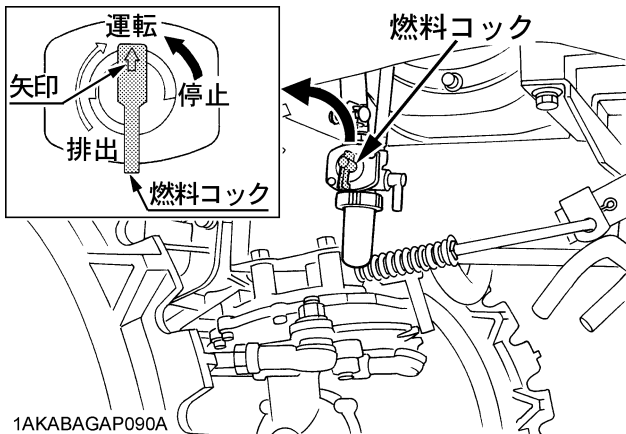
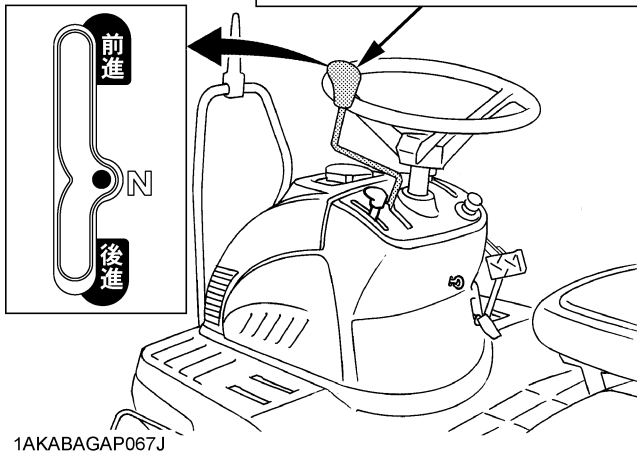
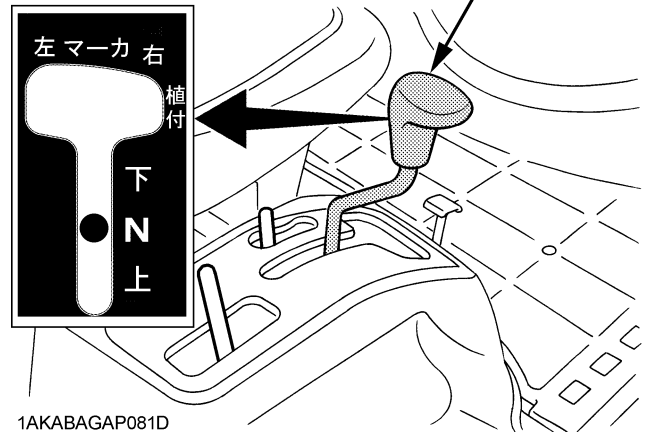
1.　駐車ブレーキを掛けます。

1. ブレーキペダルを踏み込み，ブレーキロックレバーであぜごえレバーをロックします。

②ブレーキペダルと連結しているあぜごえレバーにブレーキロックレバーの切欠部を掛けて，駐車ブレーキを掛ける。
あぜごえレバー
①ブレーキペダルを踏み込む。
1AKABAGAP072B

補　足

＊ ブレーキペダルをいっぱいまで踏込まないとエンジンは始動しません。
駐車ブレーキを掛けてエンジンを始動してください。

２． 燃料コックを開きます。

1. 機体の前方右下（ボンネット右下）にある燃料コックレバーの矢印を［**運転**］位置に合わせます。

1AKABAGAP090A

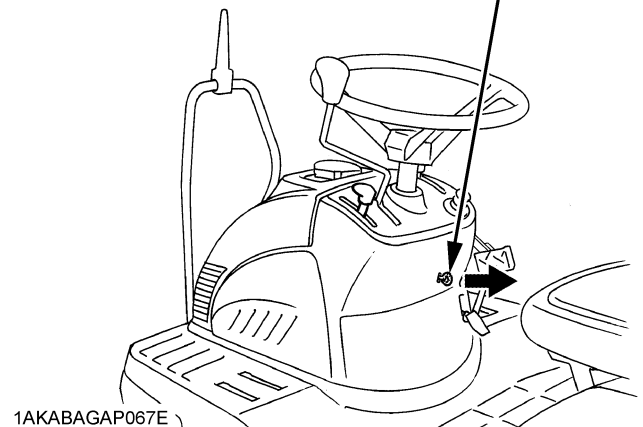
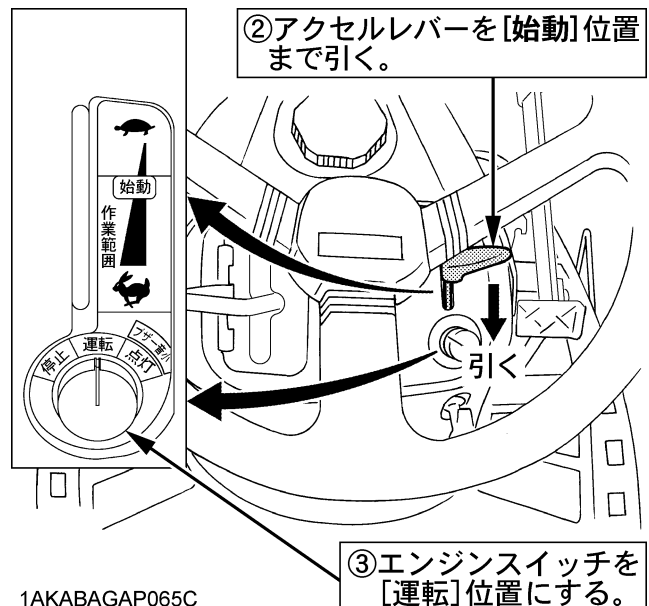
３． 各レバー位置の確認をします。

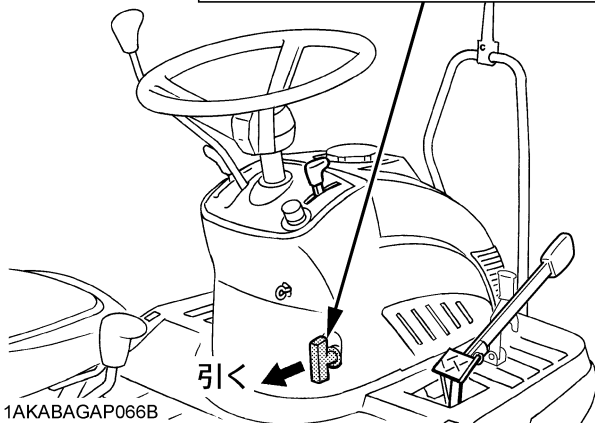
1AKABAGAP067J

1AKABAGAP081D

４． エンジンを始動します。

1AKABAGAP067E

1AKABAGAP065C

注 意

＊ エンジンの始動は必ず運転席（シート）に座って行なってください。
＊ リコイルハンドルを引くときは，苗のせ台等に手をぶつけないように注意してください。

(5) エンジン始動後，エンジンの調子を確認しながらゆっくりとチョークレバーを押込んだあと，約5分間は負荷をかけずに暖機運転を行なってください。

重 要

＊ オイルを各部にじゅうぶんゆきわたらせるためで，始動してからすぐ負荷をかけると，運転部分の焼付きや破損などの故障の原因になります。

補 足

＊ 暖機運転をじゅうぶん行なわないで機械を発進したときに，エンジンが停止することがあります。

■停止のしかた

1. アクセルレバーを戻して**低回転**位置にします。
2. 主変速レバーおよび植付けレバーが**［N］（中立）**位置にあることを確認します。
3. エンジンスイッチを**［停止］**位置にしてエンジンを停止します。

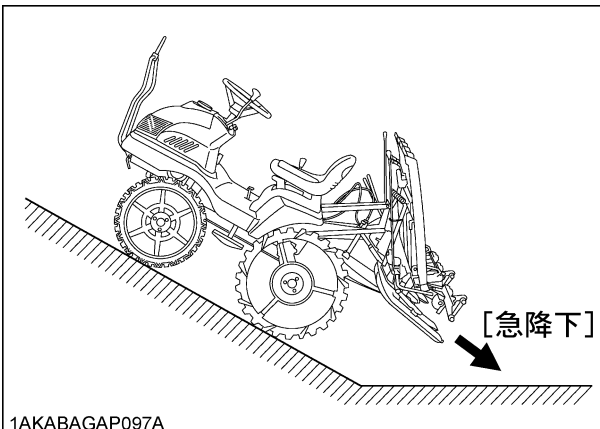
移動走行について

この田植機は，道路運送車両法の保安基準に適合していませんので，法令により公道は走行できません。従って，公道を移動するときはトラックなどで輸送してください。

注 意

＊ 安全のためヘルメットを着用してください。
＊ 周りが暗いときは，ヘッドランプを点灯してください。
＊ 苗ステーは，後方に倒れないようにラックの取付部に取付けてください。
＊ 10cm 以上の段差（あぜやコンクリート畦畔など）のあるところでは機械から降りる又は，あゆみ板を使ってください。
＊ 機械には運転者以外は乗らないでください。また，苗のせ台の苗は取出し，ステップなどには障害物となるような物は置かないでください。
＊ 植付部は上昇位置で油圧をロックし下降防止を行なってください。また，ラインマーカ，隣接マーカ，マスコット，あぜこえアームは収納状態にしてください。
＊ 暴走や転倒をしてケガをするおそれがあるので，あぜごえや傾斜地（あゆみ板や坂道など）を機械に乗車して走行するときは，下記事項に注意してください。
・走行速度を落とす。（ゆっくりと走行する。）
・あぜや斜面に対して直角に走行する。
・あぜや斜面に対して上り方向は後進，下り方向は前進で走行し，前輪デフロックペダルを踏込む。
＊ あぜや斜面の走行途中に急なハンドル操作や副変速レバーの操作及びブレーキペダルを急に踏込まない。
＊ 下記のようなところを走行するときは，暴走や転倒をしてケガをするおそれがあるので注意してください。
・両側が傾斜していたり，溝のある道路の路肩

・道幅に余裕がなく高いところにある道路（土手）
・路肩の弱い道路
・路面の凹凸（溝や穴・窪地など）の落差の大きいところや路面が草などでおおわれて良く見えないところ
・左又は，右に大きく傾斜しているところ

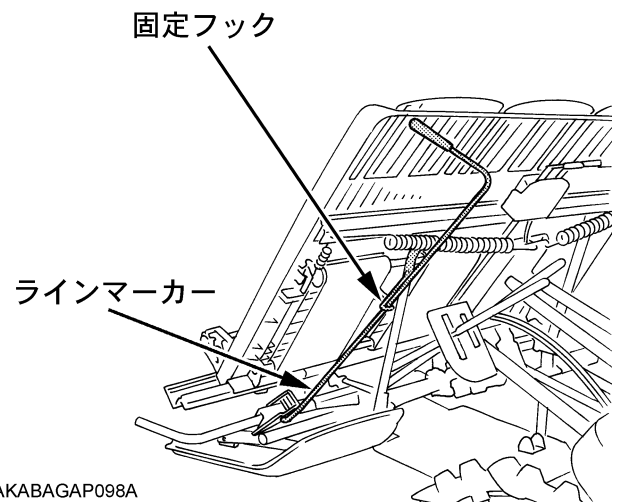
＊ 機械から降りて走行するときは，下記事項に注意してください。
・アクセルレバーを［🐢］位置，副変速レバーを［圃場作業］位置にし，主変速レバーを最低速で操作して周囲の安全や足元に注意しながら走行してください。
・傾斜地では，副変速レバーを絶対に操作しないでください。副変速レバーを［N］（中立）位置にするとブレーキが効かずに，機械が自重で動き出し，急降下します。

1AKABAGAP097A

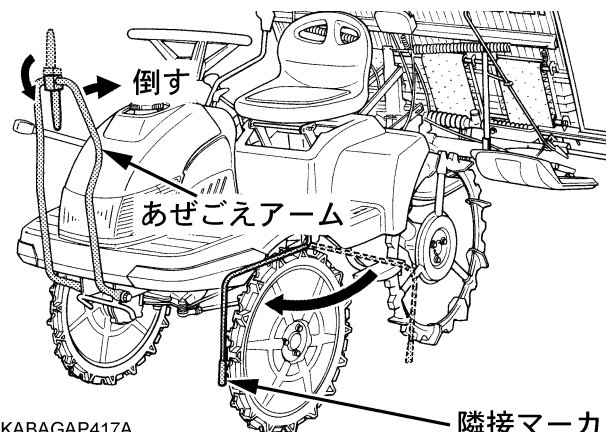
重　要

＊ 植付部を下降した状態で走行すると，フロートが破損することがあります。

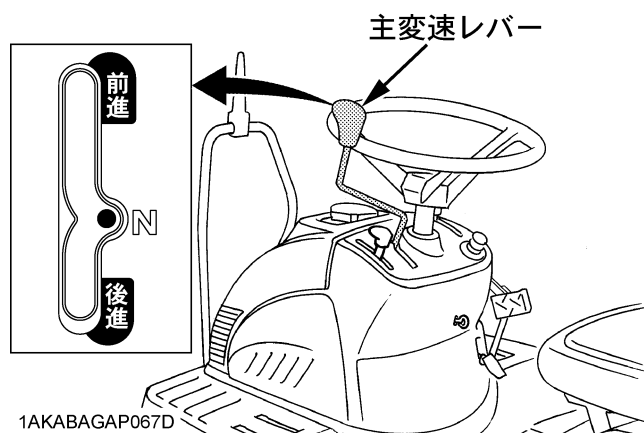
■移動走行前の準備

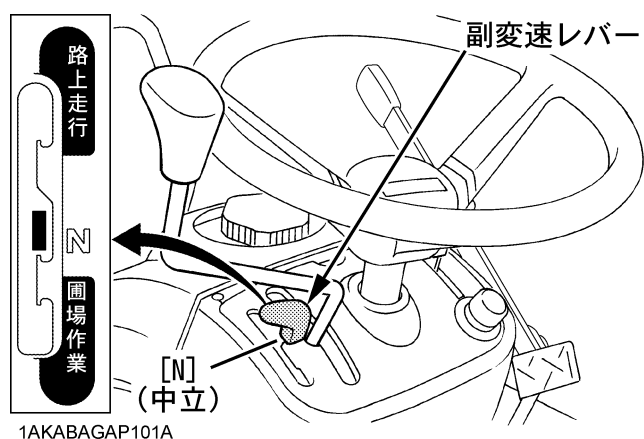
＊ 苗のせ台にある苗や苗すくい板は，すべて降してください。
＊ ステップの回りに物は置かないでください。
＊ 水平で平たんな場所で行なってください。

1. 平たんな場所に機械を止め，エンジンを停止します。
2. 左,右のラインマーカーをフックに引掛けて固定します。

1AKABAGAP098A

3. 左，右の隣接マーカを前方に収納します。
4. マスコットを収納したあと,あぜごえアームをボンネット側に倒します。

1AKABAGAP417A

5. 主変速レバーを **[N]（中立）** 位置にします。

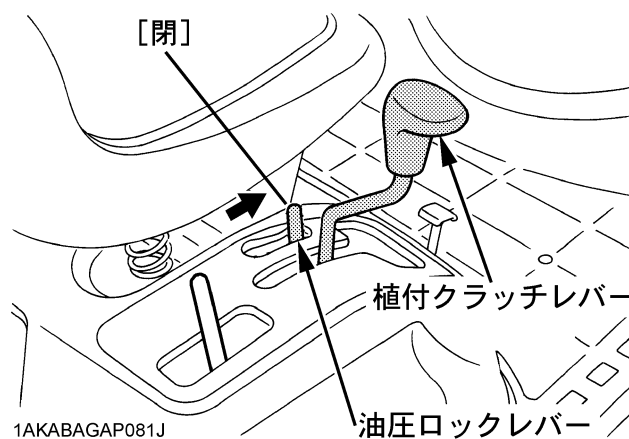
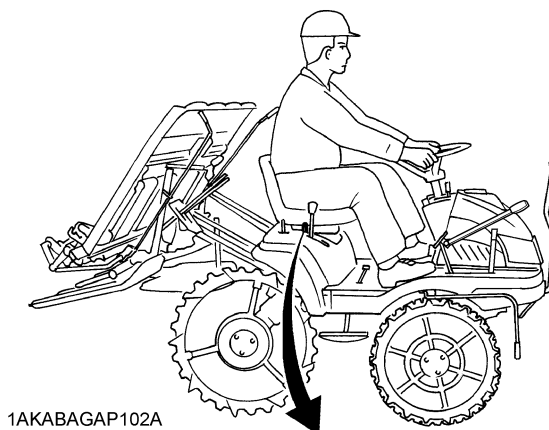
1AKABAGAP067D

6. 駐車ブレーキを解除して副変速レバーを **[N]（中立）** 位置にします。

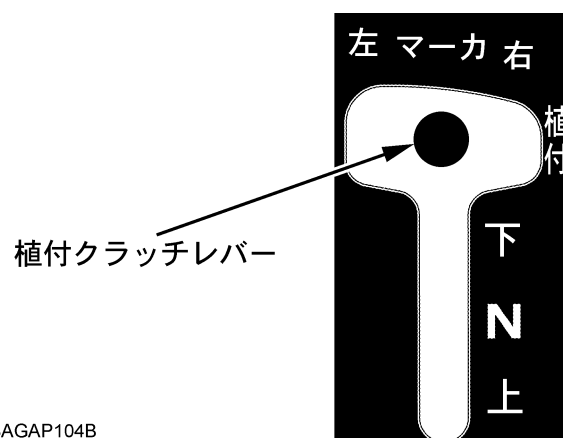
1AKABAGAP101A

補　足

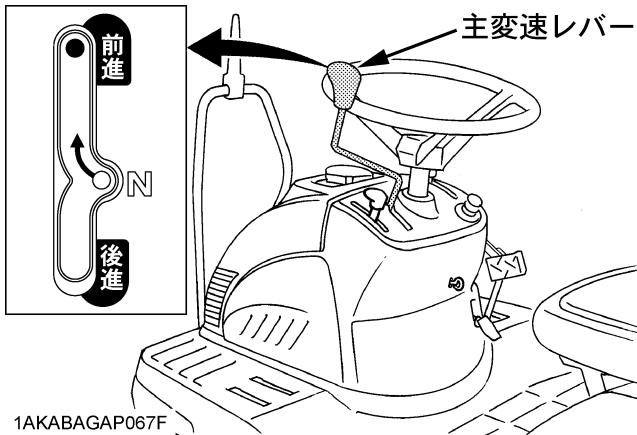
＊ 駐車ブレーキを掛けた状態又は，ブレーキペダルを踏み込んだ状態では，植付部は上昇しません。

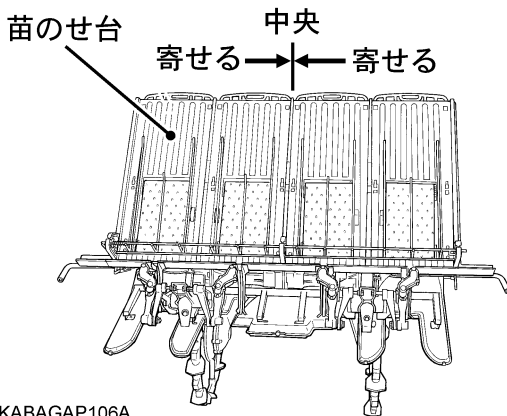
7. エンジン始動後，植付クラッチレバーを操作し，植付部のリンク部を地面と平行となる位置にしたあと，油圧昇降ロックレバーを **[閉]** 位置にして油圧をロックし，植付部の下降防止をします。

1AKABAGAP102A

1AKABAGAP081J

8. 植付クラッチレバーを **[植付]** 位置にする。

1AKABAGAP104B

9.　主変速レバーをゆっくり **［前進］** 側に動かします。

1AKABAGAP067F

10.　後方の苗のせ台の動きを確認しながら**機体中央**の位置で主変速レバーを **［N］（中立）** 位置に戻します。

1AKABAGAP106A

補　足

＊ 左，右のバランスを保つために中央に寄せてください。

■**発進のしかた**

＊ 始動操作は，運転席で必ず行なってください。
＊ 周囲の人に合図をしてから始動してください。
＊ 急発進は危険ですので，ゆっくりと発進してください。
＊ 坂道など傾斜地で発進するとき，副変速レバーを操作するときはブレーキペダルを必ず踏込んでください。機体が動き出して急降下するおそれがあります。
＊ ブレーキペダルを踏込んだあと，再発進するときは主変速レバーを ［N］（中立）位置にいったん戻してください。

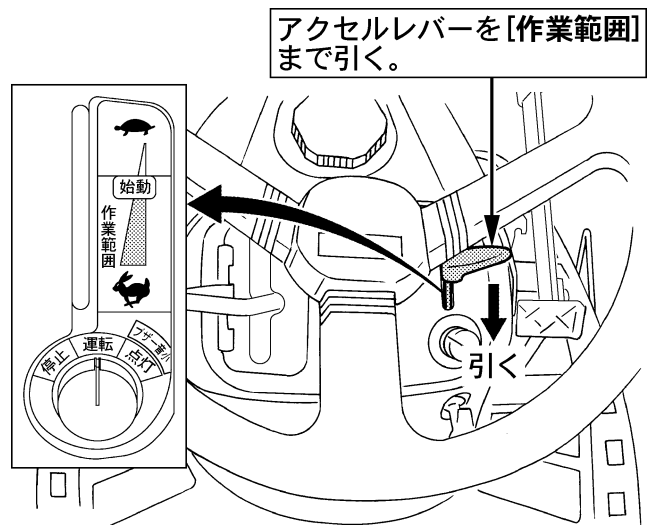
1．運転席の調整をします。

運転席下のスナップピンとロッドを抜いて調整します。（**走行装置の名称とはたらきの運転席（シート）**の項 7 ページ参照）

2．エンジンを始動します。

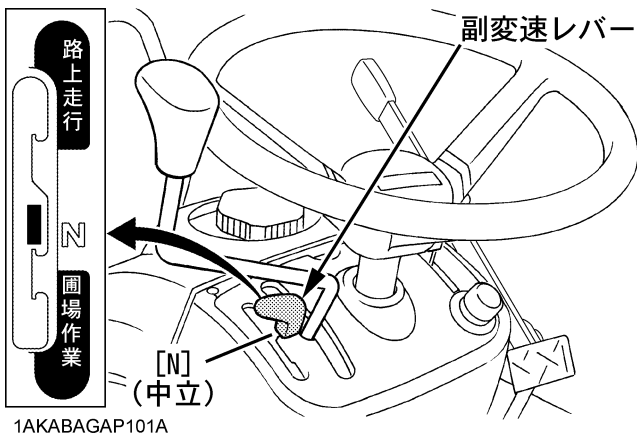
（**エンジンの始動**の項 16 ページ参照）

3．アクセルレバーを操作します。

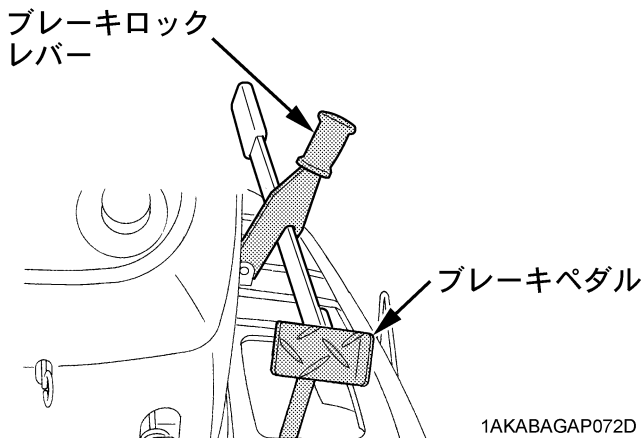
1AKABAGAP065D

4．走行速度を選んで発進します。

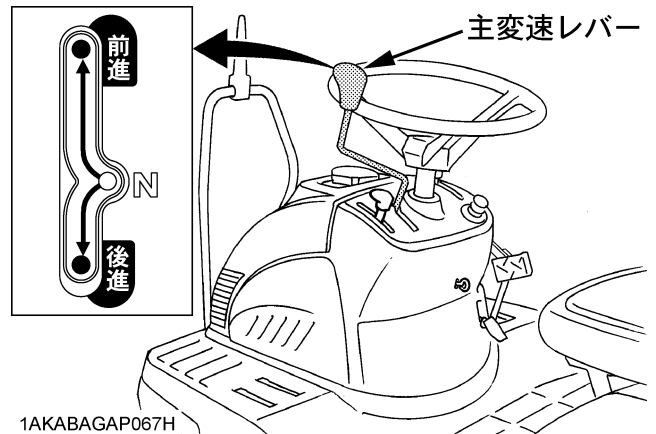
1. 副変速レバーで速度を選びます。

1AKABAGAP101A

重　要

＊ 副変速レバーの切換えは平たんな場所で主変速レバーを **[N]（中立）** 位置にし，走行をいったん止めてから行なってください。故障の原因となります。

2. ブレーキペダルを離します。駐車ブレーキが掛かっているときは，ブレーキペダルを踏込んでブレーキロックレバーを解除します。

1AKABAGAP072D

3. 主変速レバーを **[N]（中立）** 位置より前に押すと前進し，後に引くと後進します。

1AKABAGAP067H

補　足

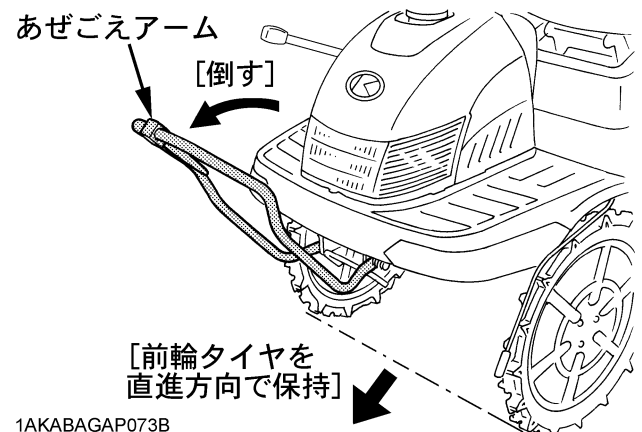
＊ 植付部が上昇していることを確認してください。

◆ 降りて走行するとき

1. 乗って走行したあと，機械を平たん地で停止させます。
2. アクセルレバーを **[🐢]** 位置，副変速レバーを **[圃場作業]** 位置にします。
3. 主変速レバーが **[N]（中立）** 位置にあることを確認したあと，駐車ブレーキを解除します。
4. 植付部が最上昇位置にあることを確認します。
5. 機械から降りてあぜごえアームを前方一杯に倒し，前輪を直進方向に保持するため次のことを確認します。

(1) ステアリングハンドルを操作して前輪を直進方向にします。

(2) あぜごえアームを前方いっぱいまで倒します。

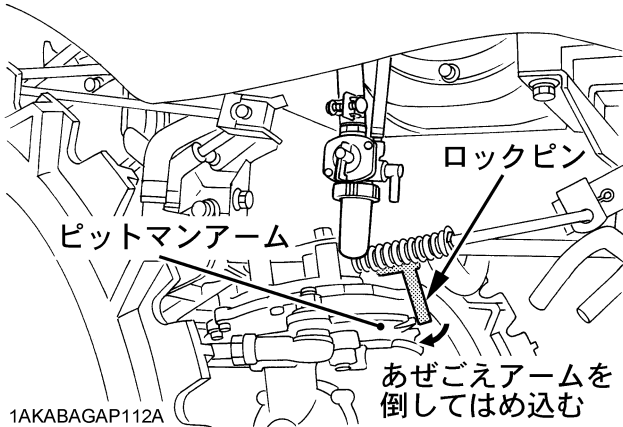
1AKABAGAP073B

補 足

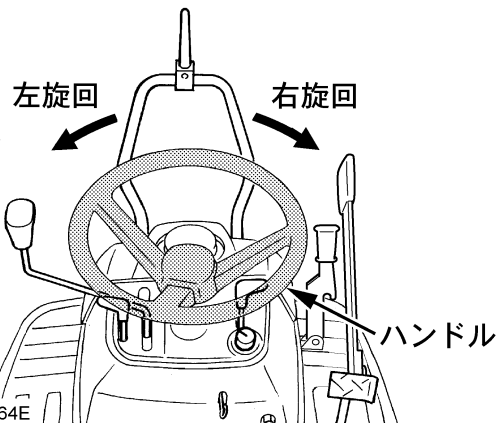
＊ あぜごえアーム取付部付近にあるロックピンが，ピットマンアームにはまり込んでいるか確認します。はまり込んでいないときは，ステアリングハンドルを回してはめ込んでください。

6. あぜごえアームを前方いっぱいに倒した状態で周囲を確認しながら主変速レバーを操作して走行します。

■旋回のしかた

＊ 高速走行時，ハンドルを急に操作すると急旋回して危険ですので，旋回前に必ず減速してください。

旋回する方向にハンドルを回します。回す角度に応じて旋回力が変わり，回す角度が大きいほど旋回半径が小さくなります。

重 要

＊ 砂利道での急旋回は，タイヤが早く摩耗しますので避けてください。

■停車·駐車のしかた

注 意

＊ 田植機を離れるときは，平たんで安全な場所に置き，植付部を降ろして駐車ブレーキを掛け，エンジンを止めてください。
＊ 駐車ブレーキの操作は田植機の運転席に座って行なってください。
＊ 坂道やあぜ越えなどで，危険回避のために機械を停止させたいときは，ブレーキペダルを素早くいっぱいまで踏込んでください。
＊ 坂道で駐車するときは，ブレーキロックレバーで駐車ブレーキを掛けるだけでなく，木片などで車止めをし，暴走を防いでください。

1. 主変速レバーを **[N]（中立）** 位置にすると機械は停止します。
2. 副変速レバーを **[圃場作業]** 位置又は，**[路上走行]** 位置にします。
3. 駐車するときは駐車ブレーキを掛けます。
4. アクセルレバーを戻し，**低回転**位置にします。
5. エンジンを停止します。

輸送について

■トラックとあゆみ板の準備

＊ 積込み・積降しは平たん地を選び，トラックの駐車ブレーキをしっかり掛けてください。
＊ あゆみ板はフックが付いているもので，じゅうぶんな強度，幅（30cm 以上），長さ（高さの５倍以上）のある基準に合ったすべり止め付きのものを使用し，田植機の重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。
＊ あゆみ板を荷台に掛けるときは，段差がなく平行で，左・右のあおりに機械が接触しない位置に合わせてください。

あゆみ板の基準

長さ	トラックの荷台の高さの５倍以上
幅	30 cm以上
数量	2 枚
強度	1 枚が 250 kg以上の重量に耐えうる

■田植機の準備

1. 苗のせ台及び予備苗のせ台［D 仕様］の苗や苗すくい板はすべて降ろします。そのあと，ラインマーカ・隣接マーカ・マスコット・あぜごえアームを収納し，苗のせ台を機械の中央位置に移動したあと，最上昇位置に戻して油圧ロックして下降防止を行ないます。(19 ページの**移動走行前の準備** 1. ～ 10. を参照)
2. トラックのあおりに接触しないように，左，右の延長しゅう動板及びしゅう動板ガードを収納状態にします。

(1) 延長しゅう動板はロックハンドルを回してゆるめ，前方に倒した状態でロックハンドルを軽く回してロックします。
(2) しゅう動板ガードは，頭付きピンとスナップピンを取外し，パイプを押込んで，収納位置の穴に頭付きピンとスナップピンを取付けます。

補 足

＊ トラックから降ろしたあと，田植作業を行なうときは，しゅう動板及びしゅう動板ガードを作業状態に戻してください。

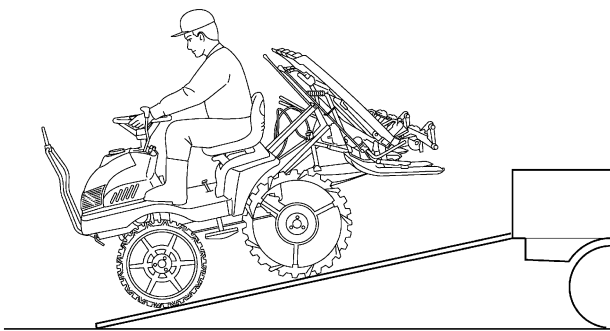
＊ しゅう動板を作業状態に戻すときは泥をきれいにふき取って，しゅう動板に段差やすき間が出来ないように締付けてください。

■田植機の積込み･積降しのしかた

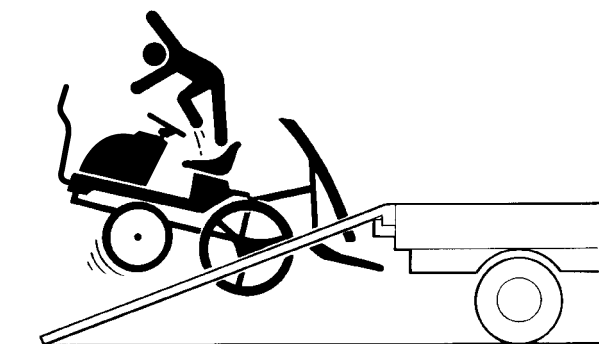
＊ 乗車しての積込みは後進，積降しは前進で，エンジン回転を［始動］位置にして，低速で走行してください。

◆ **乗車して走行する場合は下記事項に注意してください。**

･共同作業者は，あゆみ板を走行中の田植機からは離れてください。

･平たん地を選び，できるだけ助手の立ち会い誘導のもとに行なってください。また，田植機の周辺に人を近づけないでください。

1AKABAGAP116A

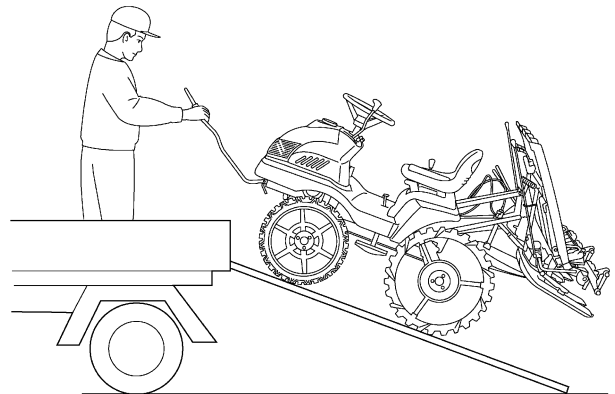
･あゆみ板の途中で急なハンドルの操作や副変速レバーの操作及びブレーキペダルを操作しないでください。機械が急に降下し落下する危険があります。

･方向を変えるときは，いったん地上又は荷台に戻って方向を修正し，再度上り下りし直してください。

1AKABAGAP1170

･やむをえず，ブレーキペダルを踏込むときは，ブレーキペダルを素早くいっぱいまで踏込んでください。

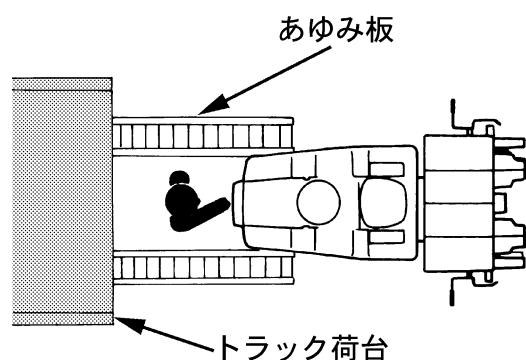
◆ **機械から降りて，積込み・積降し作業を行なう場合は下記事項に注意してください。**

･あぜごえアームを使用して走行してください。

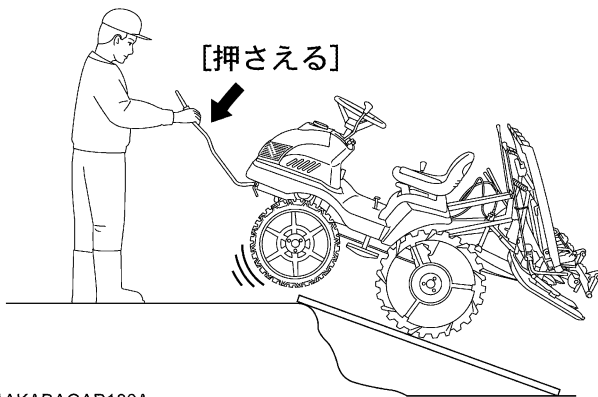
･走行する際，積込みは前進で，積降しは後進で行なってください。

1AKABAGAP099A

･あゆみ板の途中で急なハンドルの操作や副変速レバーの操作及びブレーキペダルを操作しないでください。機械が急に降下し落下する危険があります。

･方向を変えるときは，いったん地上又は荷台に戻って方向を修正し，再度上り下りし直してください。

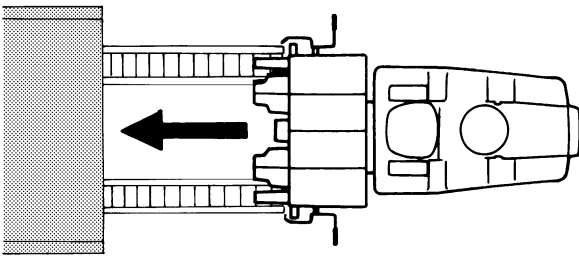
･積込むときは，あゆみ板の間に入らないでください。機械とトラックにはさまれ，ケガをするおそれがあります。

1AKABAGAP119A

･トラックへの積込み･積降しの時，前輪が浮き上がるときは，あぜごえアームを押さえ，浮き上がりを防止してください。

･あぜごえアームに力を入れるときは，足元にじゅうぶん注意してください。

1AKABAGAP100A

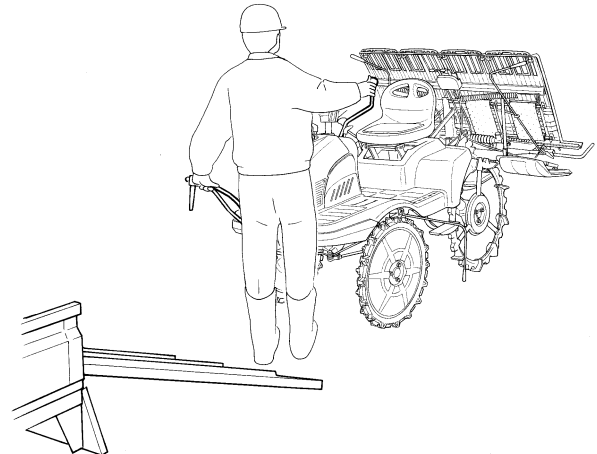
・積込むときは，トラックのキャビンにあぜごえアームがあたらないように**[収納位置]**に戻してください。

【乗車走行をする場合】

1. 積込みするときは，主変速レバーを**[後進]**側に操作して後進で，積降しするときは**[前進]**側に操作して前進します。
2. あゆみ板の前でいったん停止し，あゆみ板の中央に左，右の前輪と後輪の中心を合わせ，あゆみ板と平行になっているか確認してから前輪デフロックペダルを踏込み，斜面に対して直角に積込み・積降しを行ないます。

1AKABAGAP323A

3. 荷台に乗り終わると駐車ブレーキを掛けて，走行を停止します。

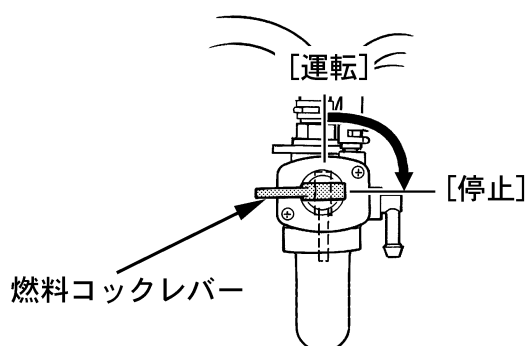
【降りて走行をする場合】

1. 積込みするときは，前進方向で，積降しするときは後進方向であゆみ板の前でいったん停止します。
2. アクセルレバーを**[🐢]**位置，副変速レバーを**[圃場作業]**位置にします。
3. 駐車ブレーキを解除したあと，植付部を最上昇位置にし，主変速レバーを**[N]（中立）**位置にして機械から降ります。
4. あゆみ板の中央に左，右の前輪と後輪の中心を合わせ，あゆみ板と平行になっているか確認してから機械左前方に立ちます。
5. あぜごえアームを前方に倒し，アームを持ちながら主変速レバーを前進の最低速に操作して左側のあゆみ板を渡ります。

1AKABAGAP122A

6. 荷台への積込みが終わるとあぜごえレバーを収納し，主変速レバー**[N]（中立）**位置にして機械を停止させ，駐車ブレーキを掛けます。
7. 荷台からの積降しは，積込みの逆の作業手順で行ないます。

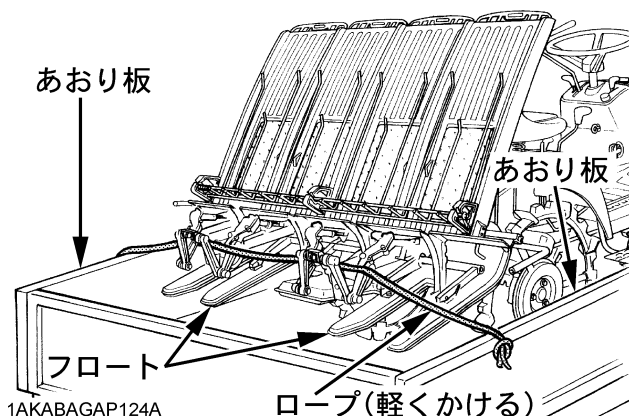
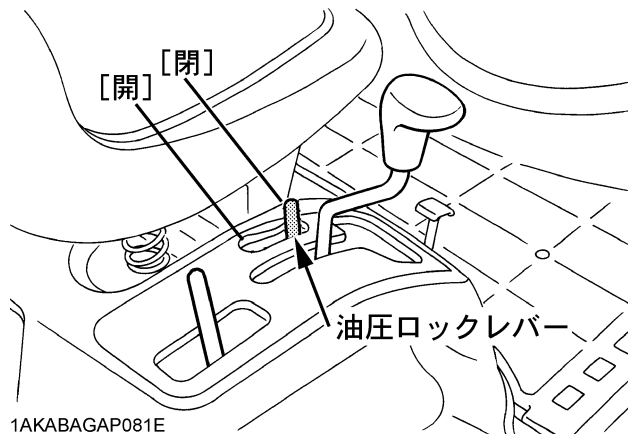
■トラック上での処置

＊ 駐車ブレーキを掛け，車止めをし，ロープでしっかりトラックに固定してください。

1. エンジンを停止します。
2. 燃料コックを閉じ（**[停止]** 位置）ます。

1AKABAGAP278A

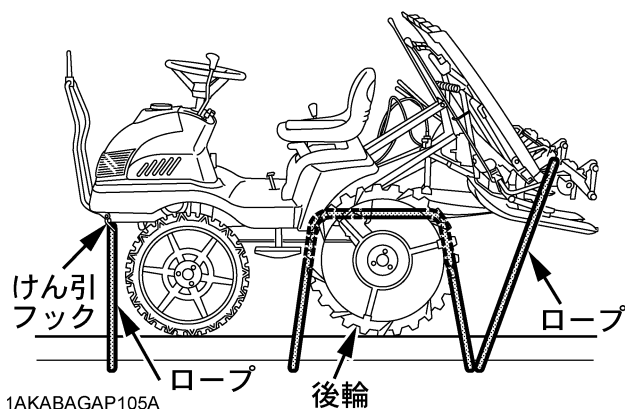
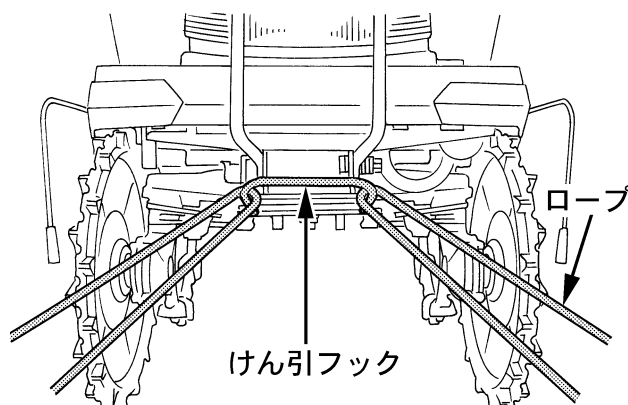
補 足

＊ トラック輸送時に燃料もれの原因になります。

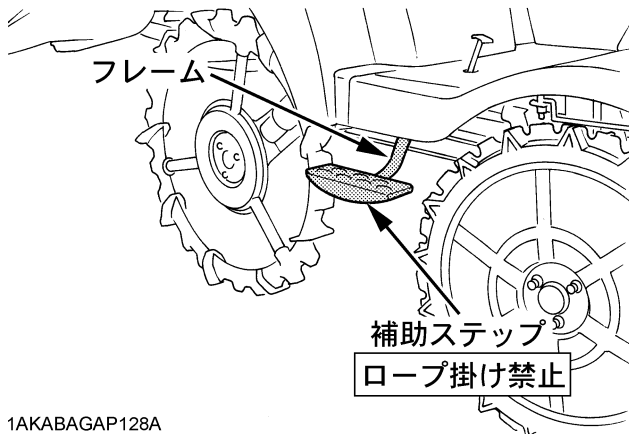
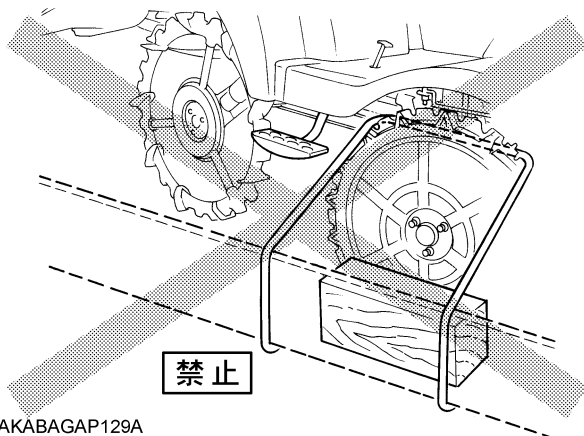
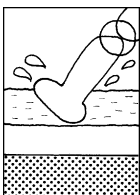
3. 植付部を最上昇位置にし，油圧ロックレバーを **[閉]** 位置にして植付部の下降防止を行なってから，植付部がバウンドしないように，軽くロープ掛けします。

1AKABAGAP124A

1AKABAGAP081E

重 要

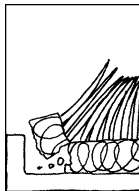
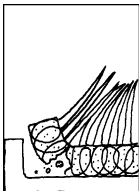
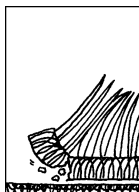
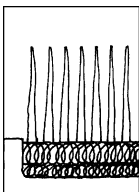
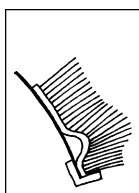
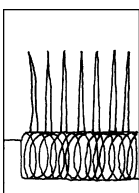
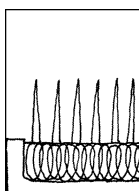
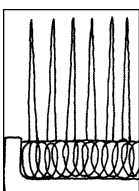
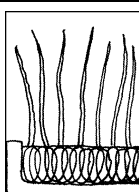
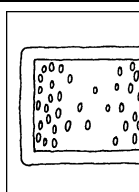
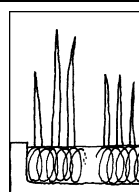
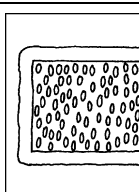
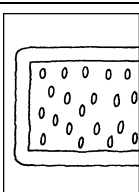
＊ フロートをあおり板の上に乗せた状態で移動すると，植付機構部品が破損するおそれがあります。

4. 後輪及びけん引フックにロープを掛けて機体を固定します。

1AKABAGAP105A

1AKABAGAP127A

重　要

＊ 機械前部にロープを掛けるときは，けん引フック以外のところに掛けないでください。また，左右補助ステップのフレームにはロープを絶対に掛けないでください。左右補助ステップのフレームが破損します。

＊ 前輪に後輪と同様のロープがけをやむをえず行なう場合は，前輪とあおり板の間に荷物などをはさまないでください。前輪が変形することがあります。

田植作業のしかた

ほ場と苗の条件

ほ場の条件，苗の条件が良くなければ植付作業が行なえないことがあります。
次のような条件が予想される場合は事前に購入先にご相談ください。

■ほ場条件

ほ場づくりは，作物の種類・植付時期・土地条件（気候や風土）などの条件によって異なりますので，最寄りの指導機関（JA［農協］や普及センタなど）や経験者に相談して，作物に適したほ場づくりをしてください。

項　目	条　件（うまく使えないこともある状況）	
深　さ	①耕盤までの深さが 30cm 以上ある深いほ場。	②耕盤までの深さが 10cm 以下の浅いほ場。
土　質	①砂質の多いほ場（手植えでも植えにくいほどの硬いほ場）。	②強粘土質のほ場（歩くのが困難な粘いほ場）。
硬　さ	①代かき直後のほ場，又は代かき後いく日たっても固まらないトロトロの軟らかいほ場（歩いても足跡がすぐ埋まるようなほ場）。	②代かき後，日数がたって硬くなったほ場，又は代かき後すぐに固まるほ場（手植えするにも指が痛くなるような硬いほ場）。
水　深	①水深の平均が３ cm を越える水の多いほ場。	②水気がなく，車輪に泥がまつわりつくようなほ場。
夾雑物	①裏作跡などで，刈り株・排わら又は雑草がじゅうぶん腐らず，代かき後も表面に多量に露出しているほ場。	

■苗条件

苗づくりは，各地の指導指針や最寄りの指導機関（JA［農協］や普及センタなど）の指導を仰いだり，経験者に相談して，良い苗（健苗）づくりを行なってください。

項　目	条　件（うまく使えないこともある状況）		
苗　床	①砂質が多く，苗床が崩れやすい苗。	②根張りが悪く，苗床が崩れやすい苗。	
	③根張りはよいが，根を切ったために苗床が崩れやすい苗。	④根の張り過ぎた，植付け爪のささりにくい苗。	
	⑤苗床厚（マット厚）が２ cm 以下の，薄い苗。	⑥苗床厚（マット厚）が４ cm 以上の，厚い苗。	
草　丈	①草丈が８ cm 以下の，短い苗。	②草丈が 20cm 以上の，長い苗。	
素　質	①軟弱徒長苗。	②播種ムラのひどい苗。	③成育ムラや成育不良のある苗。
播種量	①催芽もみで，１箱当り 250g 以上の，厚播きの苗。	②催芽もみで，１箱当り 100g 以下の，薄播きの苗。	

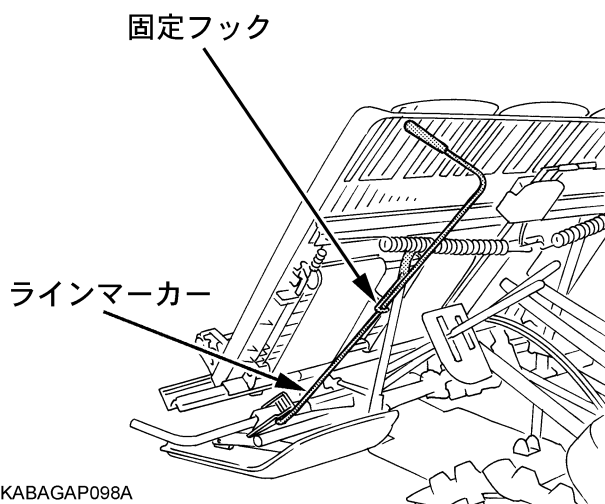
田植機の準備

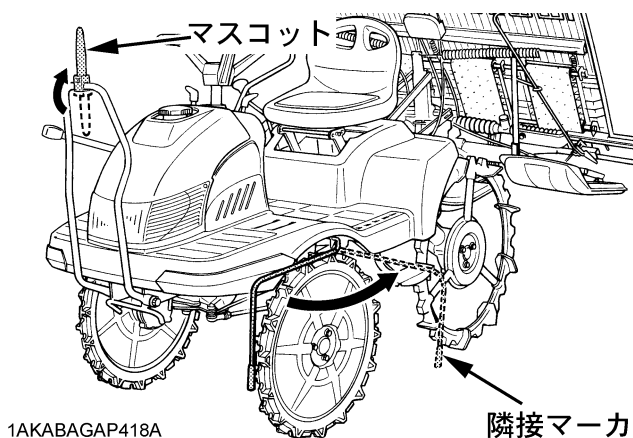
警 告

＊ 平たんな場所に置き，エンジンは必ず止めてください。
＊ 取外したカバー類は必ず取付けてください。

■作業前の準備

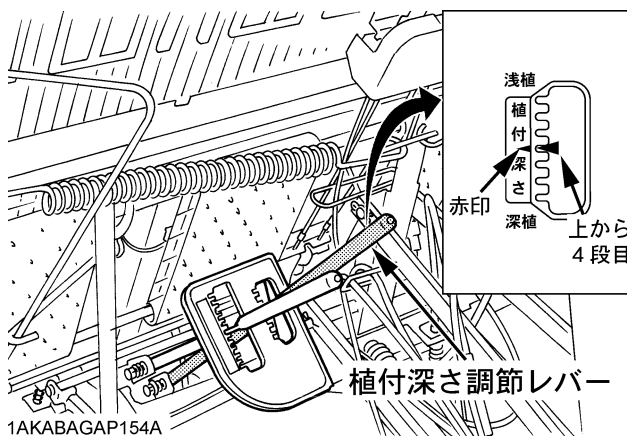
1. ラインマーカのセット
マーカをフックから外して作業状態にします。

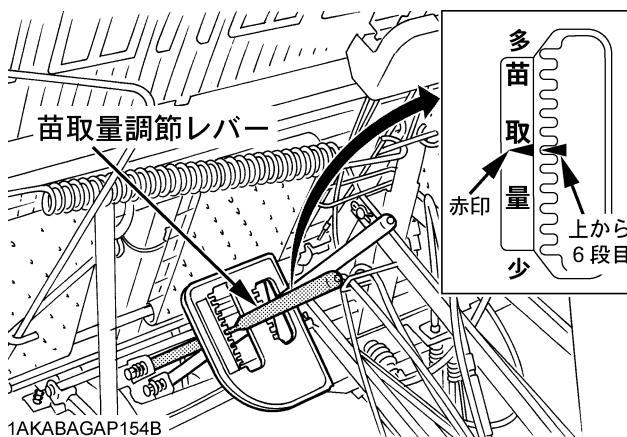
1AKABAGAP098A

2. 隣接マーカとマスコットのセット
隣接マーカとマスコットを作業状態にセットします。

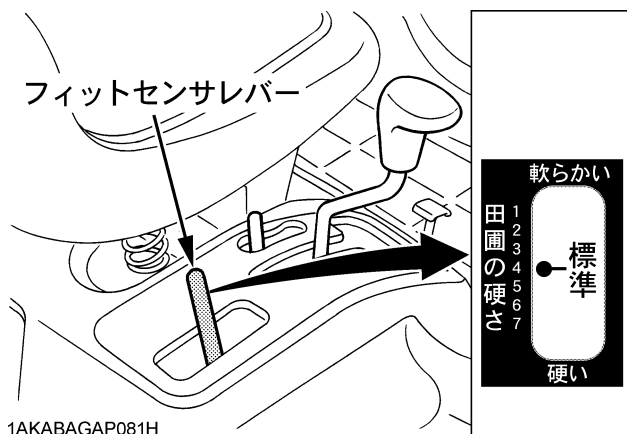
1AKABAGAP418A

3. 各レバーのセット
各レバーの設定を行ないます。

補 足
＊ 下記各レバーの設定位置は目安です。

● **植付深さ調節レバー**
植付深さ調節レバーを上（**［浅植］**）から**4段目**（ラベルの赤印）の切欠位置にします。

1AKABAGAP154A

● **苗取り量調節レバー**
苗取量調節レバーを上（**［多］**）から**6段目**（ラベルの赤印）の切欠位置にします。

1AKABAGAP154B

● **フィットセンサレバー**
フィットセンサレバーを**［4］**の位置にします。

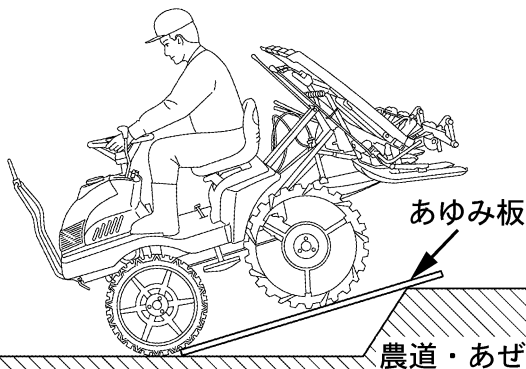
1AKABAGAP081H

植付作業のしかた

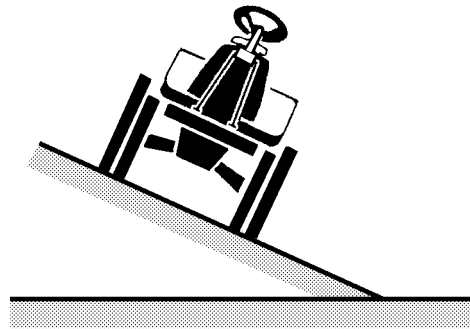
⚠ 注意

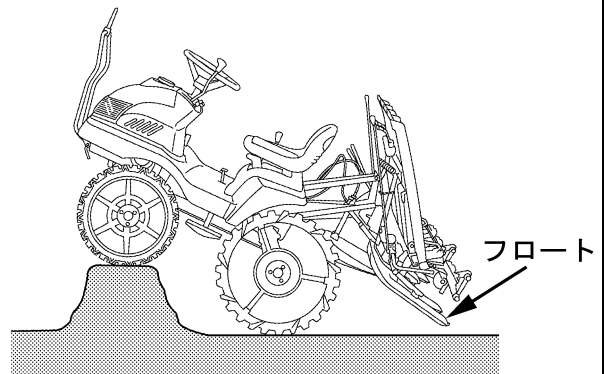
＊ 夜間作業は行なわないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。
＊ 後進する場合，後方に川（用水路）やがけのある場合は転落しないようにじゅうぶん注意してください。
＊ 機械への乗り降りや機械の上で作業を行なうとき（苗の補給時など），主変速レバーに体の一部が接触すると，機械が発進するおそれがありますので，必ず駐車ブレーキを掛けてください。

■ほ場の出入りのしかた

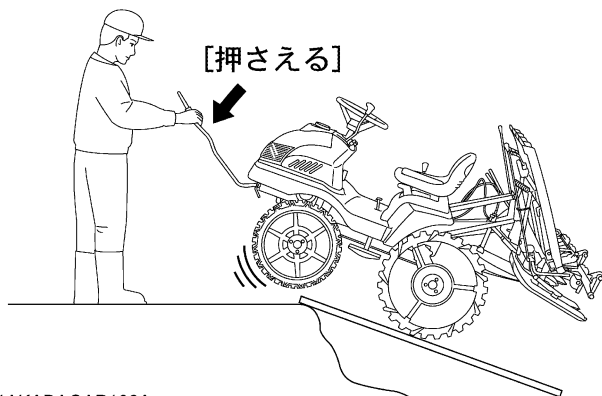
⚠ 注意

＊ 10cm 以上の段差（あぜやコンクリート畦畔など）のあるところではあゆみ板を使ってください。

1AKABAGAP116B

＊ 暴走や転倒をしてケガをするおそれがあるので，あぜごえや傾斜地（あゆみ板や坂道など）を走行するときは，下記事項に注意してください。
＊ 走行速度を落とす。（ゆっくりと走行する。）
＊ 主変速レバーで走行と停止を行なう。
＊ あぜや斜面に対して直角に走行する。
＊ あぜや斜面に対して上り方向は後進，下り方向は前進で走行し，前輪デフロックペダルを踏込む。
＊ あぜや斜面の走行途中に急なハンドル操作や副変速レバーの操作及びブレーキペダルを急に踏込まない。
＊ 機械が右又は，左に大きく傾くような場所では転倒するおそれがあるので，傾斜が大きいところでの走行はしないでください。
＊ あぜごえアームは下記条件の場合は使用を避け，必ずあゆみ板を使用してください。
・機械が傾くと滑り落ちるところ
・機械が右又は，左に大きく傾くところ

1AKABAGAP1580

・あぜなどの段差や傾斜の角度が大きいとき，植付部が最上昇位置でもフロートが地面に当たるところ

1AKABAGAP097E

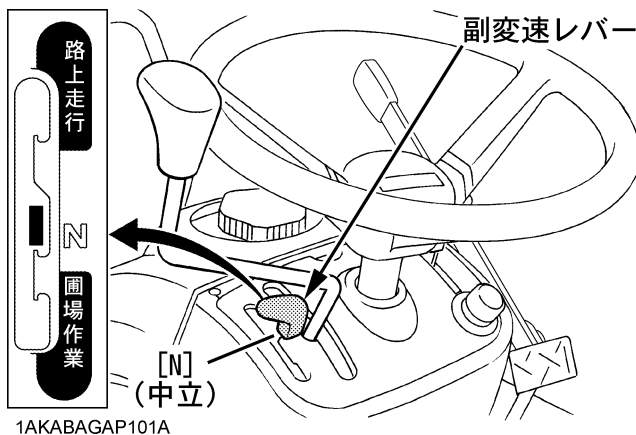
＊ あぜごえ，坂道走行，トラックへの積み・降しの時，前輪が浮き上がるときは，あぜごえアームを押さえ，浮き上がりを防止してください。
＊ あぜごえアームに力を入れるときは，足元にじゅうぶん注意してください。

1AKABAGAP100A

■植付作業の手順

＊ 異常が発生したときは，エンジンを必ず止めてください。
＊ 小さなほ場や，ほ場のすみでは作業がしにくいので，安全のため低速で注意しながら作業を行なってください。
＊ ほ場の外で苗のせ台を移動させているときは，機械が動かないように水平で平たんな場所で必ず行なってください。

重 要

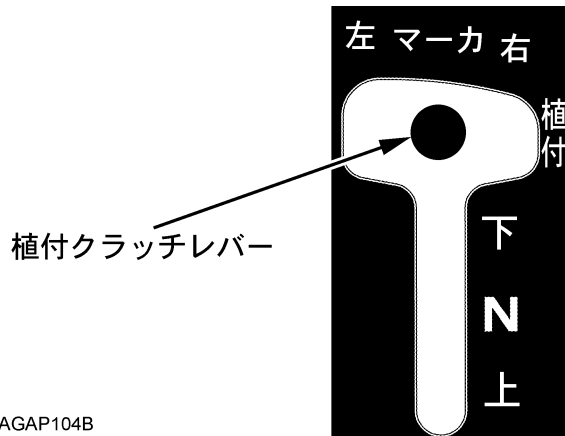
＊ 副変速レバーを **[路上走行]** 位置にして植付作業はしないでください。トラブルの原因になります

1. ほ場に入ったら平たんな場所で走行を停止します。
2. 駐車ブレーキを掛けているときは解除して副変速レバーを **[N]（中立）** 位置にします。

1AKABAGAP101A

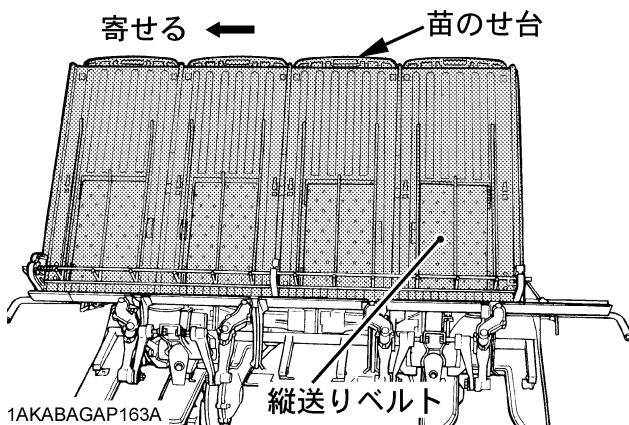
3. 植付クラッチレバーを **[上]（上昇）** 位置にして植付部を上昇させたあと，油圧ロックレバーを **[閉]** 位置にして下降防止をします。

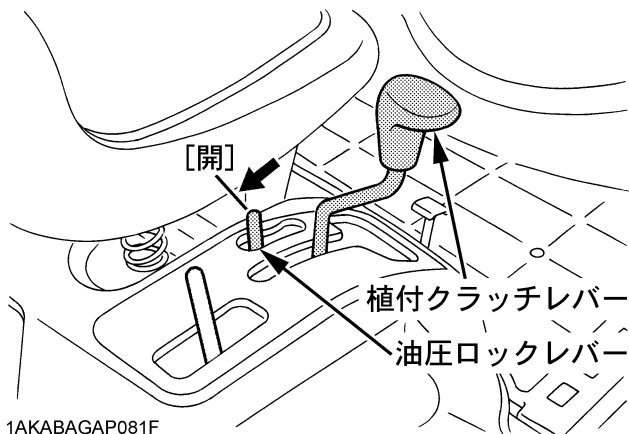
補 足

＊ 駐車ブレーキが掛かっていると，植付クラッチレバーを **[上]（上昇）** 位置にしても植付部は上昇しません。

4. 植付クラッチレバーを **[植付]** 位置にします。

1AKABAGAP104B

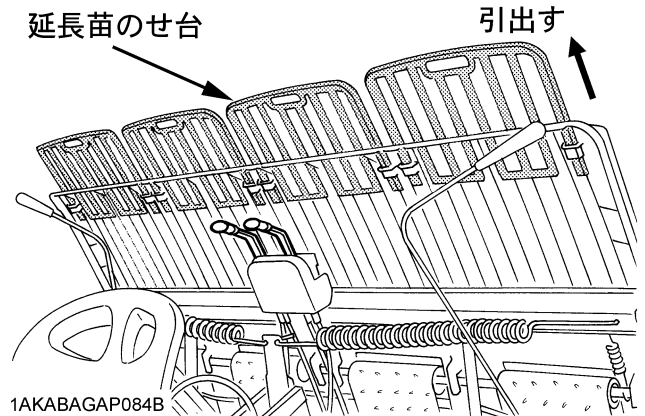
5. 主変速レバーをゆっくりと **[前進]** 側に操作して，植付部を駆動させ，苗のせ台が右端又は，左端まで移動してシンクロベルト（縦送りベルト）が作動した直後に，植付クラッチレバーを **[下]（下降）** 位置にして植付部の駆動を停止します。

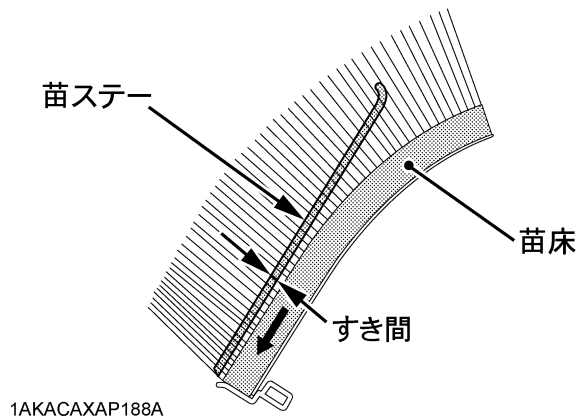
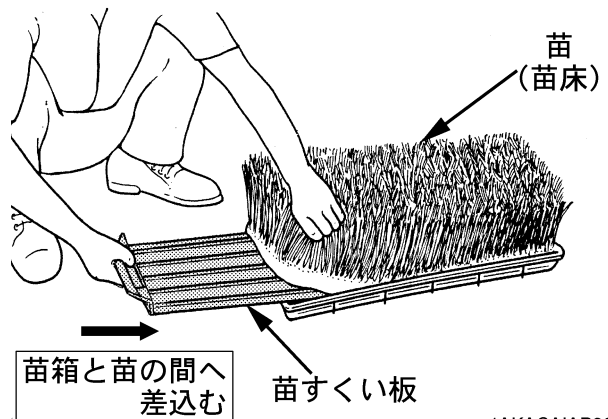
1AKABAGAP163A

6. 油圧ロックレバーをゆっくりと **[開]** 位置にして，植付部を降します。

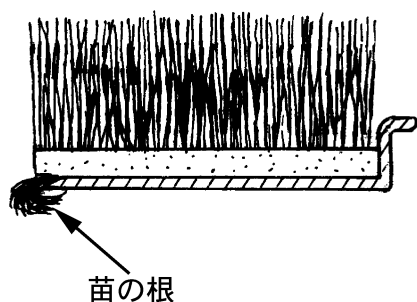
1AKABAGAP081F

7. エンジンを停止します。
8. 苗のせ台に苗をのせます。

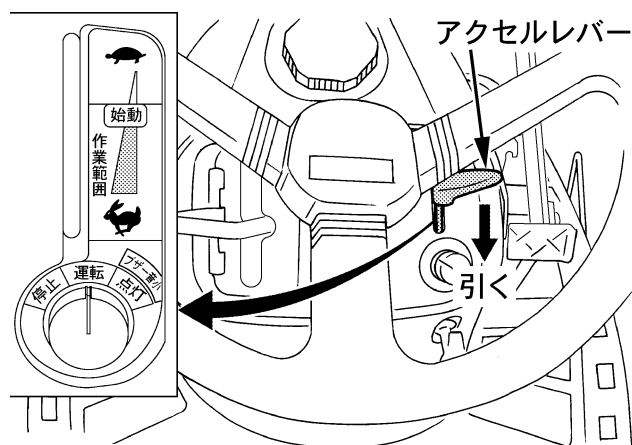
補 足

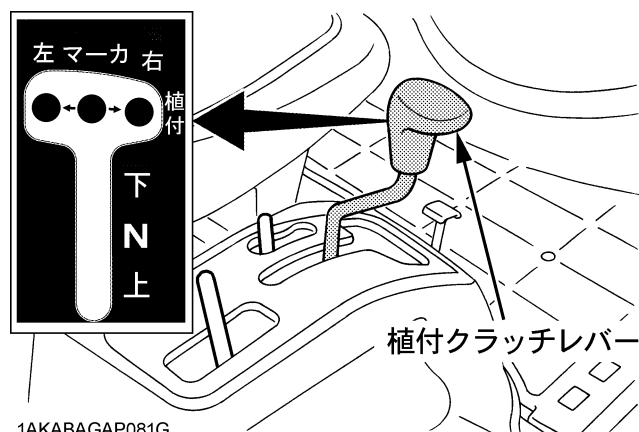
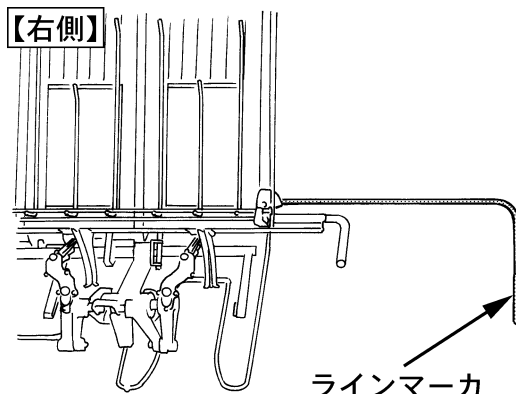
＊ 必要に応じて延長苗のせ台を全条パチンと音がするまで引出してください。

1AKABAGAP084B

＊ 苗がくずれ落ちないように苗ステーとのすき間を確認してください。(46 ページ参照)

1AKACAXAP188A

＊ 苗箱から苗を取出すときは，苗床（苗マット）の端を持上げて，苗すくい板を苗床の下に差込み苗をすくい出してください。

1AKACAIAP069A

＊ 苗すくい板の先端に苗の根がからみついて，固まりができることがあります。この根は必ず取除いてください。そのまま入れると，欠株の原因になります。

1AKACAIAP070A

9. エンジンを始動したあと，アクセルレバーを操作して，エンジンの回転数を **［作業範囲］** 内に調整します。

1AKABAGAP065E

10. 植付クラッチレバーを操作して植付部の駆動準備とラインマーカのセットを行ないます。セットするときは，植付クラッチレバーを **［植付］** 位置にしたあと，次に植える条側へ **［右］** 又は **［左］** 位置にしてラインマーカを倒すと植付準備となります。

1AKABAGAP081G

1AKABAGAP087B

11. 副変速レバーを **［圃場作業］** 位置にし，主変速レバーを **［前進］** 側へ操作して試し植えを行ないます。

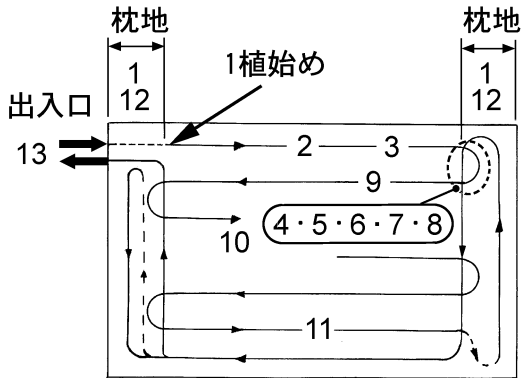
12. 5 m 前後植付けたあと，主変速レバーを **［N］（中立）** 位置にして走行を停止し，植付後の確認をします。異常がなければ植付作業を行ないます。

補　足

＊ 下記事項を確認し，異常があれば**作業に合わせた各部の調節・調整のしかた**の項 42 ページを参照して調節や調整を行なってください。

1 株本数（苗取り量）	……	苗取り量調節レバー，横送り切換えレバー
植付深さ	……	植付深さ調節レバー，フィットセンサレバー
植付株間	……	株間調節
植付姿勢	……	フィットセンサレバー，苗ステー
欠株	……	苗おさえ棒

■植付けかたと旋回のしかた

ほ場の大きさや形状によって植付方法は異なりますので作業を始める前に，植付手順を決めてから植付作業を行なってください。

1AKACAIAP076A

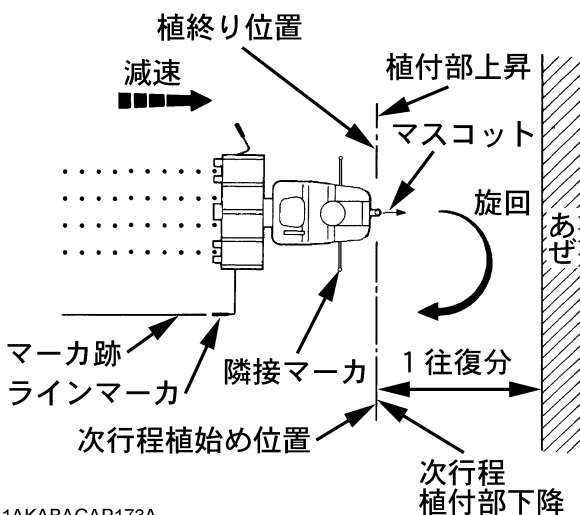
補　足

＊ 上図は，植付手順の一例です。また，上図内と下記の手順の番号1～11を合わせて説明しています。

1. 植始めは，１往復分残した位置から植付けます。また，反対方向の枕地も１往復分残します。

補　足

＊ １往復分の目安
・2.4～2.7m（８～９条分）

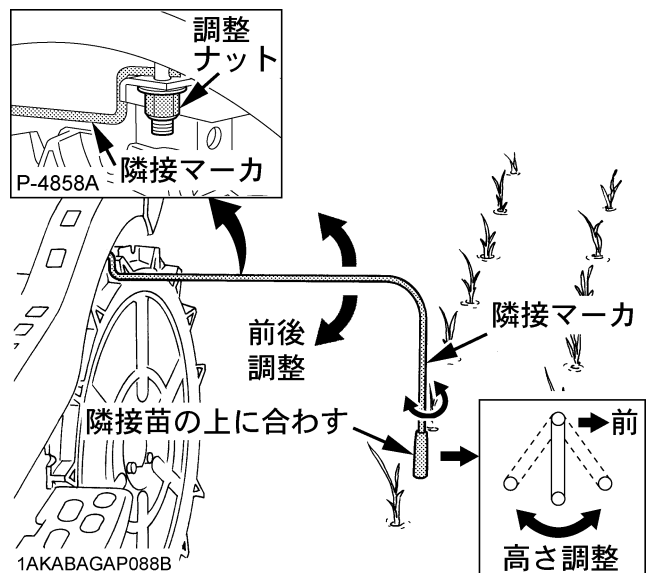
2. ほ場の長辺方向に植付けます。
3. 枕地が近づくと，主変速レバーを操作して減速します。そのあと，植付クラッチレバーを操作して植付部を上昇させます。
4. 次に植える条側にハンドルを回して旋回します。

1AKABAGAP173A

補　足

＊ 深田などで前輪がスリップするときは，前輪デフロックペダルを踏込んでください。

5. 旋回するときにマスコットを目印にして，マーカ跡の線とマスコットの位置を合わせながら機械をまっすぐにします。

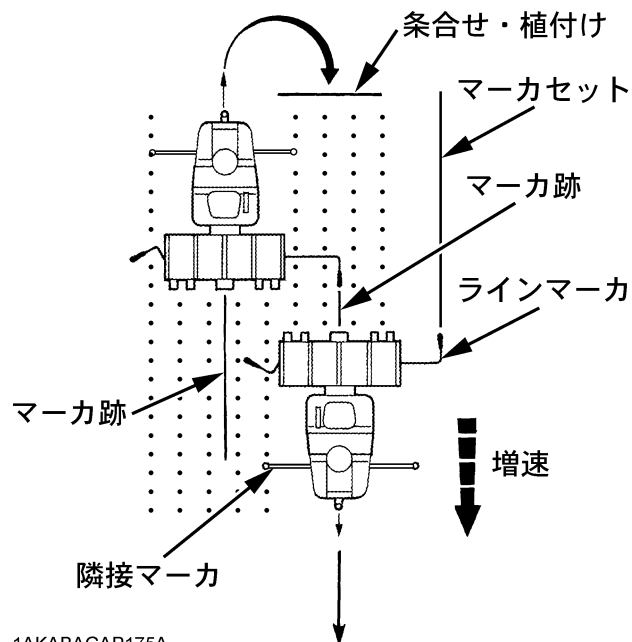
補　足

＊ マーカ跡の線が見えにくいときは，植終わった隣の苗（隣接苗）に隣接マーカが上になる位置に合わせてください。
＊ 隣接マーカは必要に応じて前後方向の角度及び上下方向の高さを調整してください。また，隣接マーカの作動力を調整ナットの締付け具合で調整してください。

1AKABAGAP088B

6. 植付クラッチレバーを **［下］（下降）** 位置にして植付部を下降させます。
7. 植付部が接地したことを確認したあと，ラインマーカを次行程植付側にセットします。

補　足

＊ 植付部が接地していないときに，植付部が駆動すると植付爪から苗が落下します。

8. 主変速レバーを操作して植付速度を上げます。

1AKABAGAP175A

9. 次行程から同じ作業を繰返します。
10. 長辺方向の最終行程の前に条合せが必要なときは，あぜぎわ植えを行ないます。

補　足

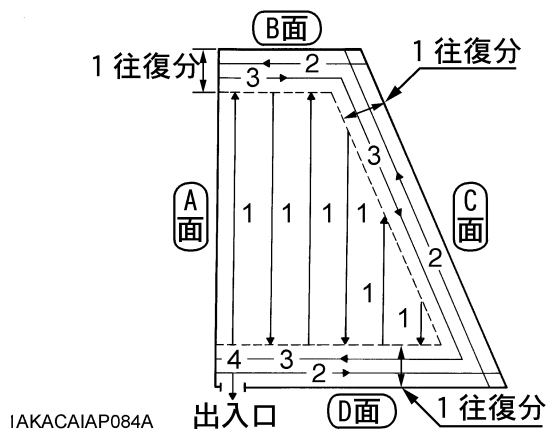
＊ あぜぎわの植付けかたの項（41 ページ）参照

11. 枕地を植付けて出入口から出ます。

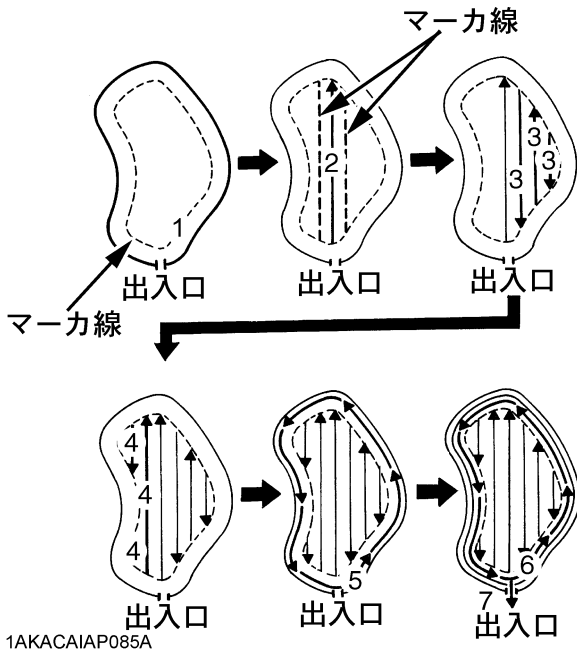
◆ 変形田の植付けかた【参考】

変形田を植付けるときの参考例です。

1．台形田（A 面基準）

1AKACAIAP084A

1. B 面，C 面，D 面に各 1 往復分の枕地を残して A 面（長辺方向）に植付けます。
2. D 面，C 面，B 面の順にあぜ側から植付けます。
3. B 面，C 面，D 面の順に残ったところを植付けます。
4. 出入口から出ます。

2．変形田

1AKACAIAP085A

1. あぜにそってマーカ線を引きます。（目安線）
2. 左，右共ラインマーカをセットして長辺部を植付けます。
3. 2で植付けたところを基準に植付けます。
4. 反対面を植付けます。
5. あぜにそって1周を植付けます。
6. 5の枕地残り分を植付けます。
7. 出入口から出ます。

◆ 安全クラッチについて

＊ 安全クラッチがはたらいたときは，植付作業を中止してエンジンを停止してください。

安全クラッチは，植付作業中の植付爪に石など硬い異物がはさまったときに，破損防止のためにはたらく機能です。植付部からガッガッと高い音がしたときは，作業をすみやかに中止し，エンジンを停止してから異物を取除いてください。

重　要

＊ 安全クラッチがはたらいている状態を続けると，植付爪や押出し金具が破損したり，安全クラッチの摩耗により安全クラッチが作動しやすくなり，植付不良が起こりやすくなります。

◆ 安全クラッチ作動時の処置手順

1. 作業をいったん中止したあと，エンジンを停止します
2. 主変速レバーを **[N]（中立）** 位置にします。このとき，植付クラッチレバーは **[植付]** 位置の状態にしておきます。
3. 植付爪の異物を取除きます。

◆ 異物を取除いたあとの処置

異物を取除いたあと植付爪や押出し金具の破損や変形がないか確認し，異常があれば交換や修理を行なってください。（**メンテナンスの項** 48 ページ参照）また，植付爪を手で回したときにしゅう動板に当たったり，重い場合は購入先に連絡してください。

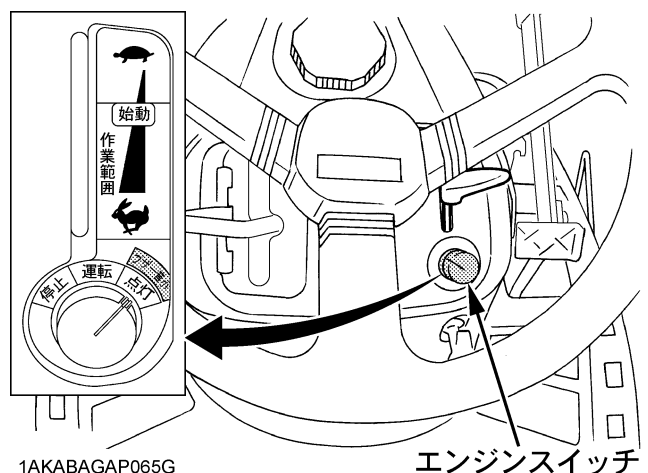
4. 植付条件を確認し，植付作業を行ないます。

■苗の補給のしかた

＊ 主変速レバーに体の一部が接触すると，機体が発進するおそれがありますので，必ず駐車ブレーキを掛けてください。

苗が残り少なくなると苗のせ台のセンサがはたらいて，警報ブザーが鳴ります。

補　足

＊ 苗を補給する又は，植付クラッチレバーを **[N]（中立）** 位置にすると，ブザーは停止します。
＊ エンジンスイッチを **[点灯]（ブザー音小）** 位置にするとブザー音が小さくなります。このとき，ヘッドランプが点灯します。

1AKABAGAP065G

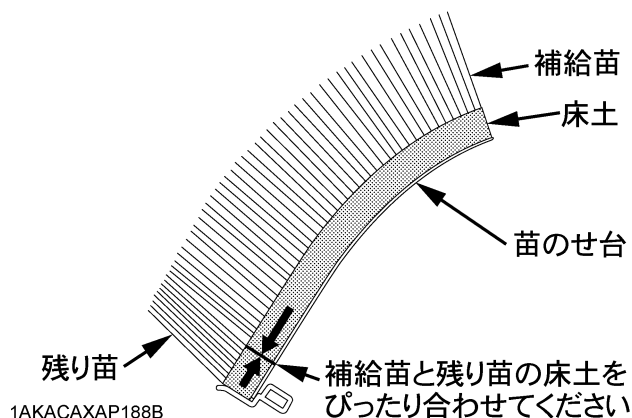
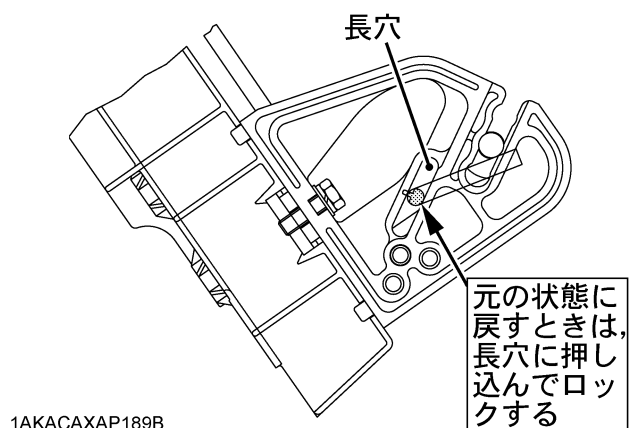
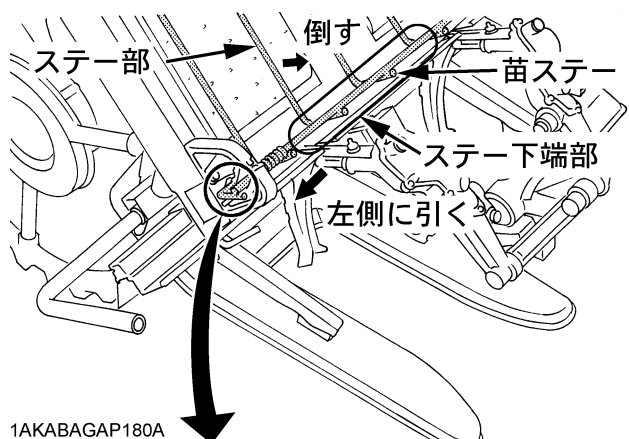
1. 主変速レバーを操作して走行を停止します。

補　足

＊ マフラで苗をこがす場合がありますので，あぜぎわで苗のない場所に停止してください。

2. 植付クラッチレバーを **［N］（中立）** 位置にします。
3. 駐車ブレーキを掛けます。
4. 準備した苗を補給します。

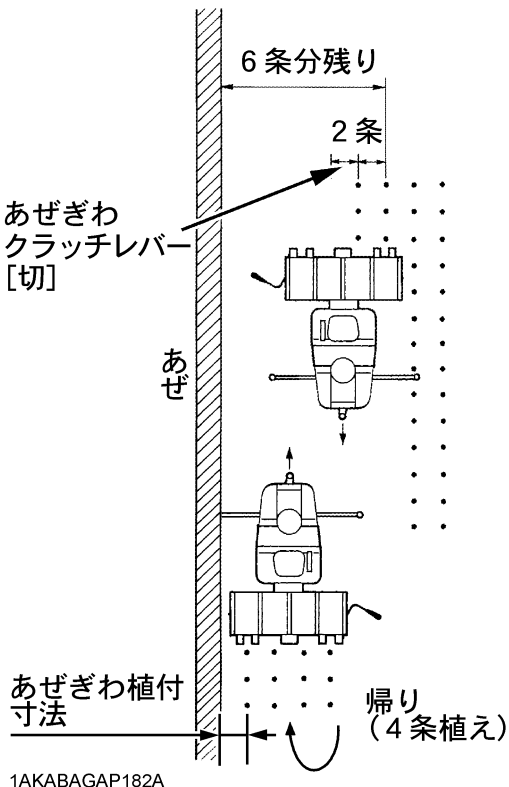
補　足

＊ 補給苗はていねいに扱い，補給苗と残り苗の床土にすき間のないようにぴったりと合わせてください。

＊ 残った苗を取出すときは，エンジンを必ず停止して苗ステー下端部を左側に引き，ロックを解除したあと，苗ステー下端部を後方に倒してください。苗を取出したあとは必ず苗ステー下端部を左側に引いた状態から右側に押し込んでロックし，元の状態に戻してください。

重　要

＊ 苗を押さえるステー部を持つと曲がったり，破損するおそれがありますので，ステー下端部を持って操作してください。

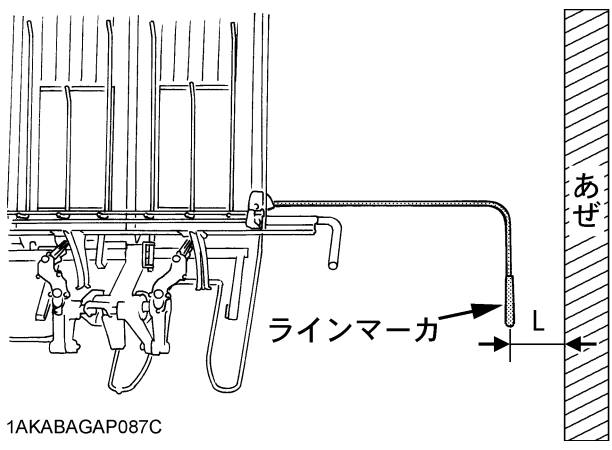
■あぜぎわの植付けかた

植付作業の最終段階で，最終の植付けを全条植えで終わらせるため，あぜぎわの調整の植付けを行なってください。

1AKABAGAP182A

● 最終行程の前工程での植付条数の決めかた

マスコットと隣接マーカで条合わせを行なったあと，ラインマーカを出して植付条数を決めてください。

※あぜぎわ植付寸法が 30cm の場合の目安

1AKABAGAP087C

L の距離	前工程 植付条数
約 75cm	4条植え
約 15cm	2条植え

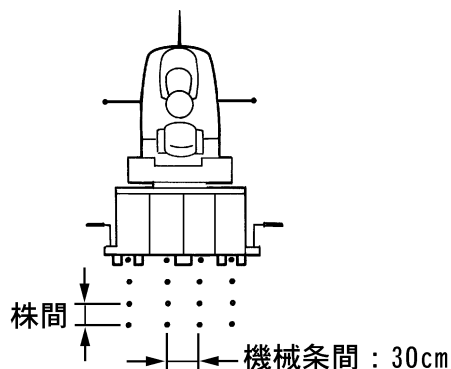
1. 最終はラインマーカを出さずに（収納状態）4条で植付けます。

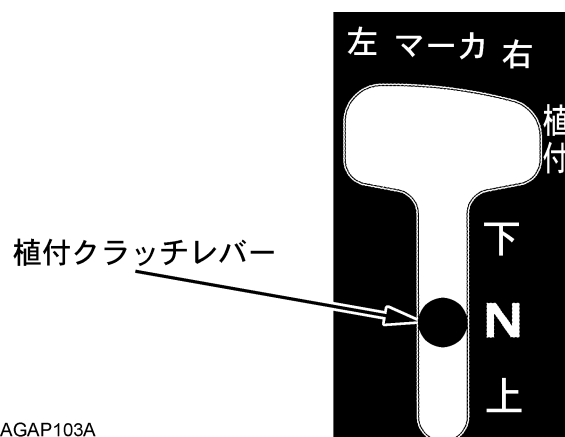
作業に合わせた各部の調節·調整

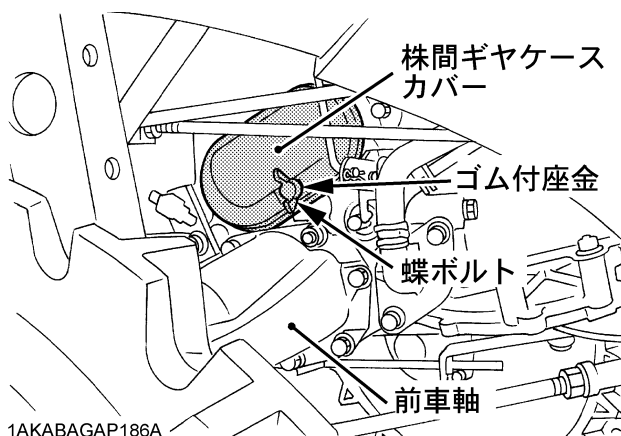
＊ 平たんな場所で行なってください。

■植付株数の調整

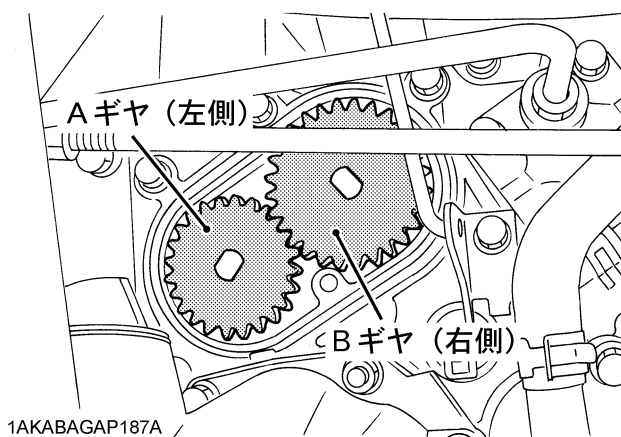
1．植付株数の調節

植付株数は，株間ギヤーの組換えを行なってください。調節はギヤの組換え又は，付属のギヤの入換えにより４段階行なえます。植付株数は，株間が狭くなると多くなり，株間が広くなると少なくなります。

1AKABAGAP184A

1. 主変速レバーを **[N]（中立）** 位置にしたあと，エンジンを停止します。
2. 植付クラッチレバーを **[N]（中立）** 位置にします。

1AKABAGAP103A

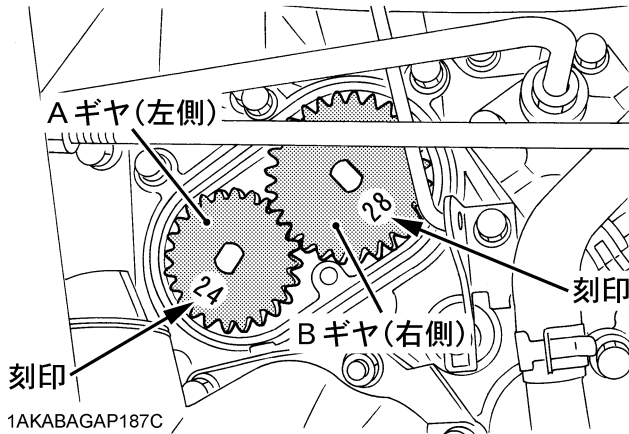
3. 前車軸右側本機取付部の上側にある株間ギヤケースのカバーの蝶ボルトとゴム付座金を取外して，カバーを取外します。

1AKABAGAP186A

4. 下表を参照して目標とする株間にするため，ギヤの組換え又は，入換えを行ないます。

株間（cm）	14	16	**18**	20	24
株数（株 /3.3 ㎡）	80	70	**60**	55	45
A（歯数）	24	26	**27**	28	31
B（歯数）	28	27	**26**	24	22
備　考	—	—	**出荷時**	—	—

1AKABAGAP187A

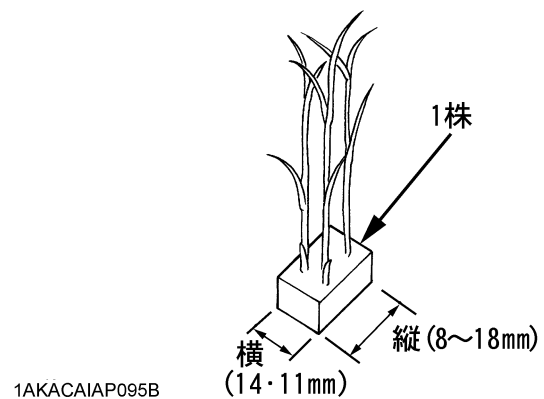
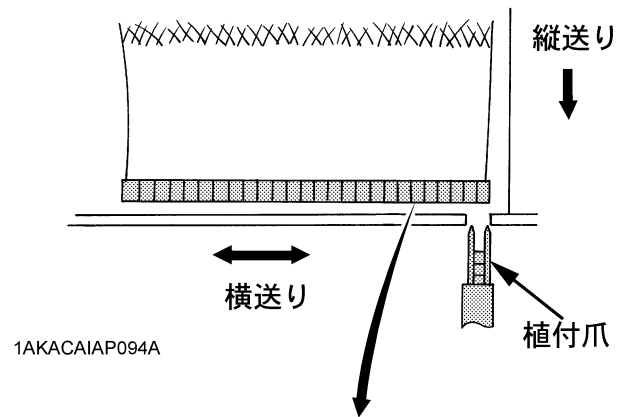
補 足

＊ この株数は車輪スリップ率10％のときのものです。
＊ 出荷時の株数は 18cm/60 株（A:27 ギヤ，B:26 ギヤ）です。
＊ 付属部品の入れ換え用のギヤは，24 ギヤと 28 ギヤです。
＊ 疎植（株数：24cm/45 株）を行ないたいときは，疎植株間アッシ（22 ギヤと 31 ギヤ）に組換えてください。

＊ 各ギヤの表面には歯数を刻印していますので調節を行なうときは歯数を確認してください。また，ギヤを取付けるときは，刻印が見える位置（手前）にして取付けてください。

ギヤの組換え及び入換えを行なうときは, 株間の組換え表以外のギヤの組合せはしないでください。

5. 株間ギヤケースのカバーを取付けます。
6. 植付作業と植付後の確認を行なって，異常がなければ作業を続けます。

■苗取り量（1 株本数）の調節

植付爪が取出す１株あたりの本数を, 横送りギヤ交換（苗取り量）と苗取り量調節レバー（縦取り量）で調節を行なってください。

補　足

＊ １株あたりの本数は条件によって異なりますが，３～５本が標準です。

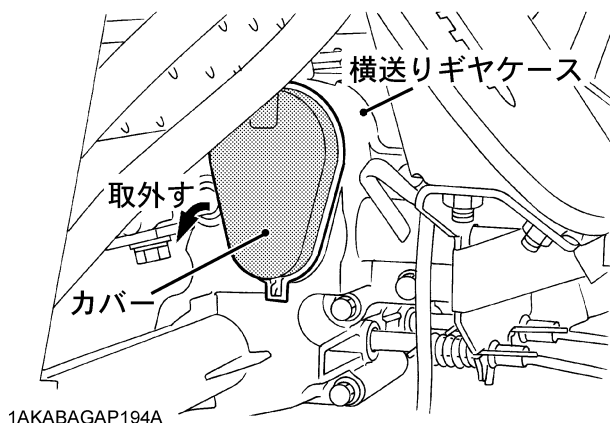
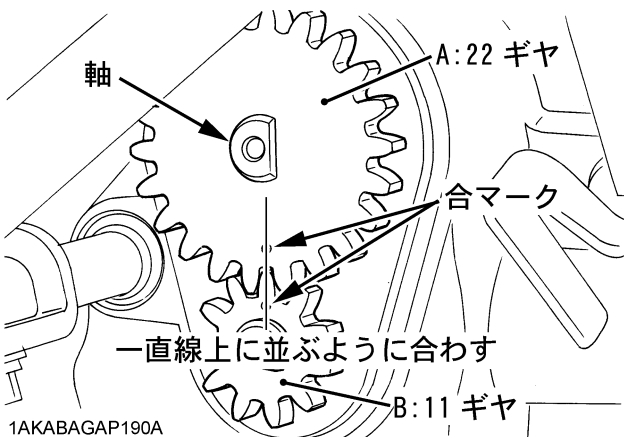
20 回	26 回
中苗	稚苗

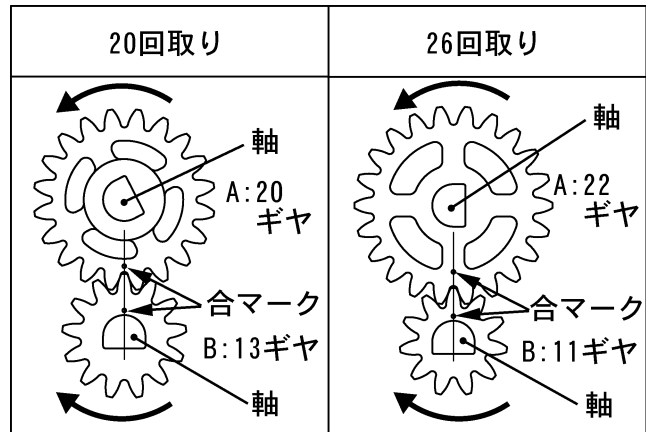
◆ 横送り量の調節

横送り量の調節はギヤの組換えで行なってください。

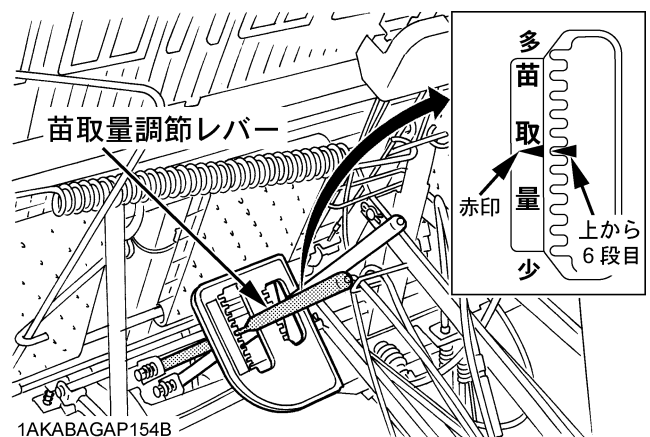
補　足

＊ 出荷時は 26 回（稚苗）位置です。
＊ 横送り量は，20 回で 14mm，26 回で 11mm です。

1. **植付け作業のしかた**の**植付作業の手順**（34 ページ参照）の工程 1. ～ 5. を行ないます。
2. 苗取量調節レバー下側にある横送りギヤケースのカバーを取外します。

3. ギヤに刻印されている合マークが一直線上に合っているか確認します。

補　足

＊ 出荷時は A:22 ギヤ，B：11 ギヤです。
＊ 付属部品の中苗用のギヤは，A：20　ギヤと B：13 ギヤです。
＊ 合マークが合っていない場合は，植付アームを下図のように回して合わせてください。

4. ギヤを稚苗用又は，中苗用に組換えます。
5. ギヤに刻印されている合マークを一直線上に合わせてギヤを組付けます。
6. カバーを取付けます。

◆ 苗取り量調節レバー

苗や苗床によってレバー調節してください。調節は 8 ～ 18mm まで 11 段階行なえます。

補　足

＊ 横送り量と合わせて 1 株本数を，レバーで調節します。レバーは切欠溝に確実にセットしたあと植付作業を行なってください。

◆ 植付株数と苗の使用量について

10 アール（a）あたりの苗の使用量は，栽植密度（植付株数）と1株あたりの苗取り量によって決まります。下記の表を参照して，苗箱（箱）の使用量の目安にしてください。

横送り回数（回）	苗の種類	苗取り量レバー位置	3.3㎡当り株数（株）				
			45	55	60	70	80
20	中苗	6段目	17	18	20	23	27
26	稚苗	6段目	13	14	15	18	20

※ 苗取り量レバー位置は，上（**［多］**い）から数えた位置

※ □枠内は，目安の苗箱（箱）の使用量です。また，播種量は稚苗 200 ～ 220g，中苗 100g を基準にして算出します。

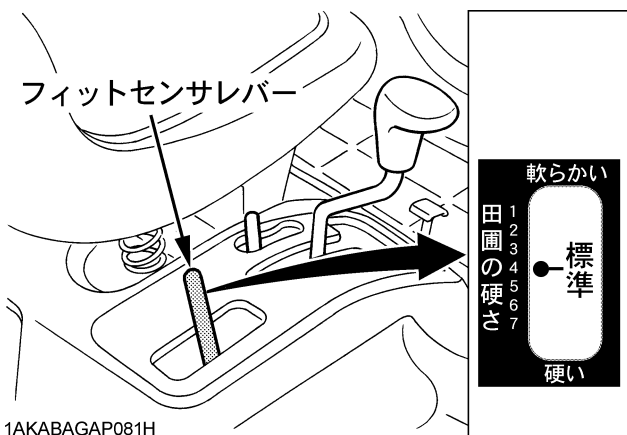
※ 出荷時は 60 株位置です。

補　足

＊ 苗取り量（縦取り量）のレバーを1段変更すると，苗箱は6～8％増減します。

＊ 上表はあくまで目安ですから苗箱は多めに準備してください。

■フィットセンサレバー

植付部の下側にあるフロートが，植付速度に応じて植付深さを一定に保つため，高速作業時にフロートの浮上りによる浅植えのないように制御していますが，ほ場の状態により，泥を押したり，凹凸がじゅうぶん整地されないときは，レバーでフロートの感度調節を行なってください。調節は7段階行なえます。

1AKABAGAP081H

● 設定位置

ほ場状態を確認しながら，レバーで下記の表を目安に感度調節を行なってください。

ほ　場　状　態		設定位置
軟らかい ↑ 標準 ↓ 硬い	● トロトロした状態で，泥押しをする。	1～3
	● 整地も良く，泥押しが少ない。	4
	● 硬くて整地が悪い。	5・6
	● 凹凸が激しく，荒れている。（車輪跡や足跡が残っている。）	7

補　足

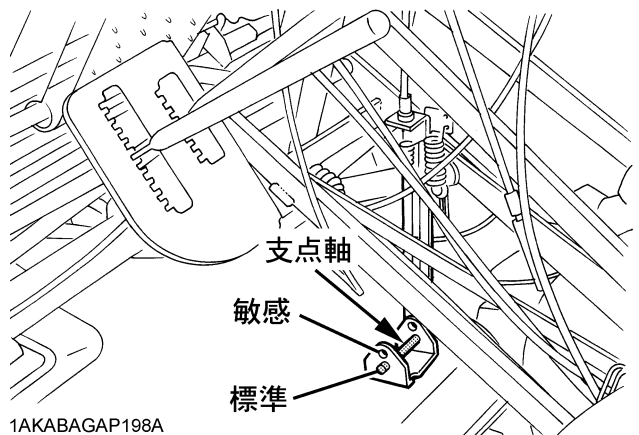
＊ 調節を行なったときは，植付け深さの調節も同時に行なってください。

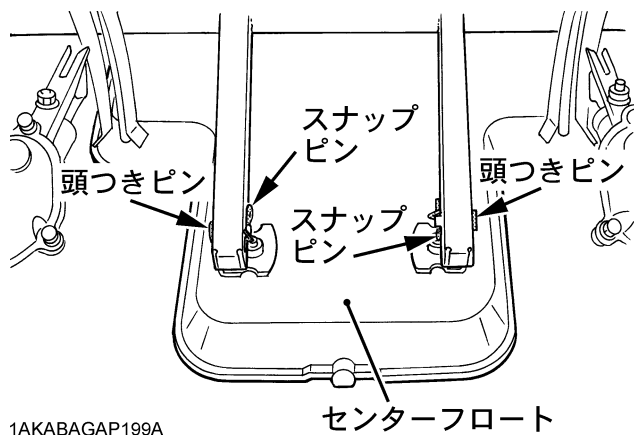
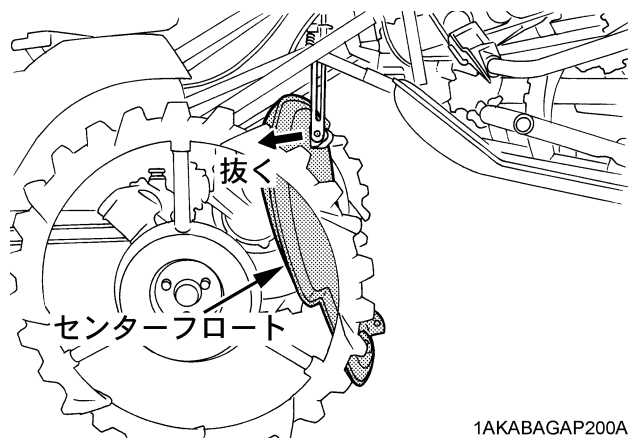
● **［軟らかい］→［硬い］**に変更すると植付け深さが深くなることがあります。

● **［硬い］→［軟らかい］**に変更すると植付け深さが浅くなることがあります。

◆ センサの感度調節について

フィットセンサレバーを［1］に設定しても，フロートの沈下が大きく泥押しをする**軟らかいほ場**の場合は，センサ金具を**［敏感］**の位置に変更してください。

1. エンジンを始動したあと，植付部を上昇させます。
2. 油圧をロックして，下降防止をしたあと，エンジンを停止します。
3. 支点軸を**［標準］**位置から**［敏感］**位置に変更します。

1AKABAGAP198A

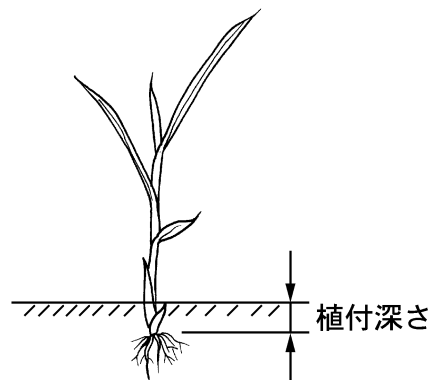
(1) センターフロート後部の 2 箇所のスナップピンと頭付きピンを取外してフロート後部を取外します。

(2) フロートを抜いて **［敏感］** 位置に支点軸を差込みます。

(3) 頭付きピンとスナップピンを取付けて，センターフロート後部を取付けます。

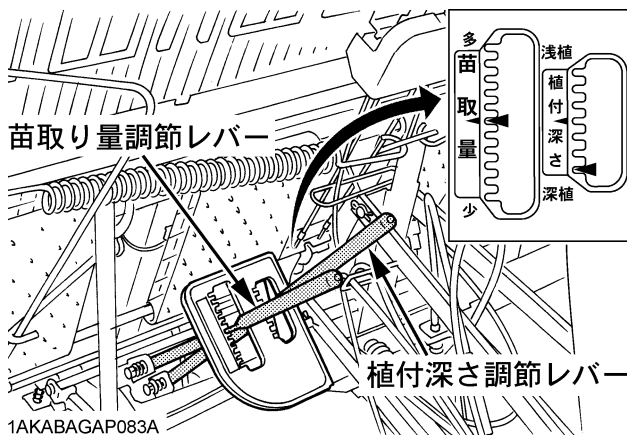
補　足

＊ **［敏感］** 側の穴に移すと，感知が敏感になり，浮き苗が出たり植付け深さが浅くなったりするおそれがありますので，できるだけフィットセンサレバーをこまめに調節して対応してください。

＊ 出荷時は **［標準］** 位置です。

■植付深さ調節

ほ場や苗の条件に合わせて，苗の植付深さの調節をレバーで行なってください。調節は１～４ cm まで７段階行なえます。

補　足

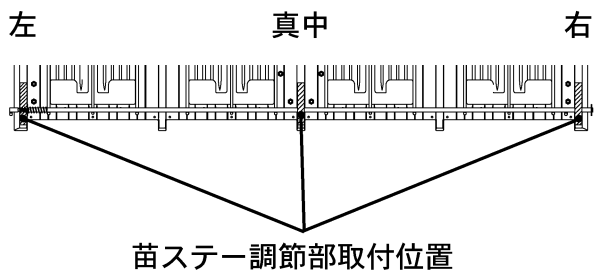
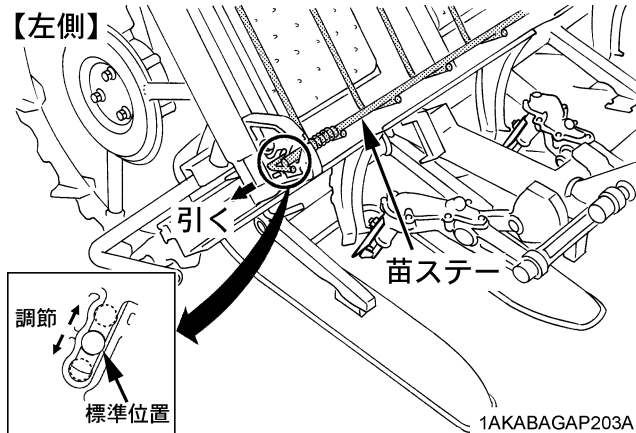
＊ 植付深さは２～３ cm が適正です。

1. 植付部を上昇します。
2. レバーで調節し，切欠溝に確実にセットします。
3. 植付部を降して植付作業を行なってください。

■苗ステー・苗押さえ棒の調節

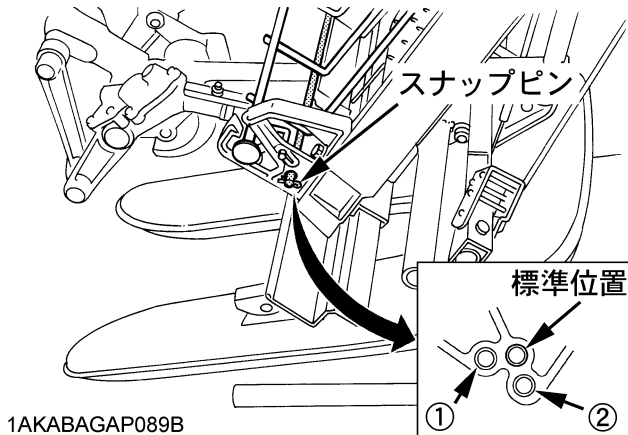
苗のせ台に苗をのせたとき，苗ステーとのすき間が大きかったり，苗床の状態が悪く（薄くて軟弱な苗や根張りの悪い苗など）て，くずれ落ちによる欠株が発生したり，苗が前，後に倒れるときは調節を行なってください。

◆ 苗ステー

1. 植付部を下降したあと，エンジンを停止します。
2. 苗ステーを苗床とのすき間が１～ 1.5cm になる位置に変更します。

3. 左，真中，右のそれぞれ３段階ある調節部で，苗床と苗ステーのすき間が平均になるように上，下に動かして調整します。

1AKACAXAP172A

◆ **苗押さえ棒**

1. 植付部を下降したあと，エンジンを停止します。
2. スナップピンを取外したあと，ロッドを抜取ります。
3. 穴の位置を変更してロッドを差込んだあと，スナップピンを取付けます。

● **調節位置**

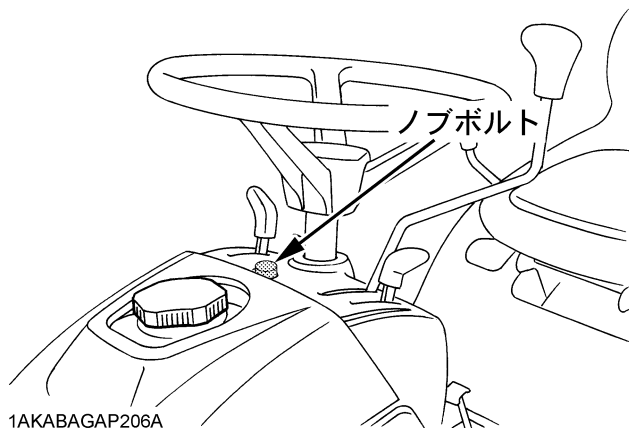
現象	取付け穴位置
● 苗が短い。 ● 植付けたとき，苗が後に倒れる。 ● 苗床が軟弱で，植付けるとバラケやすい。	標準→② 又は ①→標準
● 苗が長い。 ● 植付けたとき，苗が前に倒れる。 ● 苗が押さえ棒に引掛り，しゅう動板まで降りてこない。	標準→① 又は ②→標準

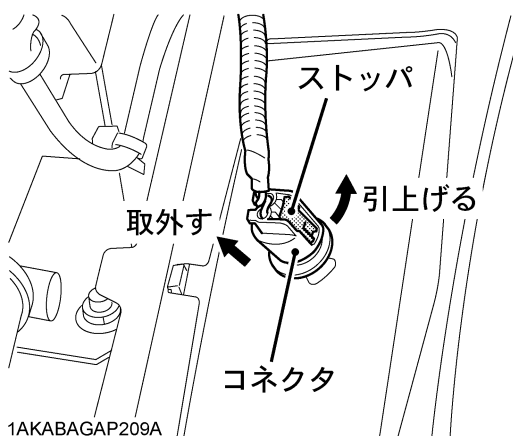
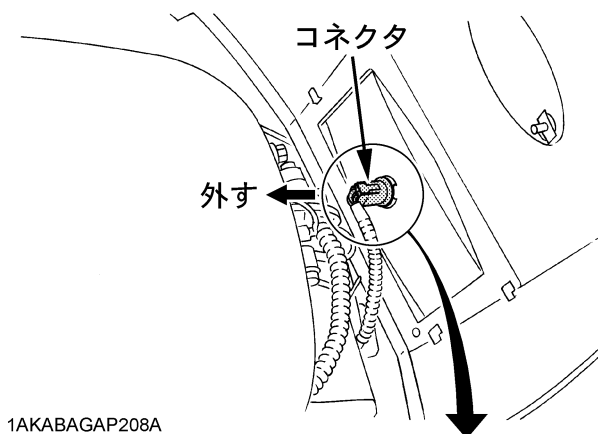
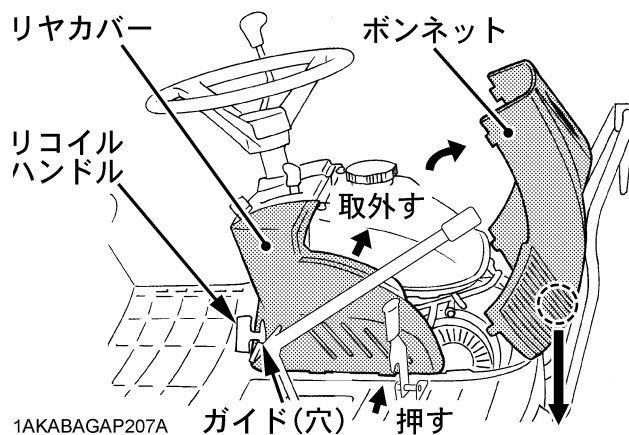
各部のオープン（開閉）と脱着のしかた

> **警告**
> ＊ 平たんで安全な場所で，エンジンを必ず止めてから行なってください。
> ＊ 取外したカバー類は，必ず取付けてください。

■ボンネットとリヤカバーの脱着のしかた

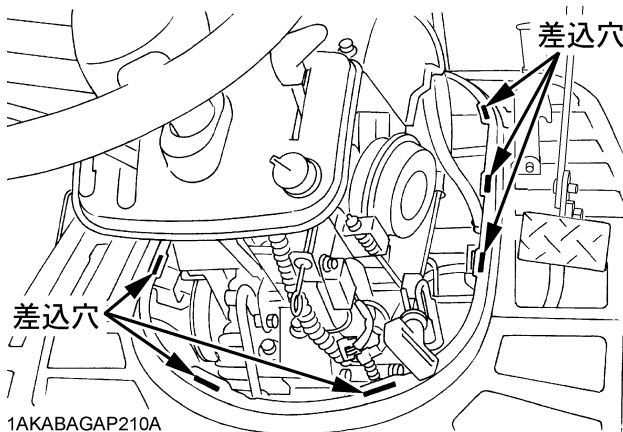
◆ 取外しかた

1. ボンネットのノブボルトを取外します。

2. ボンネットを前方に倒したあと，ヘッドランプのコネクタのストッパを引上げて取外し，ボンネットを取外します。

3. リヤカバーは両側の［**押す** ⏏］を押して，カバーの爪をステップから外し，リコイルハンドルを傾けて，ガイドの穴に押込んだあと上側に引いて取外します。

◆ **取付け方**

取外し方と逆の手順で取付けます。

補 足

＊ 取付けるときは，リヤカバーとボンネットの各差込み金具を確実に差込んでください。振動や強風で外れることがあります。

各部の掃除と注油のしかた

機械の故障などトラブルが発生しないように，各部の手入れをじゅうぶん行なってください。

＊ エンジンを必ず止めてください。
＊ 取外したり，オープンした回転部のカバー類は衣服などが巻込み危険ですので必ず取付けてください。

＊ 植付部を上げた状態で作業するときは，油圧ロックレバーで下降防止をしてください。さらに枕木などを使用して落下防止の歯止めをしてください。
＊ 空運転するときには必ず植付部を上昇させてください。
＊ オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊ マフラやエンジン・燃料タンク周辺部にごみや燃料の付着，泥の堆積などがあると火災の原因になることがありますので，取除いてください。
＊ 植付爪の爪先には注意してください。

■掃除のしかた

一日の作業が終わったあとや長期格納前は，各部の泥やゴミの掃除を必ず行なってください。掃除するときは，高圧水などを使用すると，泥落としが早く行なえます。

重 要

＊ 水洗いをするとき下記事項に注意してください。
　ボンネット内部や運転席下部の電装品には水を掛けないでください。故障の原因となります。
＊ 取外したボルト・ナットは，必ず締付けてください。

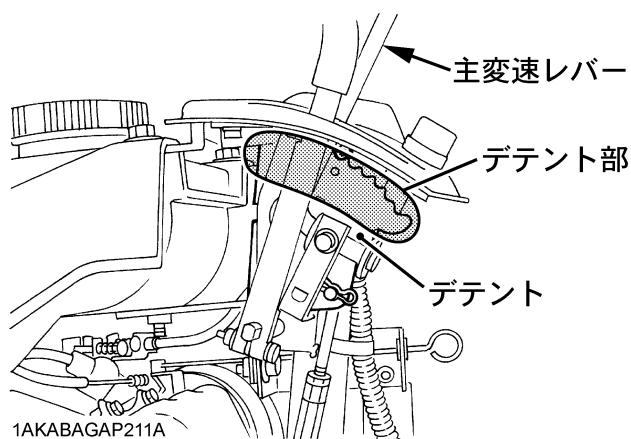
■注油のしかた

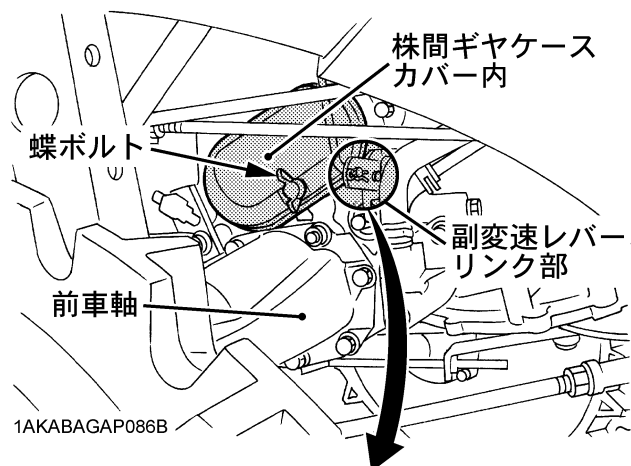
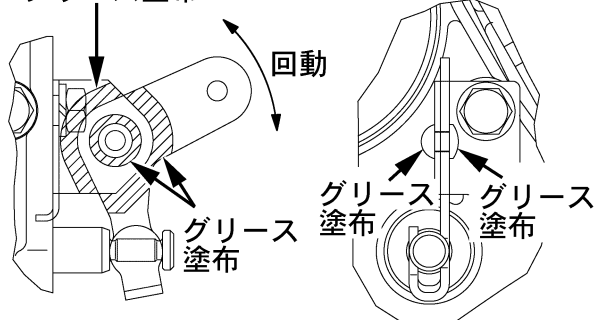
機械各部の掃除が終わったあとや長期格納前又は，田植作業を始める前には各部の注油やグリースの塗布を行なってください。

補　足

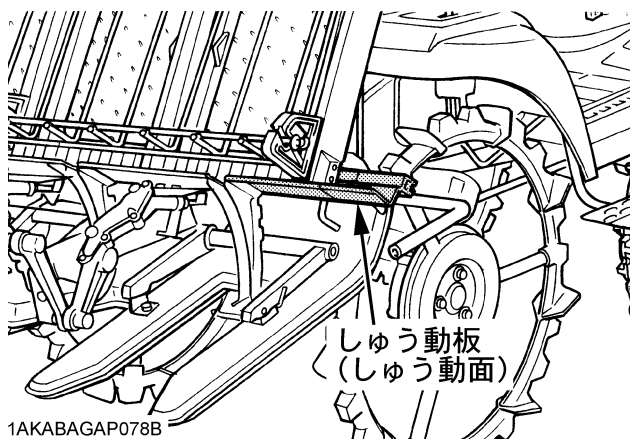
＊ 注油やグリース塗布をする前に，水が付着しているときは，ふき取って行なってください。

◆ 注油，グリース補給・塗布

● 主変速レバーデテント部

● 副変速レバーリンク部

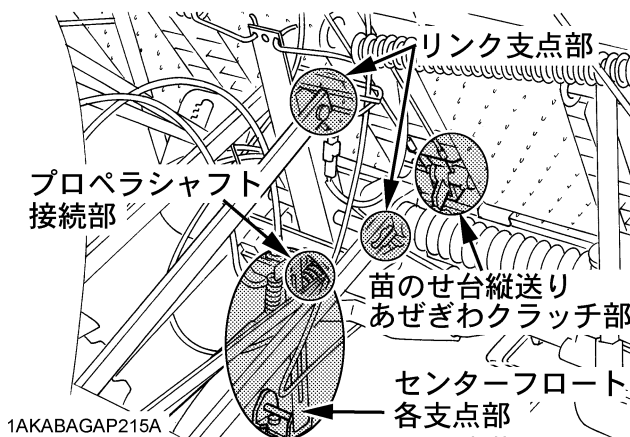
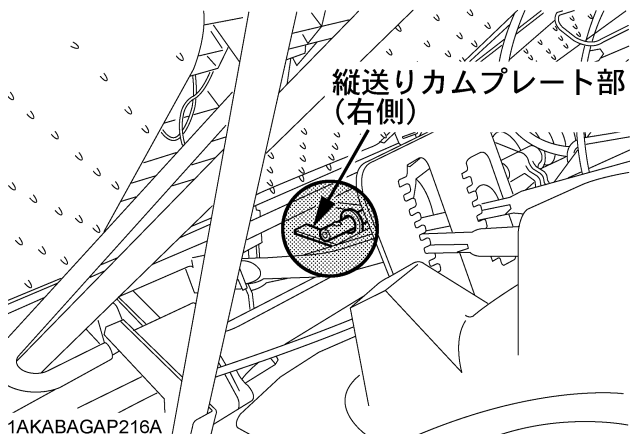
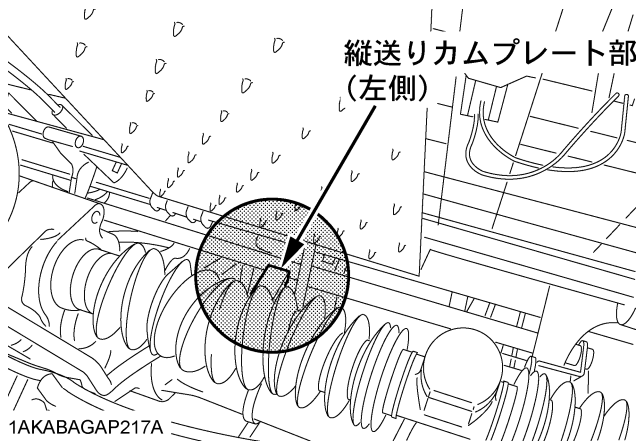
株間ギヤケースカバー内のグリース塗布は，蝶ボルトを取外してください。

補　足

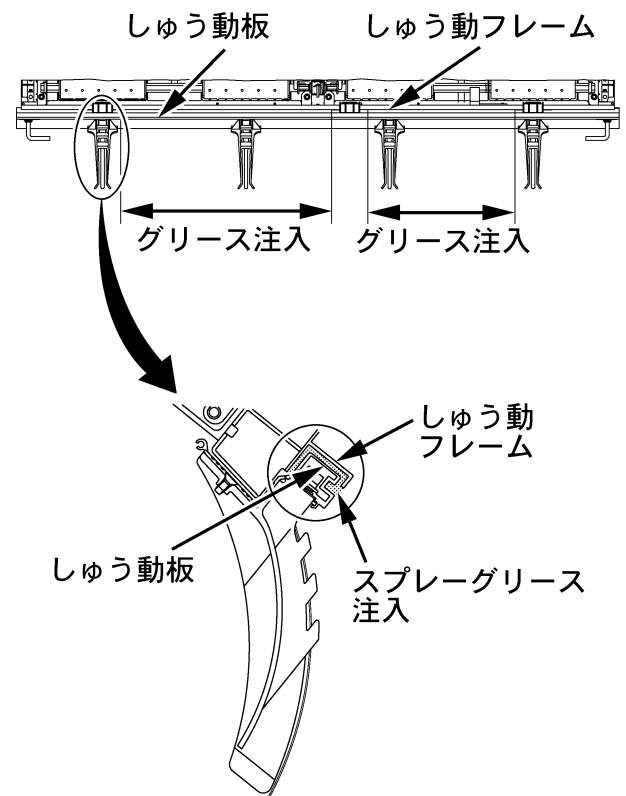
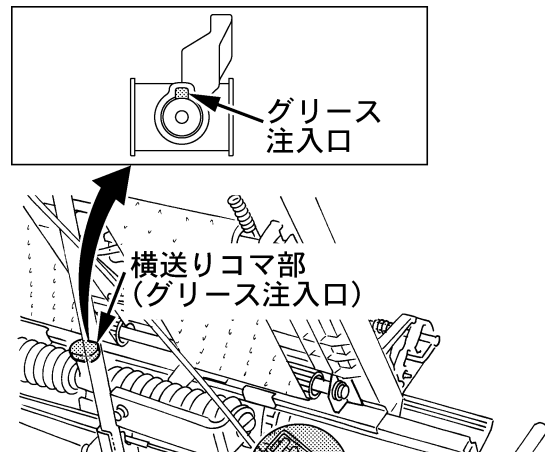
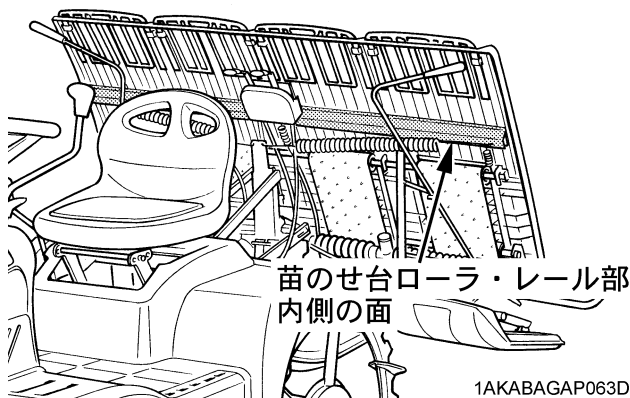
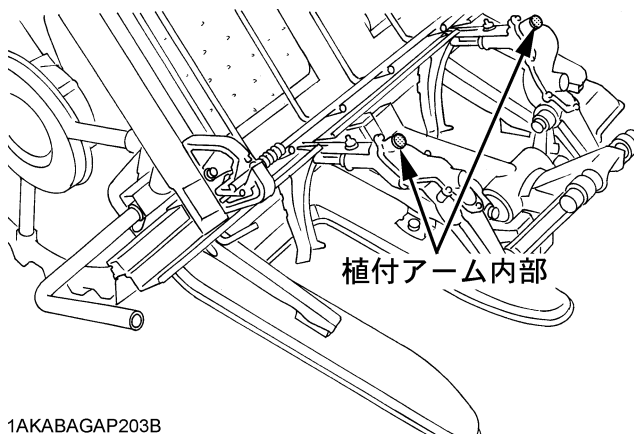
＊ 株間ギヤケースカバー内のギヤや軸のかみ合い部はモリサームNo.2（住鉱潤滑剤（株）製）・相当品などの二硫化モリブデン含有グリースを塗布してください。

● しゅう動板（グリース塗布）

● 苗のせ台縦送りあせぎわクラッチ部（グリース塗布）

● センターフロート支点部（注油）

● リンク支点部（注油）

● プロペラシャフト接続部（グリース塗布）

● 縦送りカムプレート部（グリース塗布）

- 横送りコマ部（グリース注入）
- ラインマーカ支点部（注油）

- 苗のせ台下面しゅう動部（スプレーグリース注入）

● 苗のせ台ローラ・レール部（グリース塗布）

● 植付アームへのオイル又は新日本石油 G574 グリースの補給

定期点検

定期点検は，田植作業を行なう人が定期的に行なう点検です。
田植作業は，使用時間と使用状況に応じて劣化が進み，その構造や装置の性能が低下します。これを放置しておくと故障や事故の原因となり，ひいては田植機の寿命を短くしてしまいます。
田植機の持つ性能がいつまでもじゅうぶん発揮できるよう，定期的に点検を行ないましょう。

＊ 各部の点検・調整・交換作業を行なうときは，平たんな場所で駐車ブレーキを掛けエンジンを必ず止めて，各レバー類を［N］（中立）または［切］位置にして，回転部を止めてから作業をしてください。
＊ 取外した回転部のカバー類は，衣服などが巻込まれるおそれがありますので，点検後はカバー類を必ず取付けてから作業をしてください。
＊ 燃料の補給中は火気厳禁。

＊ 各部の点検・調整・交換作業を行なうときは，平たんな場所に止めて，駐車ブレーキを掛けてください。
＊ 植付部を上げた状態で作業を行なうときは，油圧をロックし，植付部の下降防止を行なってください。
＊ ボンネットやリヤカバーを取外すときは，内部がじゅうぶん冷え，ヤケドのおそれがないことを確認してください。
＊ オイルの補給中は火気厳禁。
＊ 燃料やオイルがこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

補　足

＊ 専門的な技術や特殊工具を必要とする場合及び定期点検一覧表54ページの参照ページ欄に☆印のある項目は，購入先にご相談ください。
＊ 点検・交換の時期は，使用条件や環境に大きく左右されます。従ってひとつの目安として早めの点検をお願いします。

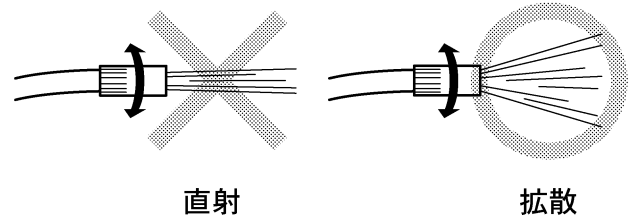
■廃棄物の処理について

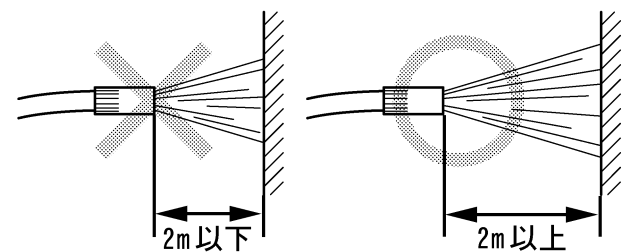
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
- **＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。**
- **＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。**
- **＊ 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。**

■洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人をケガさせたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。**
3. **機械の破損・損傷・故障の原因になります。**
   例）⑴ シール・ラベルの剥がれ
   ⑵ 電装部品，エンジン・ラジエータ室内等への浸入による故障
   ⑶ タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂部品，ガラス等の破損
   ⑷ 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁

1AGACBRAP068A

■使用者が行なってはいけない修理

下記部品に異常があるときは購入先に連絡してください。

- エンジン本体
- トランスミッションケース
- ギヤ（ベベルギヤを含む）を内蔵したケース類
- 油圧系統
- 植付部の動力系統
- 電気系統

■定期点検一覧表

点検箇所・項目	点検・処置	点検・交換時期							参照ページ
		作業前後	シーズン前後	35時間	50時間	200時間	1年ごと	2年ごと	
エンジン部									
燃料フィルタポット（燃料フィルタ）			○						59
エアクリーナエレメント		○:50時間ごと(日常点検でも汚れがひどいときは都度掃除) △：汚れがひどいとき							61
点火プラグ	すきま調整	○：(200時間ごと)							62
気化器（キャブレタ）	掃除	○：エンジン不調時など							☆
燃料タンクの燃料こしあみ	掃除		○						56
燃料パイプ	バンド締付け	○						△	62 ☆
		(作業前後点検し，燃料もれしているときは締付けバンドの締付け又は，交換)							
走行部									
ブレーキペダル	調整		○						63
ミッションオイルフィルタ	—	○:50時間ごと(日常点検でも汚れがひどいときは都度掃除) △：汚れがひどいとき							60 ☆
ミッション駆動ベルト	—	△：摩耗，被覆のはがれ，き裂やひび割れが発生したとき							63 ☆
タイヤ	点検	○							64
		△：8 mm以上に摩耗したとき							
植付・操作部									
植付爪	点検	○							65
		△：３ mm 以上摩耗したとき (植付時に苗取りができないとき)							
押出し金具	点検	○							65
		△：破損や変形がひどいとき (うき苗，ころび苗，ばらけ苗が発生)							
縦送りベルト	掃除	○							☆
		△：破損や摩耗がひどいとき							
しゅう動板・苗乗せ台受け	点検	○							67 ☆
		△：すき間が２ mm 以下になったとき							
各ワイヤ	調整	○							☆
電装部									
ワイヤハーネス	点検	○							67 ☆
		△：破損時							
ランプ（電球）	—	△：破損時（玉切れ）							68

＊ 参照ページに☆印のある整備項目の交換については，購入先に連絡又は，整備工場で行なってください。

補　足

＊ 上表の時間は目安です。機械の使用条件や使用環境などによって，消耗部品の調整や交換時期は異なります。

＊ 使用時間については，**［主要諸元］**の**［作業能率］**を参照して確認してください。

■給·注油（水）点検一覧表

種類	点検箇所	処置	点検・交換時期		容量・規定量 (L)	種類	参　照 ページ
			点検	交換			
燃料	燃料タンク	給油	作業前 又は， 作業後	—	●容量･･･4.2	自動車用無鉛ガソリン	56
オイル	エンジン	補給・交換		●初回･･･ 20時間目 ●2回目以降 ･･･ 100時間ごと	＊規定量 オイルゲージの下限と上限の間 ●容量･･･0.6	クボタ 純オイル G10W 30 又は， API分類	56
	ミッションケース	補給・交換	作業前 又は， 作業後	●50時間ごと	＊規定量 オイルゲージの **下限と上限の間** ●容量･･･3.4	クボタ 純オイル スーパー UDT 又は， NEW UDT	60
	後車軸	補給・交換	作業前 又は， 作業後	●50時間ごと	＊規定量 オイルゲージの先端にオイルが付着すること ●容量･･･1.2		56
グリース	前車軸ケース左右のグリース補給	補給	分解時	—	適量	クボタ スペア グリース	50☆
	ステアリングギヤー ケースのグリース補給						
	フィールドケースのグリース補給						
	株間ギヤケースカバー内 （ギヤや軸のかみ合い部）				3～5 g	耐熱グリース（モリサーム No.2 住鉱潤滑剤（株）製）	
	植付アーム				適量	新日本石油	
	植付ケース					クボタ スペア グリース	
	横送りネジ部のグリース補給						
	横送りコマのホルダ						
	植付クラッチレバー取付部周り						
	主変速レバーデテント部		操作荷重が重くなったとき				
	副変速レバーリンク部						

＊ 参照ページに☆印のある整備（分解作業）については，購入先に連絡してください。
　※1. クボタスペアグリースで代用可。

重　要

各部への補給と交換

＊ 点検するときは，機械を平たんな場所において行なってください。傾いていると正確な量を示しません。
＊ エンジンオイル量の点検は，エンジン停止後，5分以上経過してから行なってください。
＊ 使用するオイル・グリースは，指定のクボタ純オイル・スペアグリースを使用してください。
＊ 補給や交換の際は，ゴミや水が混入しないようにしてください。

補　足

使用時間については，**［主要諸元］**の**［作業能率］**を参照して確認してください。

■燃料·オイルの点検·補給·交換

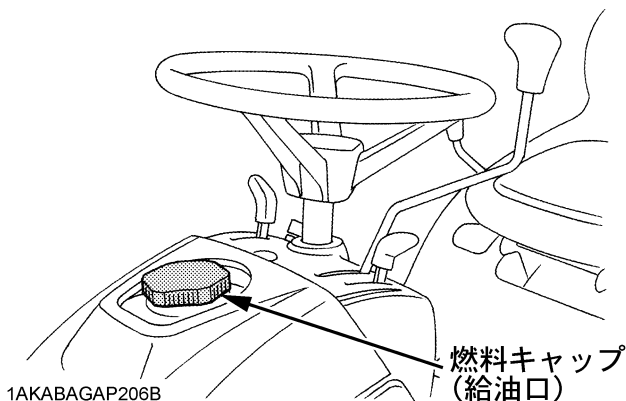
警 告

＊ 燃料やオイル補給中は火気厳禁です。
＊ エンジン停止直後は，エンジン回りや各部オイルが熱くなっているため，引火火災やヤケドをするおそれがあります。

重 要

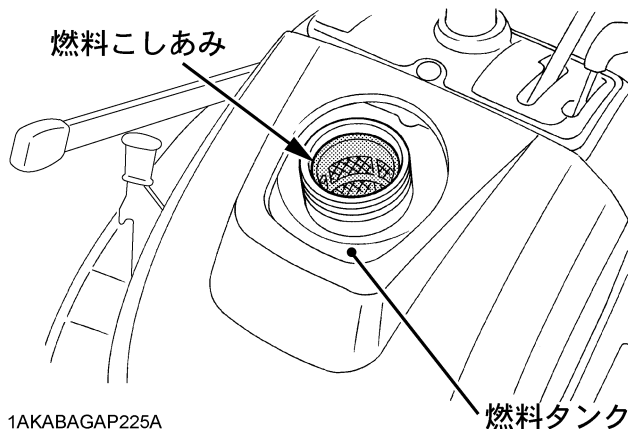
＊ 補給・交換を行なうときは，機械の故障の原因となりますので下記事項を守ってください。
廃油は使用しないでください。
給油口やその周辺からゴミなど異物や水の混入を防ぐため掃除してください。
使用するオイルはクボタ純オイルを使用してください。
＊ 点検するときは機械を水平な場所に置いて行なってください。傾いていると正確な量を示しません。

■燃料

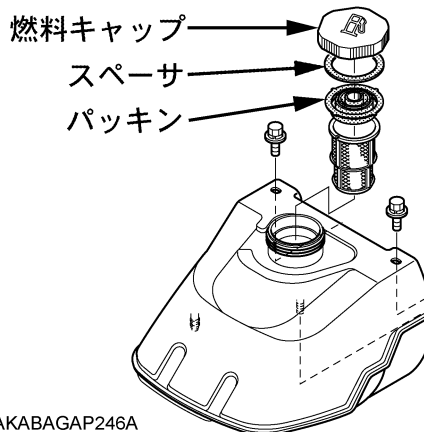
燃料は作業前に必ず補給してください。

1AKABAGAP206B

重 要

＊ 燃料は，自動車用無鉛ガソリンを必ず使用してください。また，下記のような燃料は使用しないでください。エンジンがかからなかったり，エンジンの不調や故障の原因になります。
- 燃料タンク内に１ヶ月以上放置した燃料
- 樹脂製タンクに長期保管した燃料
- ゴミや水など異物の混ざった燃料
- 変色のひどい燃料
- くさった古い燃料
（昨年使用した燃料はなるべく新しい燃料に交換してください。）

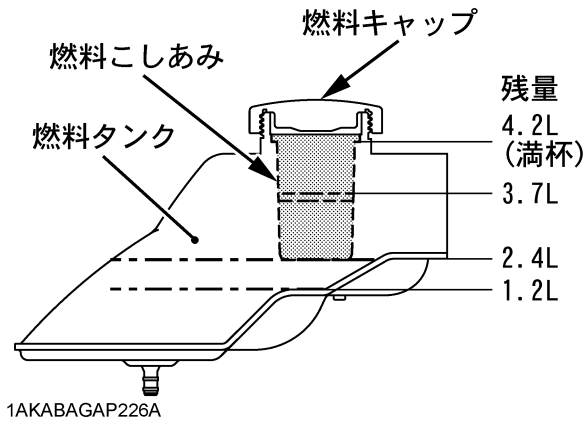
＊ １ヶ月エンジンを始動しないと，燃料は変質し，エンジントラブルの原因となります。
＊ 給油口の燃料こしあみは外さないでください。燃料タンクにゴミなどの異物が混入するとエンジンの故障の原因となります。

1AKABAGAP225A

補 足

＊ 燃料キャップを締付けるとき，キャップ裏側にあるスペーサやパッキンをなくさないようにしてください。

1AKABAGAP246A

補 足

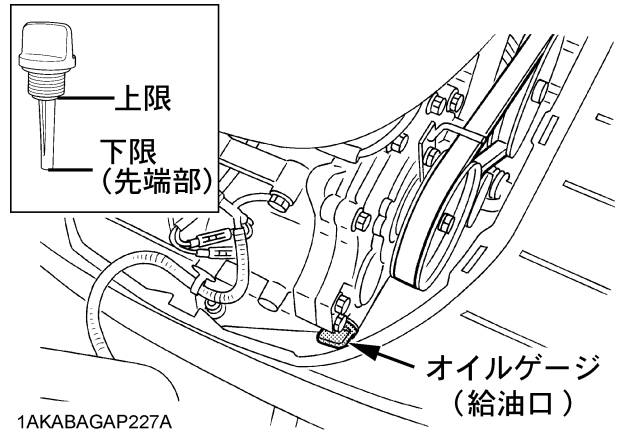
＊ 燃料の残量は，燃料キャップを外して燃料こしあみを上から又は，取外して確認してください。

1AKABAGAP226A

■エンジンオイル

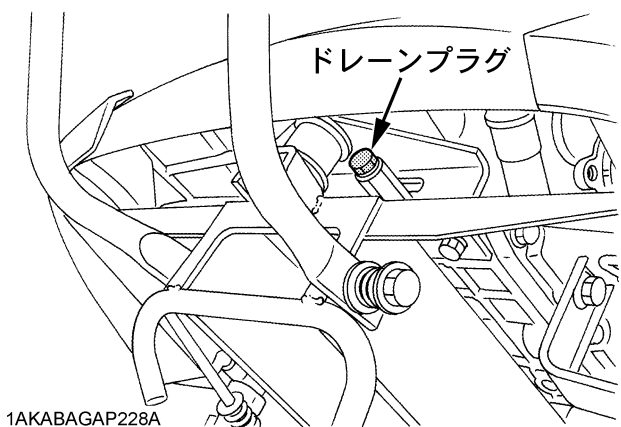
◆ 点検・補給

ボンネットを取外したあと，オイルゲージを抜いて，先端をきれいにふき取ります。もう一度ねじ込んでから抜き，ゲージの先端にオイルが付着しているか点検します。不足しているときは，給油口から規定量になるまで給油してください。さらに，油もれのないことも調べてください。

1AKABAGAP227A

◆ 交換

● 排油のしかた

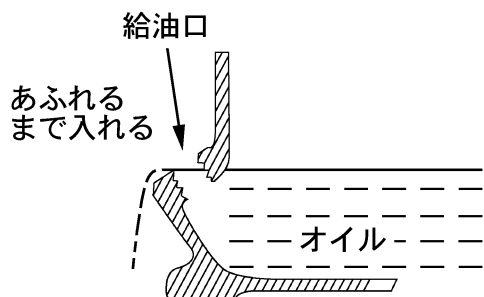
＊ マフラやエンジンオイルが十分冷えてからオイルを排出してください。

オイルゲージを外してから，ドレーンプラグを外し，オイルを排出してください。

1AKABAGAP228A

● 給油のしかた

ドレーンプラグを締付けて，給油口から規定量のオイルを給油し，オイルゲージを締付けてください。

補　足

＊ 給油するときは，給油口からオイルがあふれるまで入れてください。オイルがあふれるところが上限の位置です。

1AKABAGAP404A

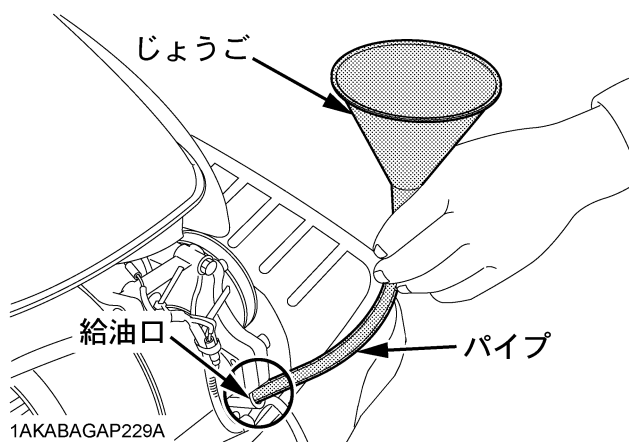
重　要

＊ 指定以外のオイルを使用すると，出力が低下したり，エンジンオイルが異常に消耗又は劣化し，エンジントラブルの原因となります。

オイルの種類	オイル容量
クボタ純オイル G10W30	0.6L

＊ クボタ純オイルの入手が困難な場合は,API 分類 SE 級以上のオイルをお使いください。

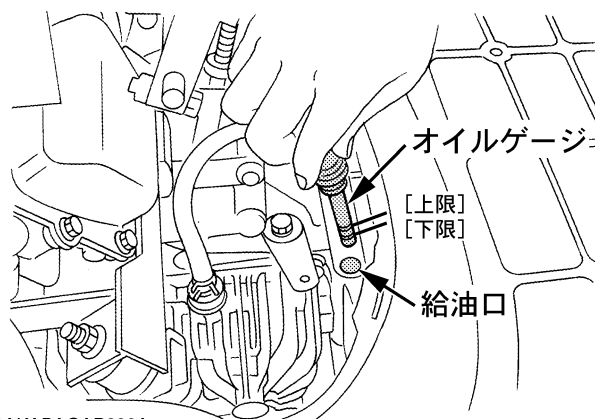
補　足

＊ 補給・給油を行なうときは，付属部品のじょうごとパイプを使用してください。

1AKABAGAP229A

■ミッションオイル

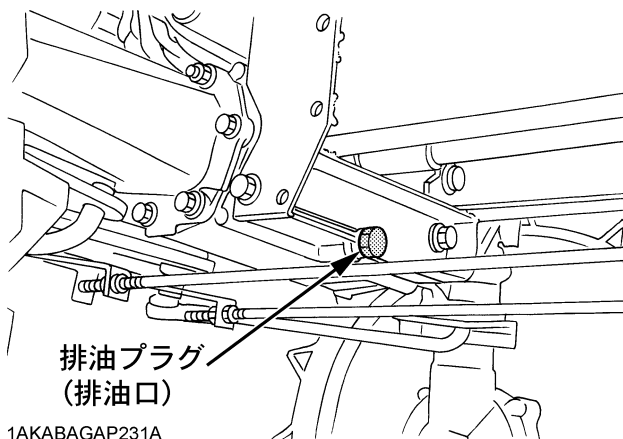
植付部を下降させてください。

◆ 点検・補給

ボンネットとリヤカバーを取外し，オイルゲージを抜いて，先端をきれいにふき取ります。もう一度差し込でから抜き，ゲージの上限と下限の間にオイルがあるか点検します。不足しているときは，給油口から規定量になるまで給油してください。さらに，油もれのないことも調べてください。

1AKABAGAP230A

◆ 交換

● 排油のしかた

オイルゲージを外してから，排油プラグを外し，オイルを排出してください。

1AKABAGAP231A

● 給油のしかた

排油プラグを締付けて，給油口から規定量のオイルを給油し，オイルゲージを差込んでください。

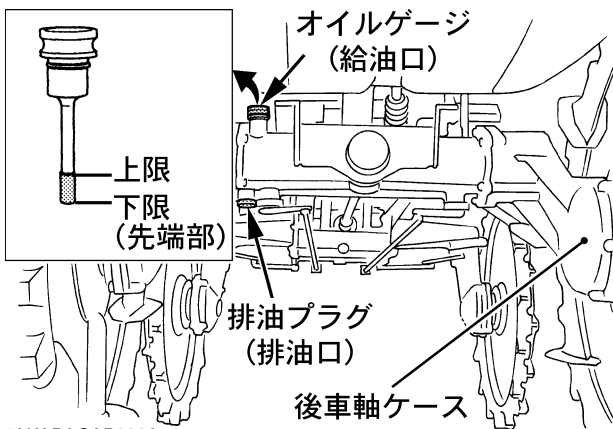
オイルの種類	オイル容量
クボタ純オイル スーパー UDT 又は，NEW UDT	3.4L

重 要

＊ 給油したあとエンジンを約１分回転させて，再度点検を行ない不足しているときは，オイルを追加補給してください。

■後車軸ミッションオイル

◆ 点検・補給

オイルゲージを抜いて，先端をきれいにふき取ります。もう一度差込んでから抜き，ゲージにオイルが付着しているか点検します。ゲージにオイルが付着していないときは，給油口から規定量になるまで給油してください。さらに，油もれのないことも調べてください。

1AKABAGAP232A

◆ 交換

● 排油のしかた

オイルゲージを外してから，排油プラグを外し，オイルを排出してください。

● 給油のしかた

排油プラグを締付けて，給油口から規定量のオイルを給油し，オイルゲージを差込んで，先端にオイルが付着しているか点検してください。

オイルの種類	オイル容量
クボタ純オイル スーパー UDT 又は，NEW UDT	1.2L

■燃料フィルタポットの点検･掃除

掃除は燃料を給油する前に行なってください。

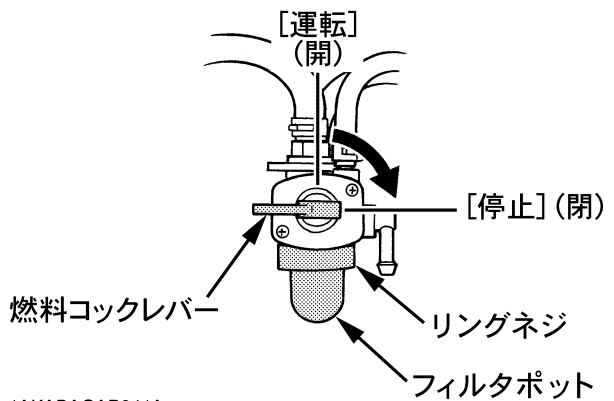
＊ 点検・掃除中は火気厳禁です。

重 要

＊ 燃料内にゴミなどの異物や水が混入すると，フィルタのエレメントの目詰まりが早くなったり，フィルタ内に水が溜まりやすくなります。

＊ フィルタポット下部に水が溜まっているときは，早目に掃除又は交換してください。

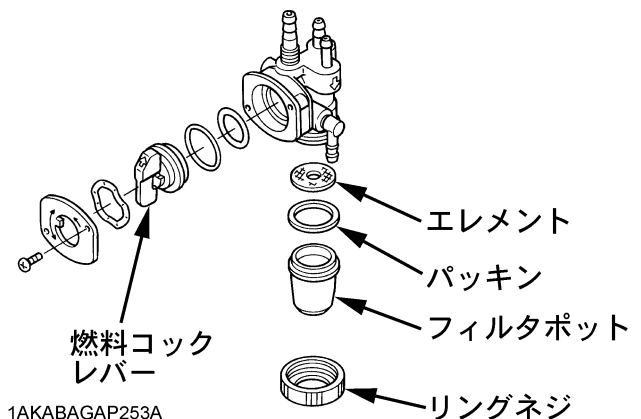
◆ 点検・掃除

1. 燃料コックレバーを **［運転］（開）** 位置から **［停止］（閉）** 位置にします。

1AKABAGAP241A

2. リングネジをゆるめてフィルタポットを外します。

重 要

＊ フィルタポットを外すとき，パッキンやエレメントも同時に外れますのでなくさないようにしてくだい。

3. エレメントを取出してガソリンで洗浄（すすぎ洗い）をします。このとき，汚れのひどい場合は交換してください。

1AKABAGAP253A

重 要

＊ エレメントやパッキンは傷つけないようにしてください。また，失くさないでください。

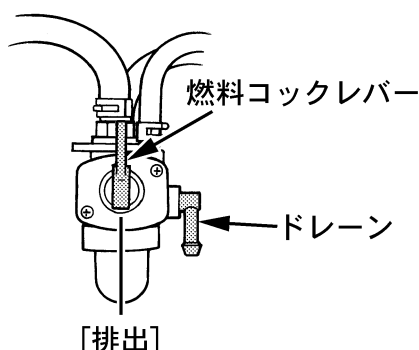
＊ 汚れ（目詰まり）がひどい場合は，洗浄を行なっても短時間で目詰まりします。

4. パッキンやエレメントにゴミが付着しないように元通りに組付けます。

重　要

＊ ゴミが燃料内に混入すると，故障の原因となります。

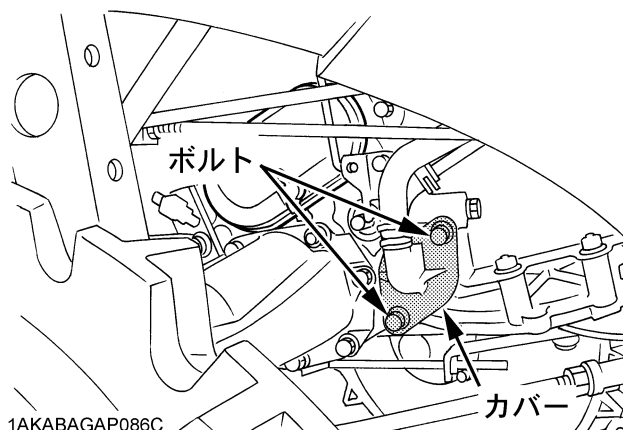
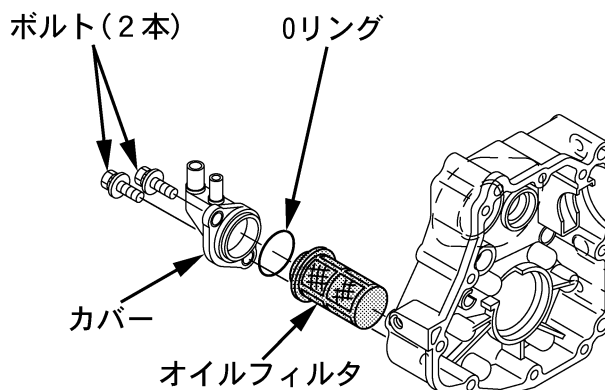
補　足

＊ 燃料コックレバーを［**排出**］位置にすると，ドレーンからキャブレタ内と燃料タンク内の燃料を排出します。

1AKABAGAP249A

■ミッションオイルフィルタの点検·掃除·交換

ミッションオイルの交換と同時にオイルフィルタの掃除を行なってください。

◆ 点検・掃除・交換

1. 植付部を下降します。
2. ミッションオイルを排出します。
   （56 ページ参照）
3. ボルト２本を取外してカバーを引出して，オイルフィルタを抜出して掃除します。また，汚れのひどい場合は交換してください。

1AKABAGAP086C

1AKABAGAP237A

重　要

＊ Oリングは傷つけないようにしてください。また，失くさないでください。
＊ 汚れ（目詰まり）がひどい場合は，掃除を行なっても短時間で目詰まりします。

4. オイルフィルタを取付けたあと，カバーをボルトで締付けます。
5. オイルゲージの上限線までミッションオイルを補給したあと，５分程度エンジンを運転して各部に異常がないことを確認してから，エンジンを止め，再度油面がオイルゲージの規定内にあることを確かめておいてください。

重　要

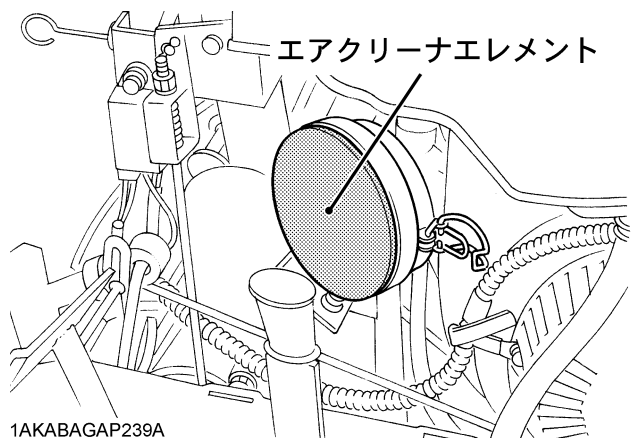
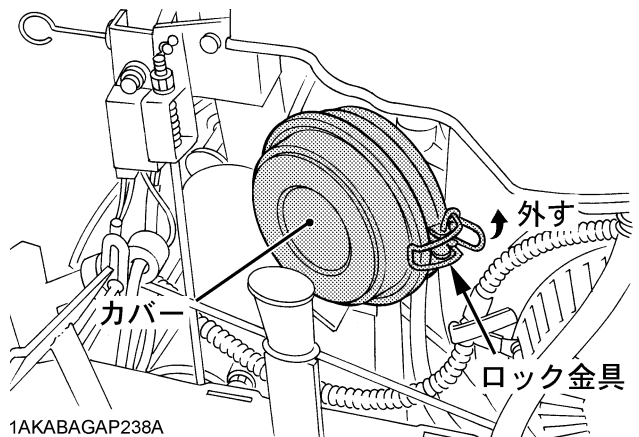
＊ ミッションオイルを交換するときに，ゴミなどの異物が混入するとフィルタの目詰まりが早くなったり，ミッションの故障の原因となります。
＊ 給油したあとエンジンを約１分間以上負荷をかけずに回転させて，オイルゲージで点検を行ない，下限より少ないときは，オイルを追加補給してください。

■エアクリーナエレメントの点検･掃除

重　要

＊ エアクリーナにほこりが詰まったまま運転すると，エンジンの出力が低下したり，エンジンオイルが異常に消耗又は劣化し，エンジントラブルの原因となります。点検は運転前に欠かさず行なってください。

◆ 点検・掃除

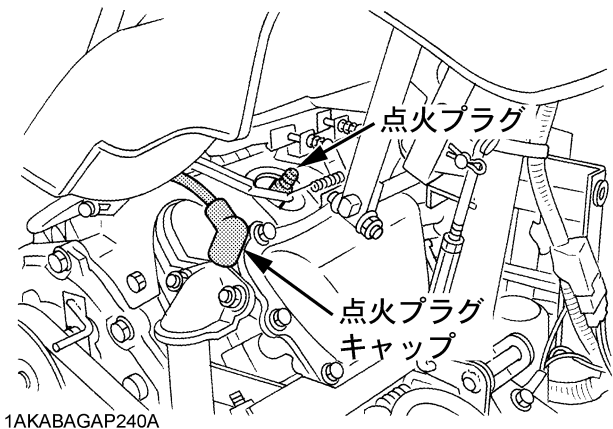
1. ボンネットとリヤカバーを外したあと，カバー下側にあるロック金具を外してエアクリーナのカバーを取外します。
2. エレメント（スポンジ）を取外し，灯油又は，家庭用洗剤で洗浄（もみ洗い）をします。このとき，汚れや破損のひどい場合は交換してください。
3. エレメント（スポンジ）を乾燥させます。
4. エンジンオイルに浸して固く絞ってから取付けたあと，エアクリーナのカバーを取付けます。

■点火プラグの点検･掃除･調整

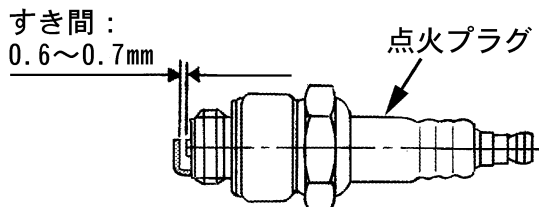
＊ 点火プラグの取外しは，エンジンが冷えた状態で行なってください。

重　要

＊ 点火プラグの電極が溶けて，すき間が広がったり，カーボンが付着したり，碍子（ガイシ）部が損傷するとエンジンの不調の原因となります。

◆ **点検・掃除・調整**

1. ボンネットとリヤカバーを取外し，点火プラグのキャップを外します。
2. 付属部品のプラグレンチでプラグを取外します。

1AKABAGAP240A

3. ワイヤブラシで電極の汚れやカーボンを落として掃除したあと，電極のすき間を確認し，異常があれば，すき間調整又は，点火プラグの交換を行ないます。すき間は，0.6 ～ 0.7mm に調整します。

1AKACAIAP170A

重　要

＊ 点火プラグを交換するときは，必ず同じ型式のものを使用してください。異なったプラグを使用すると，失火や始動不良を起こすおそれがあります。

点火プラグ型式	数量
BP6HS	1

■パイプ・ホース類の点検・締付け

＊ 燃料系ゴムホースが破損していると燃料もれを起し火災の原因となります。

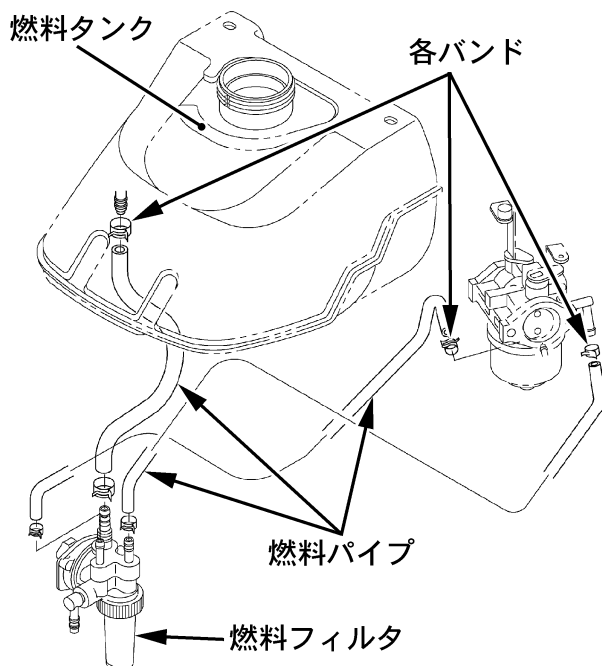
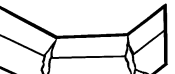
◆ **点検**

エンジン，燃料タンク各部にある各パイプやホースを点検し，油もれや燃料もれが発生しているときは，パイプやホースの交換やバンドを締付けてください。

重　要

＊ 油もれや燃料もれをしていなくても，**２年経過しているときや劣化の激しい場合**は交換してください。交換については，購入先に連絡してください。

◆ **締付け**

締付不足がないよう締付けてください。

1AKABAGAP242A

■ミッション駆動ベルトの点検

点検するときは，ボンネットとリヤカバーを外してください。

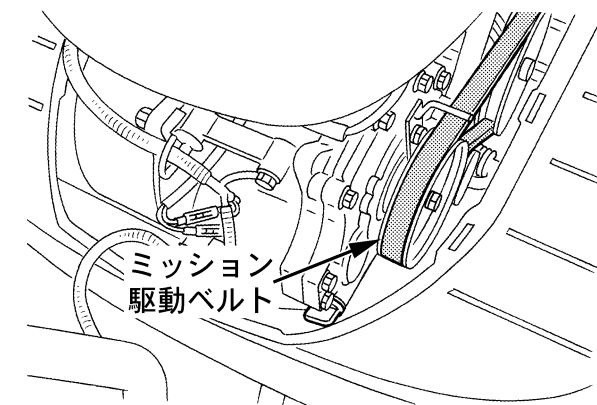
◆ 点検

ベルトを点検するときは，下記の事項をよく確認してください。

1. ベルトの焼付きや摩耗，被覆のはがれ，き裂やひび割れ

焼付きや摩耗	被覆のはがれ	き裂やひび割れ
×	×	×

2. ベルトの底部とプーリ溝部のすき間

上記の事項を確認したとき，異常があれば購入先へ連絡してベルト交換を行なってください。

1AKABAGAP227B

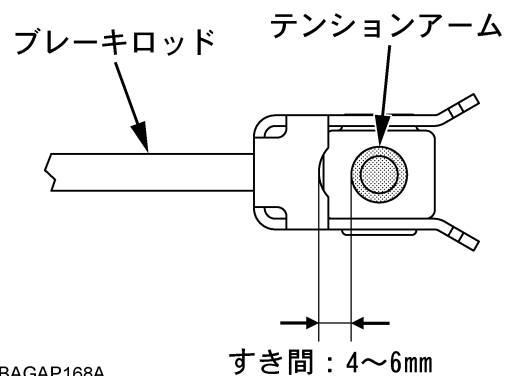
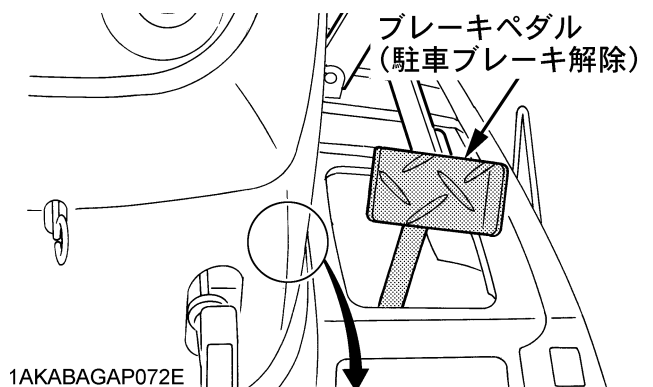
重　要

＊ ベルトは必ずクボタ純正品を使用してください。

■ブレーキペダルの点検·調整

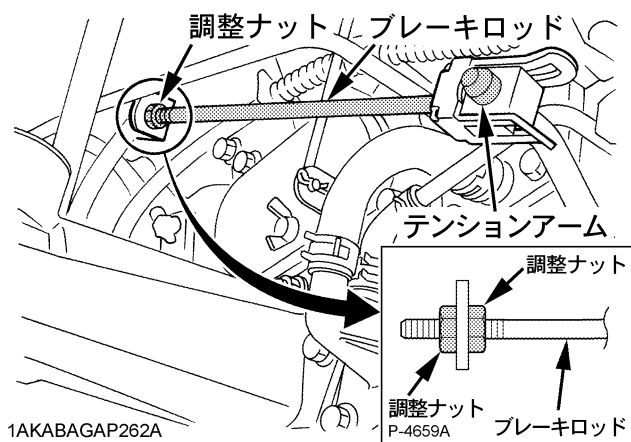
点検・調整を行なうときは，ボンネット及びリヤカバーを取外してください。

◆ 点検

1. ブレーキペダルを駐車ブレーキ解除状態にします。
2. ブレーキロッドとテンションアームのすき間を測定します。
3. 測定値が 4 ～ 6mm の範囲外のときは調整します。

1AKABAGAP072E

1AKABAGAP168A

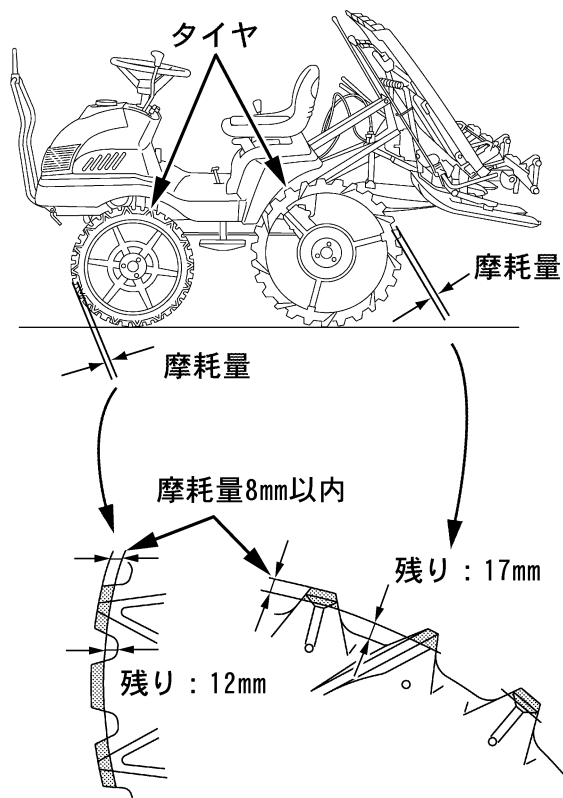
◆ **調整**

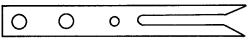
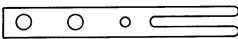
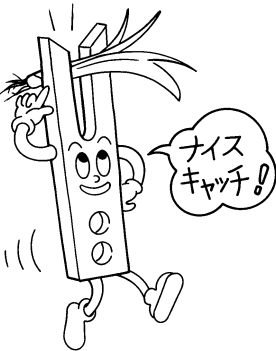
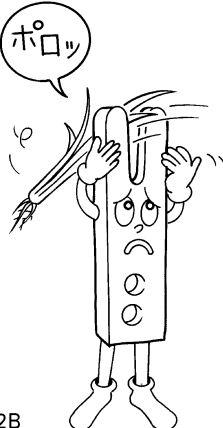
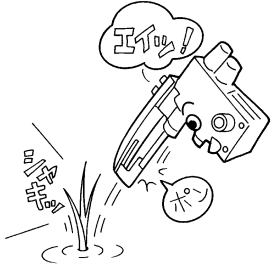
1. 調整ナット２個をゆるめます。
2. 調整ナットですき間を調整します。
3. 調整ナット２個を締付けます。

4. 点検の１～３を行ない，すき間の再確認をし，規定値から外れているときは，再調整します。

■タイヤの点検

＊ **タイヤが摩耗するとスリップを起こしやすくなるため，あゆみ板の上などで脱輪して転倒するおそれがあります。**

◆ **点検**

前輪・後輪共にタイヤの摩耗や破損（ひび割れなど）を点検し，8mm 以上摩耗している場合や，破損がひどい場合は，購入先に連絡して交換してください。

1AKABAGAP263A

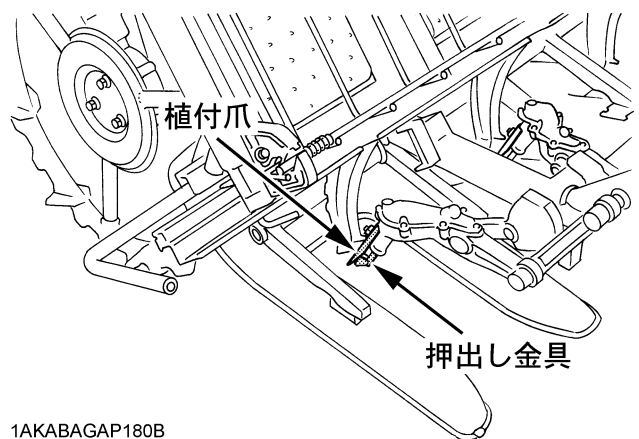
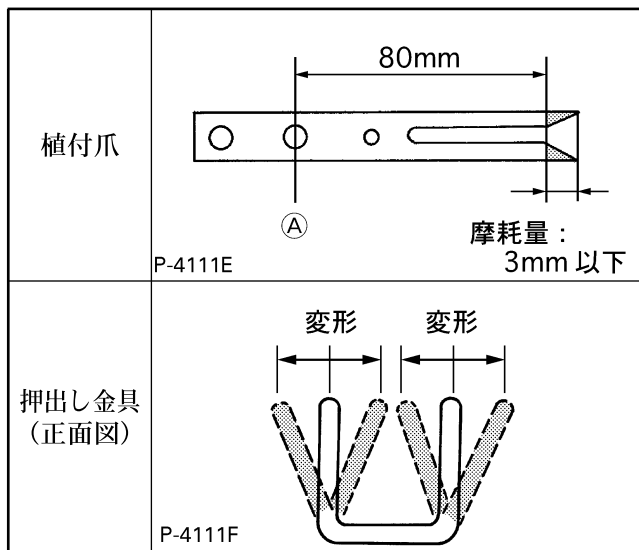
■植付爪·押出し金具の点検·調整·交換

> **警　告**
>
> **＊ 植付爪に接触すると手を傷つけるおそれがあるので，植付爪の交換・調整・清掃，苗取り出し口の異物の除去，残り苗の取り出しなどを行なうときは，エンジンを必ず止めてください。**

植付爪が摩耗や破損すると，苗の取出しができなくなるため，植付不良となり，押出し金具が変形や破損をすると，うき苗・ころび苗・ばらけ苗などの植付不良となりますので，定期点検を良く行なってください。

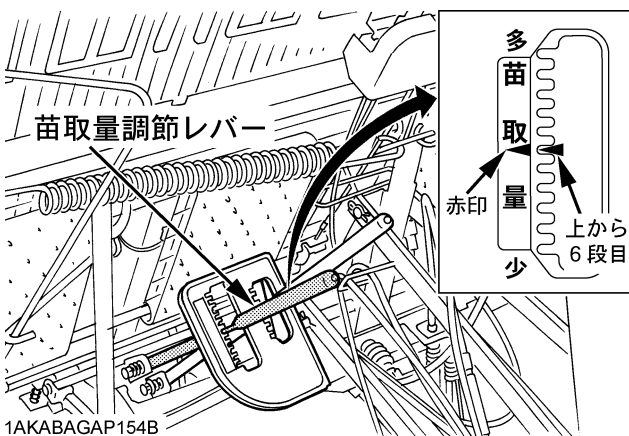
● 植付爪

● 押出し金具

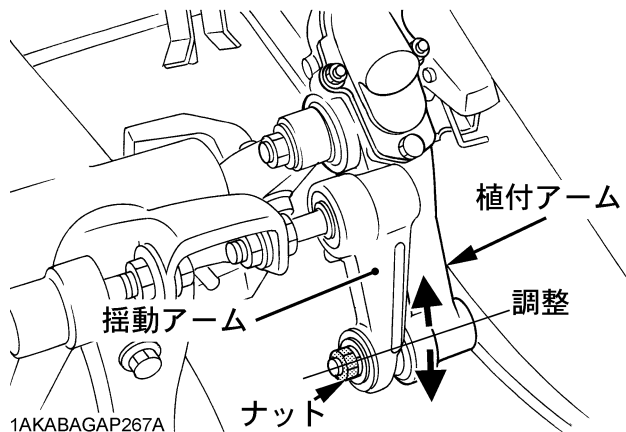
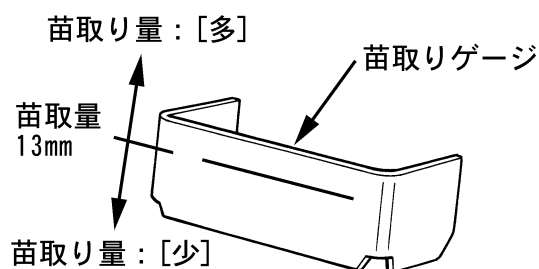
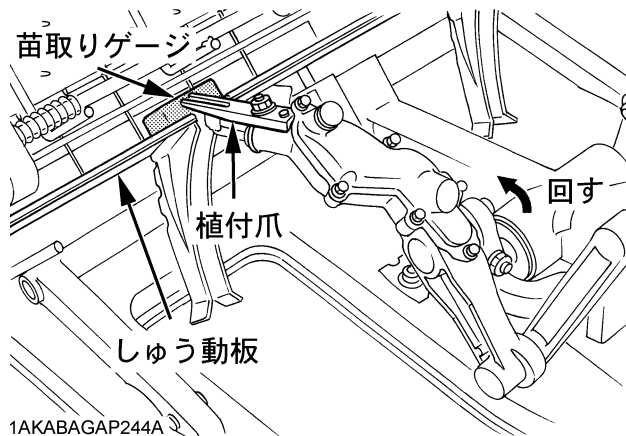
◆ 点検

1. 機械を平たんな場所に止めて，駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止します。
2. 植付爪の摩耗状態や押出し金具の変形状態を確認します。
3. 植付爪の摩耗状態が 3mm 以内のときは，苗取りゲージで高さ調整を行ない，3mm 以上（A位置から残り 80mm）摩耗しているときは交換してください。また，押出し金具の変形量により，押出し金具の押出し確認又は，購入先に連絡して交換してください。

1AKABAGAP180B

◆ 植付爪の調整

1. エンジンを始動したあと，植付部を上昇させ，油圧をロックし，植付部の下降防止を行ないます。
2. 植付クラッチレバーを **[入]** 位置にしたあと，エンジンを停止します。
3. 苗取り量調節レバーをいったん一番上まで動かしたあと，**[多]** い方から６段目の切欠溝にセットします。

1AKABAGAP154B

4. しゅう動板の切欠部に苗取りゲージを図のようにセットし，植付爪がゲージに当たるまで手で回します。
5. 植付アームと揺動アームを締付けているナットを軽くゆるめたあと，植付爪の先端を苗取りゲージの **[苗取量 13]**（13㎜）の線に軽く接触させて，樹脂ハンマー等で植付アームを軽くたたいて調整し，**[苗取量 13]**（13㎜）の線と合わせます。

1AKABAGAP244A

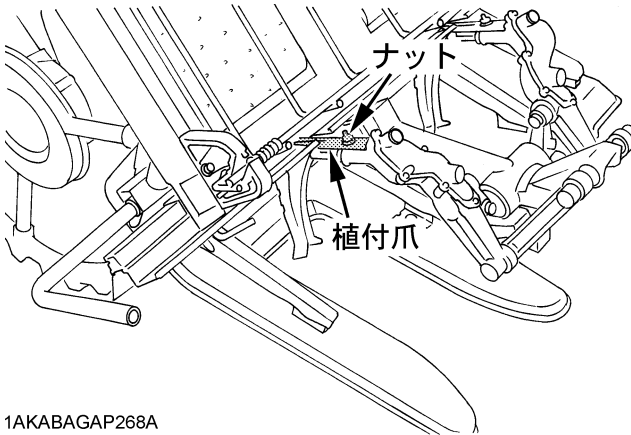
1AKABAGAP272A

1AKABAGAP267A

6. 植付アームと揺動アームを締付けているナットを締付けます。

補　足

＊ 他の植付爪も同じ要領で行なってください。

◆ 植付爪の交換

1. 65 ページの**植付爪の調整**の 1 と 2 を行ないます。
2. 植付爪を取付けているナットを取外します。

1AKABAGAP268A

3. 新しい爪と交換します。

補 足

＊ 植付爪は，常に 1 台分の予備を準備しておいてください。

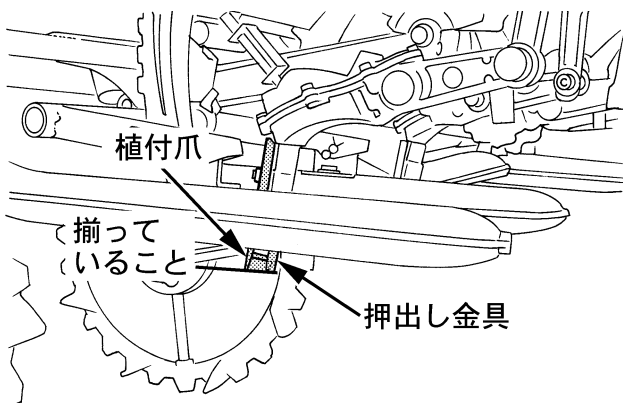
4. ナットを締付けます。
5. 植付爪の高さ調節を行ないます。

◆ 押出し金具の動作確認

1. **植付爪の調整**の 1 と 2 を行ないます。
2. 植付クラッチレバーを **[植付]** 位置にします。

補 足

＊ 植付クラッチレバーが **[植付]** 位置以外のときは，植付爪が下まで動きません。

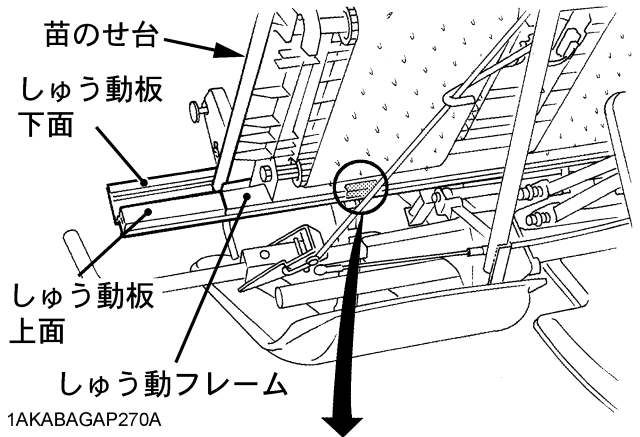
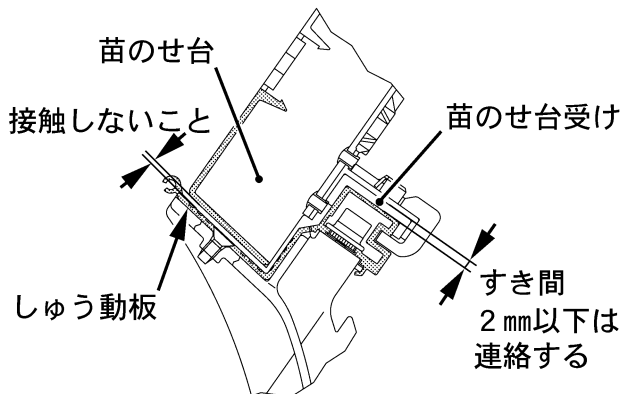
3. 植付爪を手で回して，最下端のときに押出し金具と植付爪のそれぞれの先端が揃っていることを確認します。

1AKABAGAP269A

4. 押出し金具の変形や破損で動かないときは，購入先に連絡して交換してください。

■苗のせ台のしゅう動板と受けの点検

苗のせ台のしゅう動状態が悪くなると，正常な植付作業が行なえないおそれがありますので点検してください。

◆ 点検

しゅう動板上面と苗のせ台ウケの入っているしゅう動フレーム終端のすき間を測り，2㎜以下のときは，苗のせ台としゅう動板下面が接触しますので購入先に連絡してください。

1AKABAGAP270A

1AKABAGAP271A

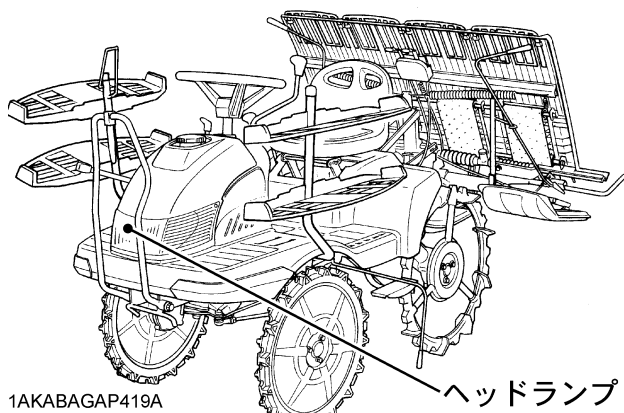
■電装部の各配線コードの点検・交換

＊ 配線コード被覆の損傷やコネクタ（端子）の接触不良によるろう電やショート（短絡）は火災の原因となります。

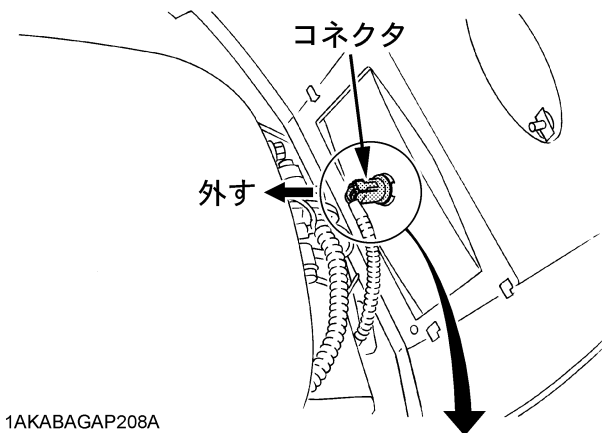
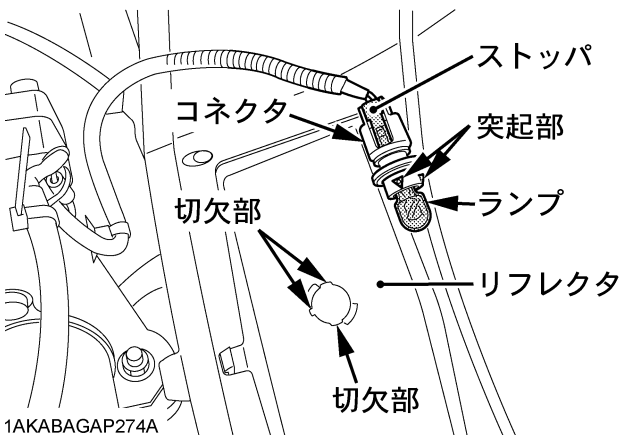
◆ 各配線コードの点検・交換

各配線コードのコネクタ（端子）の接続状態を点検し，ゆるみや外れがあるときは確実に差込んでください。また，被覆の損傷状態を点検し，被覆が破れているときは，販売店へ連絡して交換してください。

■ランプ（電球）の点検・交換

ランプ（電球）切れがないか点検し，切れているときは交換してください。

1AKABAGAP419A

◆ 交換のしかた

1. ボンネットのノブボルトを取外し，ボンネットを前方に倒します。
2. コネクタを回して，リフレクタ取付穴の３箇所の切欠部とコネクタの突起部を合わせてコネクタをリフレクタから取出します。

1AKABAGAP208A

1AKABAGAP274A

3. 新しいランプと交換します。

植付作業後の手入れ

植付作業が終わったあとは，機械の点検・整備を怠らず翌日又は，翌年の田植作業に備えてください。

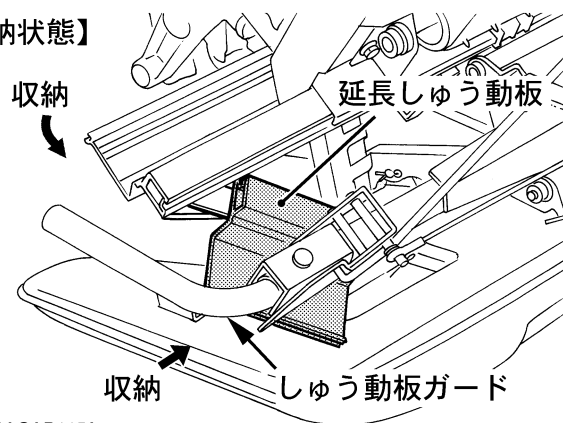
■毎日の作業後

＊ 機械にカバーをかけるときは，エンジン・マフラが冷えてからかけてください。停止直後にカバーをかけると火災のおそれがあります。
＊ 掃除する場合は，必ずエンジンを停止させてから行なってください。
＊ 燃料抜取り時は火気厳禁。

1. 平たんな場所に田植機を停めます。
2. 機械各部の泥などを取除いたあと，必要に応じて各部に注油を行ないます。
（50 ページ参照）
3. 納場所に格納します。

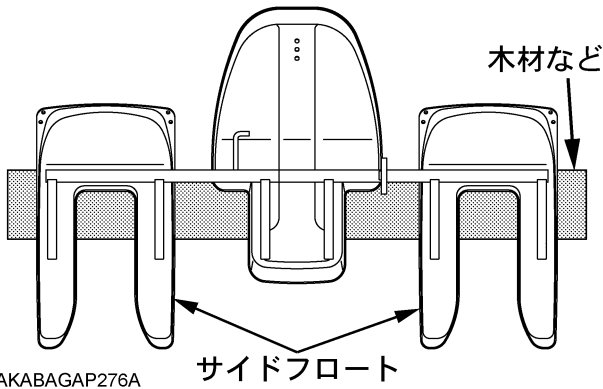
重 要

＊ 狭い場所に収納するときは，左，右の延長しゅう板及び，しゅうどう板ガードを収納してください。（32 ページ参照）

【収納状態】

1AKABAGAP115A

4. 植付部を降ろします。

重　要

＊ 植付アームなどが破損するおそれがありますので，センターフロート，サイドフロート下面にまたがるように木片などを置いて，床面に直接降ろさないでください。

5. 駐車ブレーキを掛けます。

■長期格納時

田植えのシーズンが終了して翌年まで長期間使用しないとき，格納する前の各部の点検・整備を念入りに行なってください。

◆ 各部の掃除・注油と補修

機械を平たんな場所に停めて下記事項を行なってください。

- 水洗い後，ゴミ・水滴をじゅうぶんふき取り，油をしみこませた布で清掃してください
- 各グリース塗布個所にはグリース，注油個所には注油を行なってください。
- 塗布したグリースや油が縦送りベルトに付着したら，必ずふき取ってください。
- 植付爪の先端など，錆やすい所にはグリースを塗ってください。
- 各部のゆるみを調べ，増締めを行なってください。

重　要

＊ 機械を洗う場合は，電装部品に水がかからないようにしてください。

◆ 燃料

＊ 燃料を排出するときは，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。火災が発生するおそれがあります。

重　要

＊ 燃料タンク内やキャブレター内に燃料のガソリンを１ヶ月以上放置しないでください。ガソリンは変質を起こし，エンジンが掛からなくなったり，エンジンの不調の原因となります。

補　足

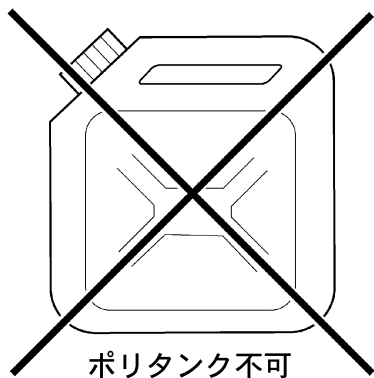
＊ 燃料のガソリンは，１ヶ月以上エンジンを始動しないときは，必ず燃料タンクやキャブレター内から排出しておいてください。

来シーズンに備えて燃料タンク内及び燃料フィルタポット内のガソリンを抜取ってください。

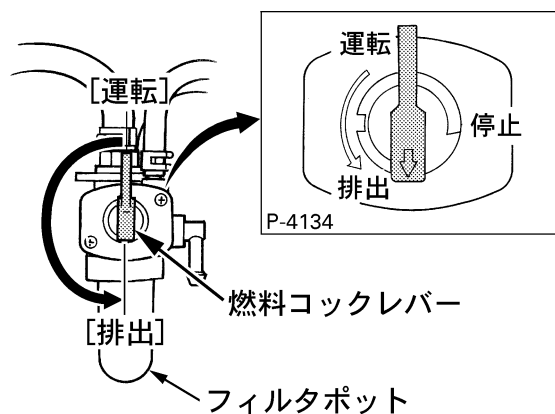
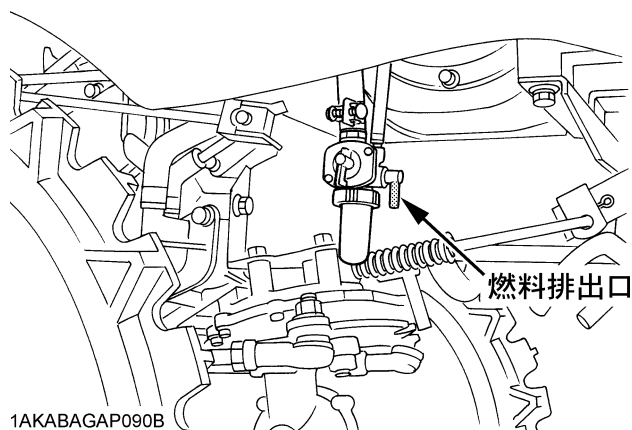
1. 燃料排出口の下に容器を準備します。
2. 燃料コックレバーを**［排出］**位置にして燃料タンク及びキャブレター内の燃料を排出します。
3. フィルタポット内のガソリンを排出します。また，必要に応じて掃除を行なってください。
4. フィルタポットを取付けます。
5. 燃料の排出が終わると，燃料コックレバーを**［停止］**位置にします。

重　要

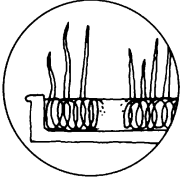
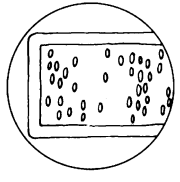
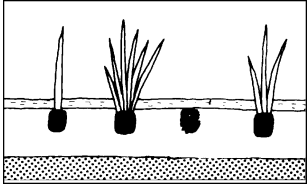
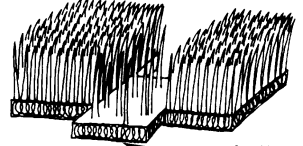
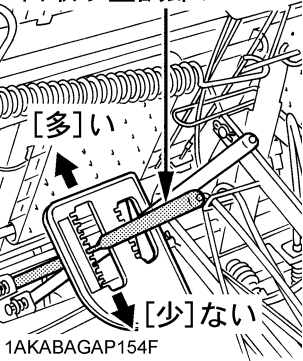
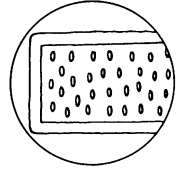
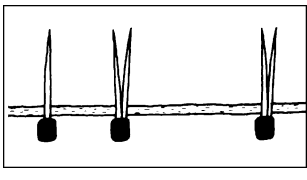
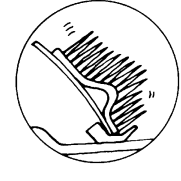
＊ 燃料のガソリンは 1ヶ月以上放置すると，気化や酸化をしてガソリンが変質し，エンジンの不調や故障の原因になりますので必ずタンク内及びフィルタポット内のガソリンは抜取ってください。

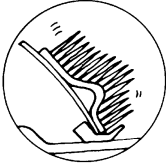
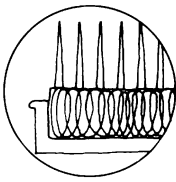
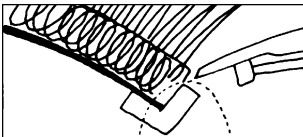
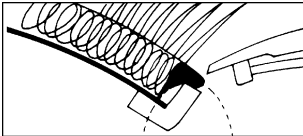
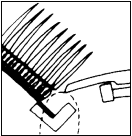
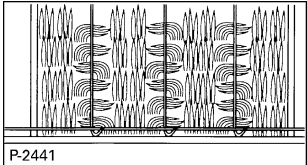
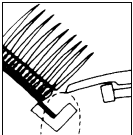
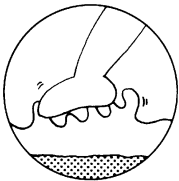
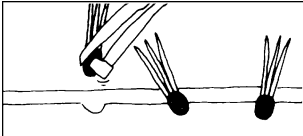
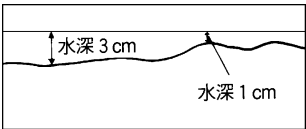
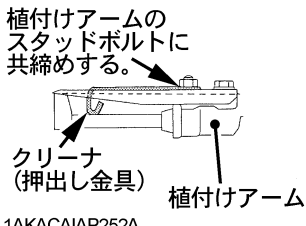
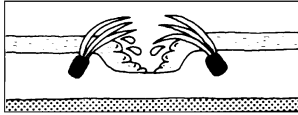
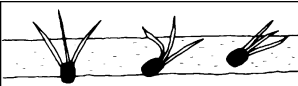
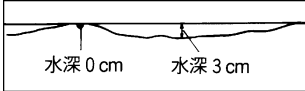
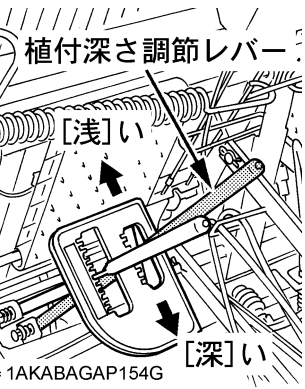
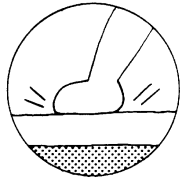
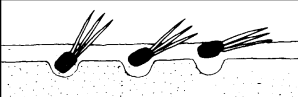
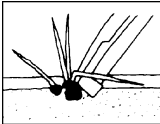
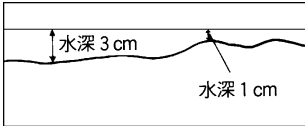
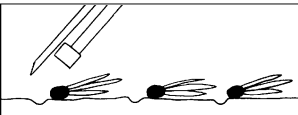
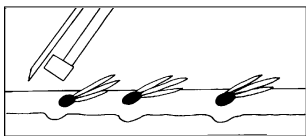
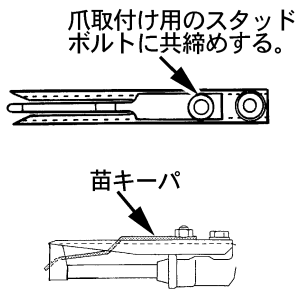
＊ 燃料のガソリンを保管するときは，必ず鋼製の容器に保管してください。ポリタンクなどの樹脂製の容器に保管すると，ガソリンが樹脂成分を溶解したり，紫外線透過によりガソリンが変質し，エンジンの不調や故障の原因となります。

1AKACAIAP189A

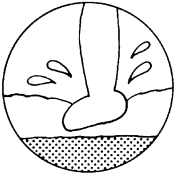
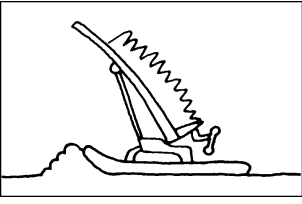
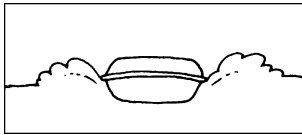
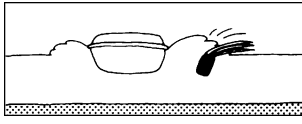
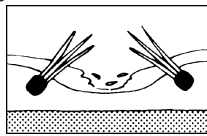
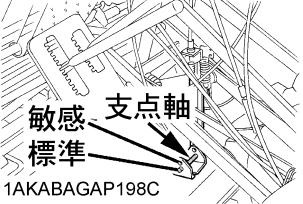
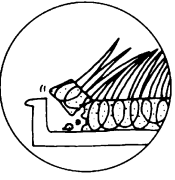
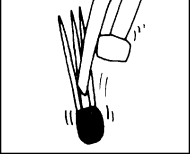
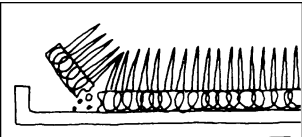
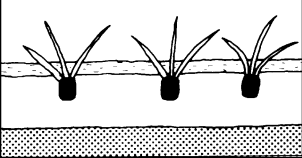
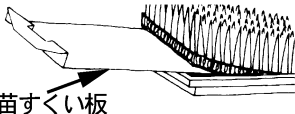
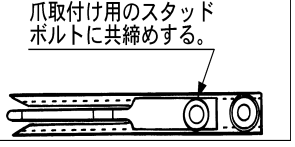
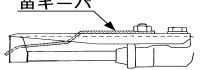
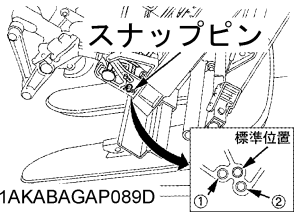
補　足

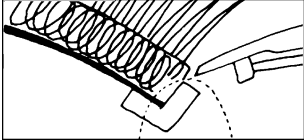
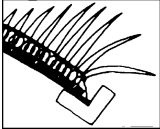
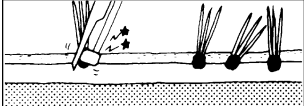
＊ 燃料を入れるときは，燃料コックレバーを必ず，**［停止］**位置にし，エンジンを動かす前に，**［運転］**位置にしてください。

1AKABAGAP090B

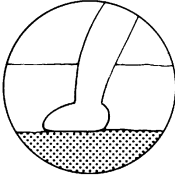
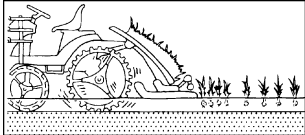
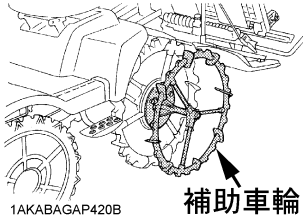
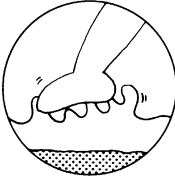
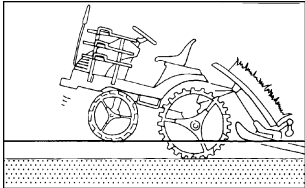
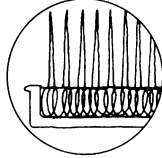
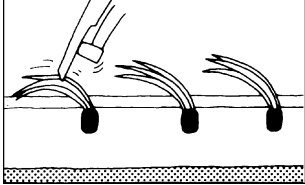
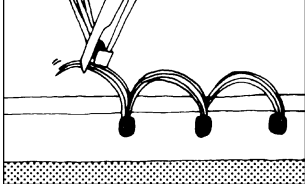
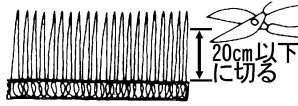
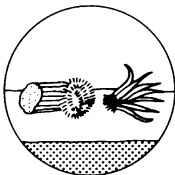
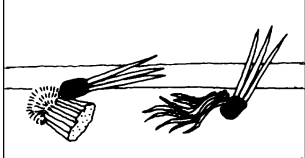
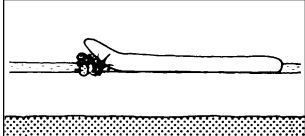
1AKABAGAP278B

◆ 各レバー・その他

点検・整備が終わったあと，納屋などに停めておくときは植付部をフロート下面に木片などを置いたところに降ろし，下記事項を行なってください。

- アクセルレバーを前方いっぱいまで押して止めておいてください。
- 駐車ブレーキを掛けてください。
- リコイルハンドルをゆっくり引いて，重く手ごたえのある所で止めてください。（エンジンのバルブが閉じた状態）
- 運転席（シート）は前方向に倒してください。

乗用田植機の不調と処置

欠株が出る

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）
苗に生育ムラやハゲた部分がある苗 **苗の播種ムラがひどい苗**	●植付けの本数がバラついたり欠株が出る。	**苗の処置** ①生育の悪い部分やハゲたところを切取って植え付ける。 ②悪い苗は，使用しない。（補植えに使用する） **機械の処置** 苗取り量は多く，横送り回数は少なくする (横送り量を多くする)。 (43 ページ参照)
播種量が少ない苗	●植付け本数が少なくなり欠株が出る。	**苗の処置** 中苗用成苗用の育苗指針を守り播種ムラのない苗をつくる。 **機械の処置** 苗取り量は多く，横送り回数は少なくする。 (横送り量を多くする) (43 ページ参照)

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）	
苗床がうすく又根張りが悪い苗 **苗床が軟らかすぎる苗**	苗のせ台上で苗がくずれて植付けできない。	**機械の処置** 苗ステーと苗との間隔を狭くして苗のせ台からのずり落ち，くずれを防止する。 (46 ページ参照) **苗の処置** ①苗床厚が２ cm 以上の苗を使用する。 ②苗床を乾かして硬めにする。	【左側】 引く 苗ステー 調節 標準位置 1AKABAGAP203C
苗床が厚い苗	①苗がうまく取れないため，苗取量が少なかったり欠株が出る。 ②爪の軌跡より外れた部分が残ってダンゴ状になり苗の縦送りができなくなる。 ③苗のせ台上で苗のすべりが悪く欠株がでる。	**機械の処置** ①苗取り量を多少多くして苗を取るようにする。 (43 ページ参照) ②苗ステーを調節して苗床とのすき間をあける。 (46 ページ参照) **苗の処置** ①苗床厚（マット厚）が 2.5 ～ 3 cm になるように切落とす。切落とせない場合はその苗は使用しない。 ②植付け前にかん水してすべりを良くする。	苗取り量調節レバー [多]い [少]ない 1AKABAGAP154F 2.5 ～ 3cm に切落とす 1AKACAXAP181A
苗の入り方が悪い。 P-2441	苗が苗ステーに引っかかって落ちない。	**苗の処置** 引っかかった苗を取除いてきちんと入れ直す。	
床土が粘土質で粘りが強い苗。 **粘土質のほ場でしかも水が少ない。**	植付け時，苗が植付爪より離れず欠株が発生する。	**苗の処置** 苗床を乾き気味にする。又は水につけ十分水分をもたせる。 **ほ場の処置** ほ場に水を１～３ cm 程度張り苗が爪より離れやすくなる。 **機械の処置** 別売り（オプション）のクリーナ（押出し金具）を取付ける。	水深 3 cm 水深 1 cm 植付けアームのスタッドボルトに共締めする。 クリーナ（押出し金具） 植付けアーム 1AKACAIAP252A

浮苗が出る・植付けが乱れる

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）
水深が３ cm 以上あるほ場。	①フロート通過跡に水が流れ込んで植付けた苗又は，隣接苗が倒れる。 ②植付け姿勢が悪い又は浮苗が発生する。	**ほ場の処置** 水を落す。水深０～３ cm にする。 **機械の処置** ①植付け速度を遅くして水の移動をゆるやかにする。 ②植付け深さを許せる範囲で深めにする。
ほ場が硬い。	①爪で開けた穴がふさがらず水を入れたときに苗が浮く。 ②苗を押込むとき，苗が傷んだりバラける。	**ほ場の処置** ①再度代かきして植えやすい硬さにする。 ②水を１～３ cm 入れ軟らかくして植える。 **機械の処置** ●植付け速度を遅くして苗をゆっくり土中に押込むようにする。
根張りが悪く，床土が砂質の苗で，しかも苗が爪から離れやすく，水につかると床土が溶ける苗。	①苗がころぶ。 ②水がある場合，浮苗がでる。	**ほ場の処置** 水が多い場合は水を落とす。 **苗の処置** ①根張りのよい床土がブロックになる苗にする。 ②床土は水に溶けにくい土質のものにする。 ③植付け前に苗床に少し水気をもたせる。 **機械の処置** 別売り（オプション）の苗キーパを取付ける。

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）	
表面がトロトロで軟らかいほ場。 	①フロートが沈み，泥を押す。 	**ほ場の処置** ●水を落として表面を硬くする又は表面を落ち着かせる。 （植付けを延期する。） **機械の処置** ①フィットセンサレバーを軟らかい方へ移動させ泥を押さないようにする。 ②植付け速度を遅くする。	
	②泥を押して，隣接苗を倒す。 		
	③フロート通過跡が大きくなり，そこに土が流れ込むとき，植えた苗が内側に倒れる。 	③フィットセンサレバーを［1］にしてもフロートの沈下が大きい場合，1つ上の穴（**［敏感］**位置）に移してください。 （11ページ参照）	

浮苗が出る・植付けが悪い

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）	
根張りの悪い苗 **床土に粘りがなくくずれやすい苗** 	①苗が植付けになる前に植付爪から落ち浮苗となる。 	**苗の処置** ①苗床に少し水気をもたせる。 ②苗すくい板を使用して苗がくずれないようにする。	
	②苗を取り出すとき苗がくずれる。 	**機械の処置** ●植付け速度を遅くする。 ●別売品（オプション）の苗キーパを使用する。	
	③植付けた苗がバラける。 	●苗押さえ棒を②（内側）の穴に差換える。	P-3576

植付けが乱れる・欠株が出る

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）	
植付爪の異常 ●爪の摩耗 ●爪の変形 ●押出し金具の変形 ●押出し金具がじゅうぶん押出さない。	①苗を取らずに欠株となる。 ②苗取り後残りの苗がバラケル。 ③押出し金具が押しきらず植付けが乱れる。	**機械の処置** ①植付爪と押出し金具の点検。 ●爪の曲がりを直す。 ●押出し金具の曲がりを直す。 ②爪，押出し金具などの部品を新品と交換する。	ナットを外す 1AKABAGAP244D

その他の不具合

このような状態で（原因）	このようになる	どうする（処置方法）	
株間が狭くなる **深いほ場** **強粘土質のほ場** 	①走行抵抗が大きく車輪がスリップして株間が狭くなる。 ②機体前部が浮き上りスリップする。	**機械の処置** ①補助輪をとりつけてスリップを少なくする。 ②株間を一段広くして坪当たり株数を確保する。	
苗の草丈が長すぎる。 **草丈が20cm以上ある苗の植付け。** 	①植付けた苗が爪に押されて傾く。 ②植付けた苗がアーチ状になる。 	**苗の処置** 葉先を 20cm 以下に切りそろえる。 **機械の処置** ①植付け深さを深めにする。 ②植付け速度を遅くする。 ③苗おさえ棒の位置を一番上にあげる。	
夾雑物の多いほ場 代かき後も刈株，ワラ，雑草などが多量に露出しているほ場。 	①夾雑物の上では，苗が植わらなかったり，植付け姿勢が悪くなったりする。 ②夾雑物がフロート，整地板や作溝器（**[F 仕様]**）で押されてたまる。 	**ほ場の処置** ①代かき時，夾雑物をすき込む。 ②耕うん前に夾雑物をできるだけ取除く。 **機械の処置** ①植付け深さをやや深くする。 ②植付け速度を遅くする。 ③整地板をあげ夾雑物の掘起しを少なくする。	

付表

主要諸元

<table>
<tr><td colspan="4">名称</td><td colspan="2">キュート</td></tr>
<tr><td colspan="4">型式</td><td colspan="2">JC4A</td></tr>
<tr><td colspan="4">区分</td><td>－</td><td>D</td></tr>
<tr><td colspan="4">駆動方式</td><td colspan="2">４輪駆動</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機体寸法</td><td colspan="3">全長　｛作業時｝(mm)</td><td colspan="2">2440{2270}</td></tr>
<tr><td colspan="3">全幅　｛格納時｝(mm)</td><td colspan="2">1600{1340}</td></tr>
<tr><td colspan="3">全高　(mm)</td><td colspan="2">1340{植付部最上昇位置}</td></tr>
<tr><td colspan="3">最低地上高　(mm)</td><td>350</td><td>340</td></tr>
<tr><td colspan="4">質量　(kg)</td><td>190</td><td>195</td></tr>
<tr><td rowspan="6">エンジン</td><td colspan="3">種類</td><td colspan="2">空冷４サイクル単気筒 OHV ガソリンエンジン</td></tr>
<tr><td colspan="3">形式名</td><td colspan="2">GR170-E-PA 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">総排気量（L {cc}）</td><td colspan="2">0.169 {169}</td></tr>
<tr><td colspan="3">出力 / 回転速度
(PS {kw} /rpm)</td><td colspan="2">3.5 {2.6} / 3000［最大 6.1 {4.5}］</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用燃料 / タンク容量（L）</td><td colspan="2">自動車用レギュラーガソリン（無鉛）/ 4.2</td></tr>
<tr><td colspan="3">始動方式</td><td colspan="2">リコイル式</td></tr>
<tr><td rowspan="8">走行部</td><td colspan="3">かじ取り方式</td><td>アッカーマン方式</td><td>インテグラルパワーステアリング</td></tr>
<tr><td rowspan="6">車輪</td><td rowspan="2">種類</td><td>前輪</td><td colspan="2">ノーパンクタイヤ（ソリッドタイヤ）</td></tr>
<tr><td>後輪</td><td colspan="2">ゴム両ラグ車輪</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外径</td><td>前輪（mm）</td><td colspan="2">550</td></tr>
<tr><td>後輪（mm）</td><td colspan="2">660</td></tr>
<tr><td rowspan="2">輪距</td><td>前輪（mm）</td><td colspan="2">720</td></tr>
<tr><td>後輪（mm）</td><td colspan="2">720</td></tr>
<tr><td colspan="3">変速段数（段）</td><td colspan="2">前・後進無段変速（油圧式トランスミッション〔HST〕）</td></tr>
<tr><td rowspan="10">植付部</td><td colspan="3">植付方式</td><td colspan="2">クランク方式</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">植付部</td><td>昇降方式</td><td colspan="2">油圧式</td></tr>
<tr><td>装着方式</td><td colspan="2">平行４点リンク</td></tr>
<tr><td rowspan="5">植付</td><td colspan="2">条数（条）</td><td colspan="2">4</td></tr>
<tr><td colspan="2">条間（cm）</td><td colspan="2">30</td></tr>
<tr><td colspan="2">株間（cm）</td><td colspan="2">※1　14, 16, 18, 20, 24</td></tr>
<tr><td colspan="2">株数（cm）（株 /3.3 ㎡）</td><td colspan="2">※1　80, 70, 60, 55, 45</td></tr>
<tr><td colspan="2">深さ（cm）</td><td colspan="2">1 ～ 40［7 段階］</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１株本数調整方式</td><td colspan="2">横送り量</td><td colspan="2">20 回 ,26 回［2 段］</td></tr>
<tr><td colspan="2">縦かき取り量（mm）</td><td colspan="2">8 ～ 18</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">名称</td><td colspan="2">キュート</td></tr>
<tr><td colspan="2">型式</td><td colspan="2">JC4A</td></tr>
<tr><td colspan="2">区分</td><td>－</td><td>D</td></tr>
<tr><td rowspan="3">苗の条件</td><td>苗 の種類</td><td colspan="2">マット苗</td></tr>
<tr><td>草丈（cm）</td><td colspan="2">8 ～ 25</td></tr>
<tr><td>葉令（葉）</td><td colspan="2">2.0 ～ 4.5</td></tr>
<tr><td colspan="2">作業速度（m ／秒）</td><td colspan="2">※1　0 ～ 0.6</td></tr>
<tr><td colspan="2">作業能率（a/h {分 /10a}）</td><td>～ 17{36 ～ }</td><td>～ 14{42 ～ }</td></tr>
</table>

＊この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

※1．車輪スリップ率 10 パーセント

付属部品

次の部品が付属していますのでお調べください。

＊	保証書	1
＊	取扱説明書	1
＊	苗取りゲージ	1
＊	苗すくい板	1
＊	株間ギヤアッシ	
	・24 ギヤ・28 ギヤ（植付株数：80 株・55 株用）	1
	・22 ギヤ・31 ギヤ（植付株数：45 株用）	1
＊	横送りギヤアッシ	
	・13 ギヤ	1
	・20 ギヤ	1
＊	プラグレンチ	1
	じょうご	1
	給油パイプ	1

オプション（別売品）（純正品を使いましょう）

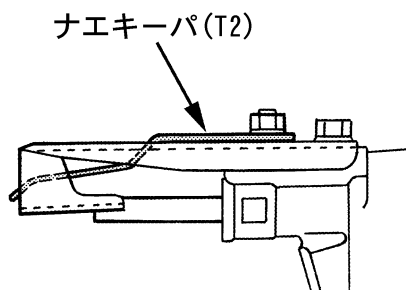
■苗キーパ

苗キーパは，苗こぼれによるバラケ，浮苗を防止します。

※アッシ（セット）の場合

品 名	品 番	数量
ナエキーパアッシ (4)	PD703-9380-0	1

※単品の場合

品 名	品 番
ナエキーパ T2	PA401-5372-0

1AKACAIAP201A

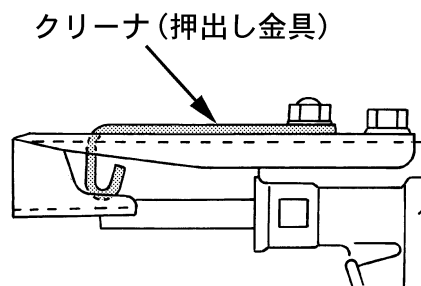
■クリーナ

クリーナは，苗を詰まらなくする効果があります。爪の間に苗が詰まり，植付姿勢が乱れたときなどに有効です。

※アッシ（セット）の場合

品 名	品 番	数量
クリーナ，アッシ (押出し金具 , 4)	PD703-9370-0	1

※単品の場合

品 名	品 番
クリーナ (オシダシカナグ)	45403-9391-0

1AKACAIAP202A

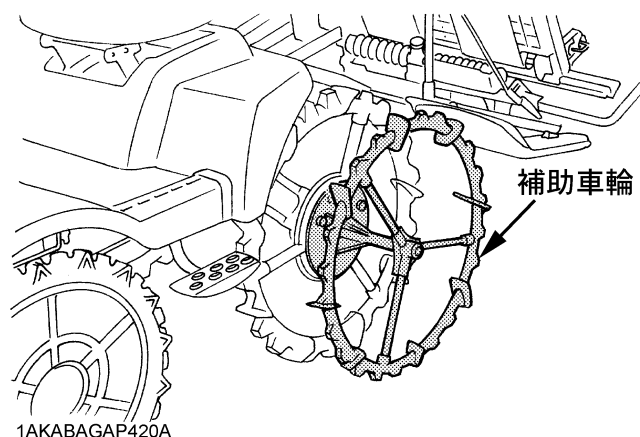
■補助車輪

ほ場に合った補助車輪を使用してください。

● ゴムラグタイヤ

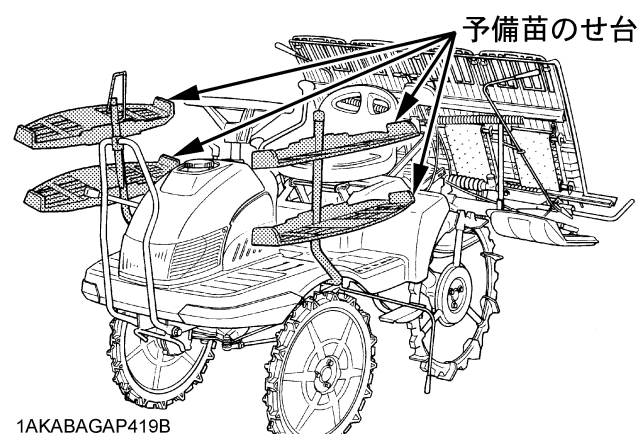
ほ場条件…耕盤が軟弱で泥炭地のようなほ場

品　　名	品　番	仕様	
		車輪径(mm)	ラグの有無
キット補助車輪	PK901-9320-0	φ620	○

1AKABAGAP420A

■予備苗のせ台（D 仕様は標準）

予備苗を 4 枚乗せることができます。

品　名	品　番
キット（予備苗台）	PK401-9820-0

1AKABAGAP419B

■前部ウエイト（F 仕様は標準）

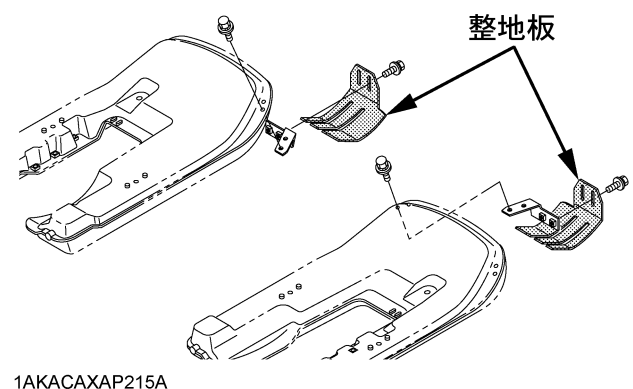
深いほ場で前輪が浮上がるのを防止し，直進性，走行性を良くします。

品　名	品　番
ウエイト,キット(オプション)	PK401-9880-0

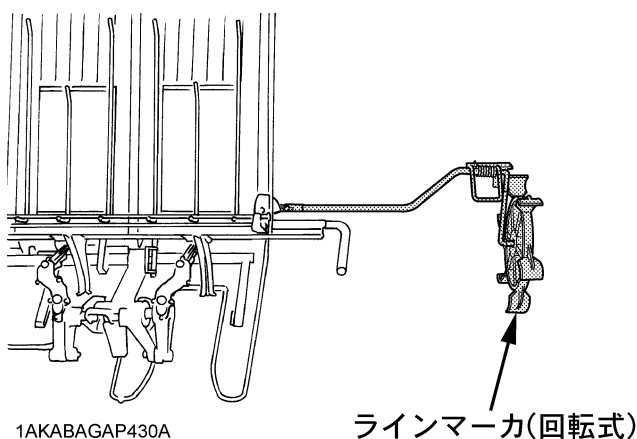
■整地板

フロートの整地幅を広くします。

品　名	品　番
整地板アッシ	PK901-9400-0

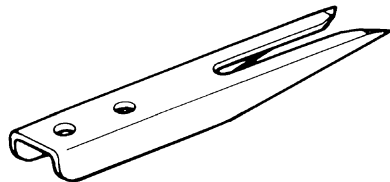
1AKACAXAP215A

■回転式線引きマーカ

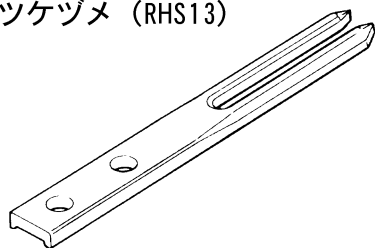
水の多いほ場でマーカのラインを見えやすくするマーカです。

品　名	品　番
マーカ，キット（カイテン）	PK901-9830-0

1AKABAGAP430A

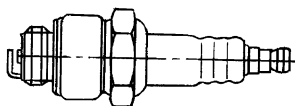
消耗部品（純正品を使いましょう）

◆ 植付爪

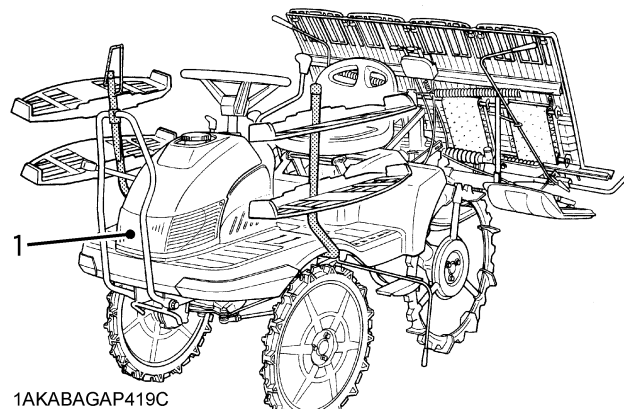
ウエツケヅメ（RIS13）

1AKABAIAP089A

ウエツケヅメ（RHS13）

1AKABAIAP090A

品　名	品 番
ウエツケヅメ（RIS13）	PA401-5171-0
ウエツケヅメ（RHS13）	PA401-5371-0

◆ 点火プラグ

1AKABAIAP093A

品　名	品　番
BP6HS（NGK）	13901-6771-0

◆ 各ランプ

1AKABAGAP419C

図番	品　名	品　番
1	ランプ，アッシ	PK401-6840-0

クボタ純オイル

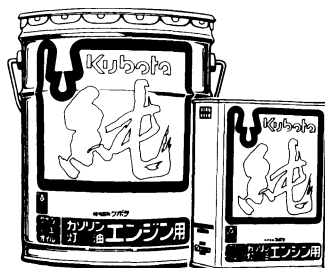
オイルは **クボタ純オイル** をお使いください

● オイルは田植機の開発研究から生まれたクボタ純オイルをお使いください。

● エンジンには

クボタ純オイル

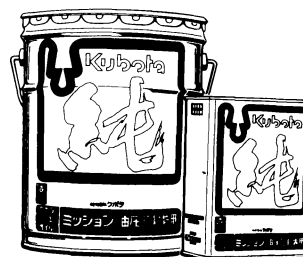
ガソリン・灯油エンジン用

スーパーG
10W-30

1AKACAXAP2280

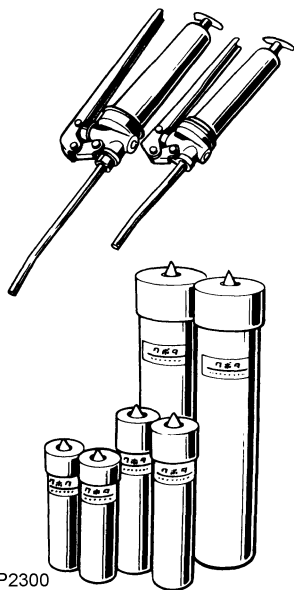
● 田植機本体には

クボタ純オイル

ミッション用

スーパーUDT又は,
NEW・UDT

1AKACAXAP2290

● グリースアップには

クボタスペアグリース

1AKACAXAP2300

いずれもクボタが品質保証する最も
適したオイルです。
お買い求めは購入先へご用命ください。

1AKACAIBP0140

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず，購入先へ　ご相談ください。

おぼえのため，記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="4">購入先名　　　　　　　　担当　　　　　　　　電話（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td colspan="2">型式</td><td>車台番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">エンジン型式　　　　機番</td><td colspan="2">その他装着型式　　　　機番</td></tr>
</table>

万一ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部	：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
秋田営業技術推進部	：電(018)845-1644	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部	：電(022)384-5162	〒981-1221	名取市田高字原182番地の１
東京営業技術推進部	：電(048)862-1588	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
新潟営業技術推進部	：電(025)285-1263	〒950-0992	新潟市上所上１丁目14番15号
金沢営業技術推進部	：電(076)275-1121	〒924-0038	白山市下柏野町956-１
名古屋営業技術推進部	：電(0586)24-5111	〒491-0031	一宮市観音町１番地の１
大阪営業技術推進部	：電(06)6470-5860	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
岡山営業技術推進部	：電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
米子営業技術推進部	：電(0859)39-3181	〒689-3547	米子市流通町430-12
株式会社四国クボタ 営業技術課	：電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647-３
福岡営業技術推進部	：電(092)606-3725	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号
熊本営業技術推進部	：電(096)357-6181	〒861-4147	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１
本社営業技術部	：電(072)241-8092	〒590-0823	堺市堺区石津北町64番地

株式会社クボタ

機械札幌事務所	：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所	：電(048)862-1121	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所	：電(06)6470-5970	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
機械福岡事務所	：電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号

JC4A
AK．G．1-1．0．AK

Kubota

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

株式会社クボタ

〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
TEL.06-6648-2111
FAX.06-6648-3862

品番　PK901-9751-1